

地域福祉に関する意識調査 結果報告書

2019年（平成31年）1月

函館市保健福祉部
社会福祉法人函館市社会福祉協議会

目 次

I	調査概要	1
	1 調査目的	
	2 調査実施時期	
	3 調査内容	
	4 調査方法	
	5 調査対象	
	6 回答数	
	7 調査結果報告書	
II	日常生活圏域の町名	2
III	地域福祉に関する意識調査結果【一般分】	
	1 回答集計	3
	2 自由記述の取りまとめ（問13-2）	43
	3 自由記述の取りまとめ（問17）	50
	4 その他の自由記述（問17）	56
IV	地域福祉に関する意識調査結果【学生分】	
	1 回答集計	64
	2 自由記述全件	77
V	地域福祉に関する意識調査結果【企業分】	
	1 回答集計	78
	2 自由記述全件	87
VI	アンケート調査票	
	1 個人向け	88
	2 学生向け	98
	3 企業等向け	105

I 調査概要

1 調査目的

市民および企業の地域福祉に関する意識や取組状況を調査することにより、本市における課題や問題点を整理し、第4次函館市地域福祉計画および第6期地域福祉実践計画に反映させるため実施しました。

2 調査実施時期 2018年（平成30年）5月～7月

3 調査内容

日常的な近所付き合いをはじめ、地域における福祉活動等の参加状況や福祉施策に対する認知度等について調査しました。

4 調査方法

無記名、選択式（一部自由記述）によるアンケート用紙を郵送配布・回収および町会、学校を通じ配布、回収しました。

5 調査対象

- (1) 個人：一般 20歳以上60歳未満の市民を住民基本台帳より無作為抽出 2,000名
60歳以上の町会加入の市民 市内全183町会×6名＝ 1,098名
計 3,098名

学生 以下の高校・大学・専門学校生 105名

函館大妻高等学校
北海道教育大学函館校
函館大学
函館大谷短期大学
函館臨床福祉専門学校

- (2) 企業等：従業員数が概ね30名以上の市内事業所を無作為抽出 150事業所

6 回答数

- (1) 個人：一般 1,224名（回答率 39.5%）
学生 96名（回答率 91.4%）
(2) 企業等： 84事業所（回答率 56.0%）

7 調査結果報告書

学校法人野又学園 函館大学 准教授 大橋美幸氏、国立大学法人 北海道教育大学函館校 准教授 外崎紅馬氏の協力により作成しました。

II 日常生活圏域の町名

圏域	町名	
西部	入舟町, 船見町, 弥生町, 弁天町, 大町, 末広町, 元町, 青柳町, 谷地頭町, 住吉町, 宝来町, 東川町, 豊川町, 大手町, 栄町, 旭町, 東雲町, 大森町	
中央部第1	松風町, 若松町, 千歳町, 新川町, 上新川町, 海岸町, 大縄町, 松川町, 万代町, 中島町, 千代台町, 堀川町, 高盛町, 宇賀浦町, 日乃出町, 的場町, 金堀町, 広野町	
中央部第2	大川町, 田家町, 白鳥町, 八幡町, 宮前町, 時任町, 杉並町, 本町, 梁川町, 五稜郭町, 柳町, 松陰町, 人見町, 乃木町, 柏木町	
東央部第1	川原町, 深堀町, 駒場町, 湯浜町, 湯川町1丁目, 湯川町2丁目, 湯川町3丁目, 花園町, 日吉町1丁目, 日吉町2丁目, 日吉町3丁目, 日吉町4丁目	
東央部第2	戸倉町, 榎本町, 上野町, 高丘町, 滝沢町, 見晴町, 鈴蘭丘町, 上湯川町, 銅山町, 旭岡町, 西旭岡町1丁目, 西旭岡町2丁目, 西旭岡町3丁目, 鱒川町, 寅沢町, 三森町, 紅葉山町, 庵原町, 亀尾町, 米原町, 東畑町, 鉄山町, 蛾眉野町, 根崎町, 高松町, 志海苔町, 瀬戸川町, 赤坂町, 銭亀町, 中野町, 新湊町, 石倉町, 古川町, 豊原町, 石崎町, 鶴野町, 白石町	
北東部第1	富岡町1丁目, 富岡町2丁目, 富岡町3丁目, 中道1丁目, 中道2丁目, 鍛冶1丁目, 鍛冶2丁目	
北東部第2	美原1丁目, 美原2丁目, 美原3丁目, 美原4丁目, 美原5丁目, 赤川町, 赤川1丁目, 亀田中野町, 北美原1丁目, 北美原2丁目, 北美原3丁目, 石川町, 昭和1丁目, 昭和2丁目, 昭和3丁目, 昭和4丁目	
北東部第3	山の手1丁目, 山の手2丁目, 山の手3丁目, 本通1丁目, 本通2丁目, 本通3丁目, 本通4丁目, 陣川町, 陣川1丁目, 陣川2丁目, 神山町, 神山1丁目, 神山2丁目, 神山3丁目, 東山町, 東山1丁目, 東山2丁目, 東山3丁目, 水元町, 亀田大森町	
北部	浅野町, 吉川町, 北浜町, 港町1丁目, 港町2丁目, 港町3丁目, 追分町, 亀田町, 桔梗町, 桔梗1丁目, 桔梗2丁目, 桔梗3丁目, 桔梗4丁目, 桔梗5丁目, 西桔梗町, 昭和町, 亀田本町, 亀田港町	
東部	戸井地区	小安町, 小安山町, 釜谷町, 汐首町, 瀬田来町, 弁才町, 泊町, 館町, 浜町, 新二見町, 原木町, 丸山町
	恵山地区	日浦町, 吉畑町, 豊浦町, 大潤町, 中浜町, 女那川町, 川上町, 日和山町, 高岱町, 日ノ浜町, 古武井町, 恵山町, 柏野町, 御崎町
	楳法華地区	恵山岬町, 元村町, 富浦町, 島泊町, 新恵山町, 絵紙山町, 新八幡町, 新浜町, 銚子町
	南茅部地区	古部町, 木直町, 尾札部町, 川汲町, 安浦町, 臼尻町, 豊崎町, 大船町, 双見町, 岩戸町

Ⅲ 地域福祉に関する意識調査結果【一般分】

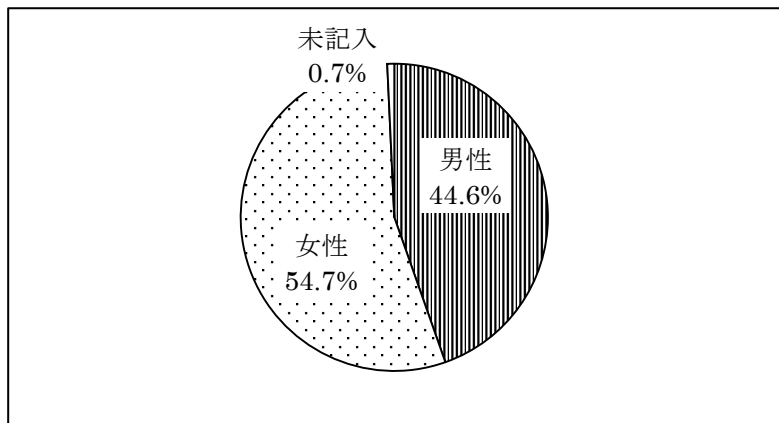
1 回答集計

■あなたの年齢、世帯構成など、基本的なことをお尋ねします。

【問1】 あなたの性別・年齢についてお答えください。《一つだけ〇》

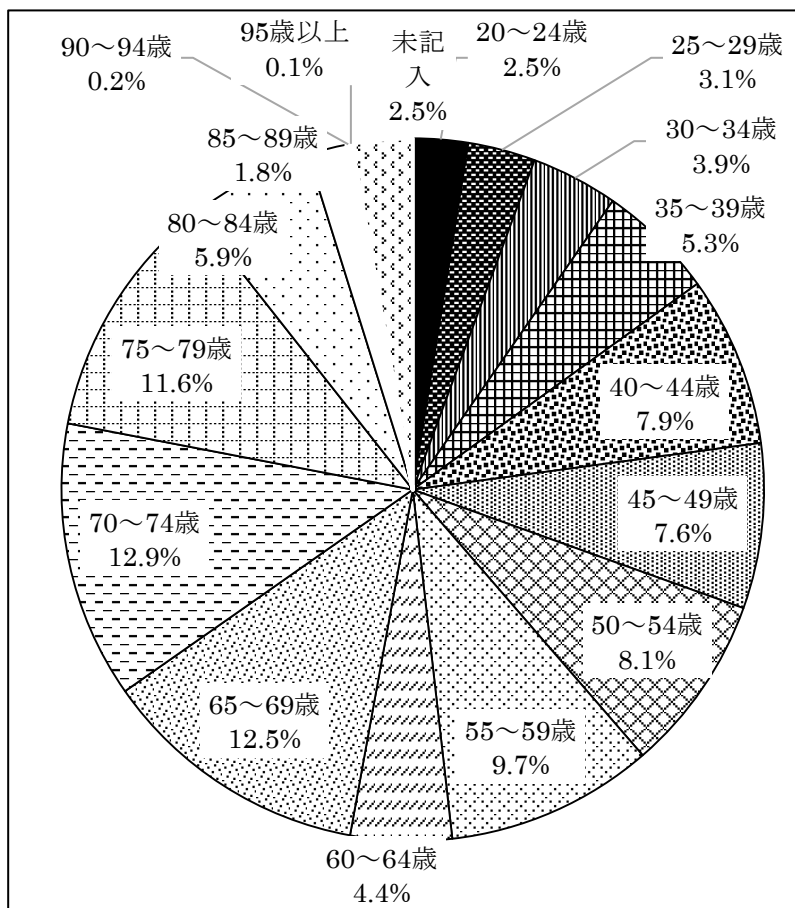
(1) 性別

	人数	パーセント
男性	546	44.6%
女性	669	54.7%
未記入	9	0.7%
合計	1,224	100.0%



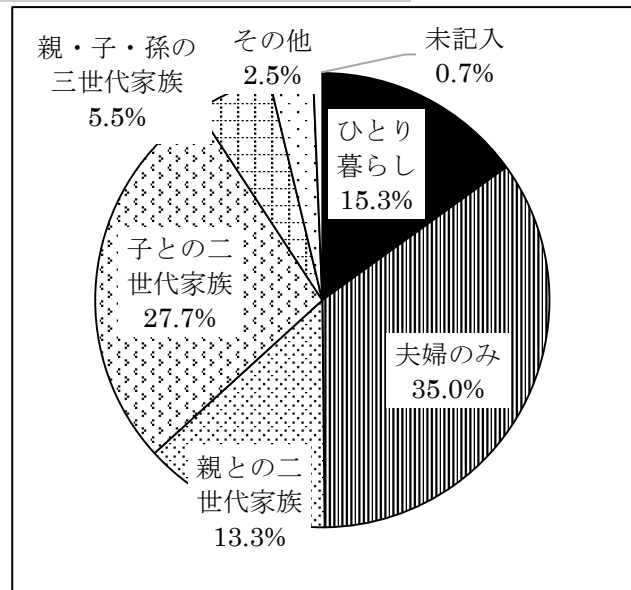
(2) 年齢

	人数	パーセント
20～24歳	31	2.5%
25～29歳	38	3.1%
30～34歳	49	3.9%
35～39歳	66	5.3%
40～44歳	96	7.9%
45～49歳	93	7.6%
50～54歳	100	8.1%
55～59歳	117	9.7%
60～64歳	57	4.4%
65～69歳	152	12.5%
70～74歳	156	12.9%
75～79歳	139	11.6%
80～84歳	71	5.9%
85～89歳	22	1.8%
90～94歳	2	0.2%
95歳以上	1	0.1%
未記入	34	2.5%
合計	1,224	100.0%



【問2】 あなたを含めて現在同居している家族構成についてお答えください。《一つだけ〇》

	人数	パーセント
ひとり暮らし	187	15.3%
夫婦のみ	428	35.0%
親との二世世代家族	164	13.3%
子との二世世代家族	339	27.7%
親・子・孫の三世世代家族	67	5.5%
その他	31	2.5%
未記入	8	0.7%
合計	1,224	100.0%

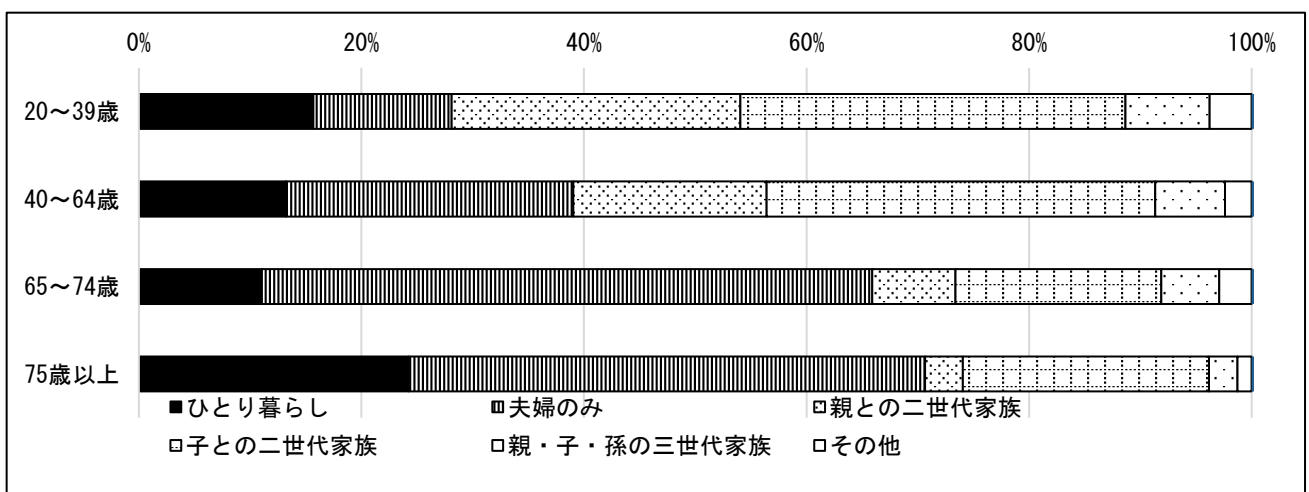


その他の主な回答

4世代	2件
兄弟と同居	10件
(その他) 友人、孫と2人など	

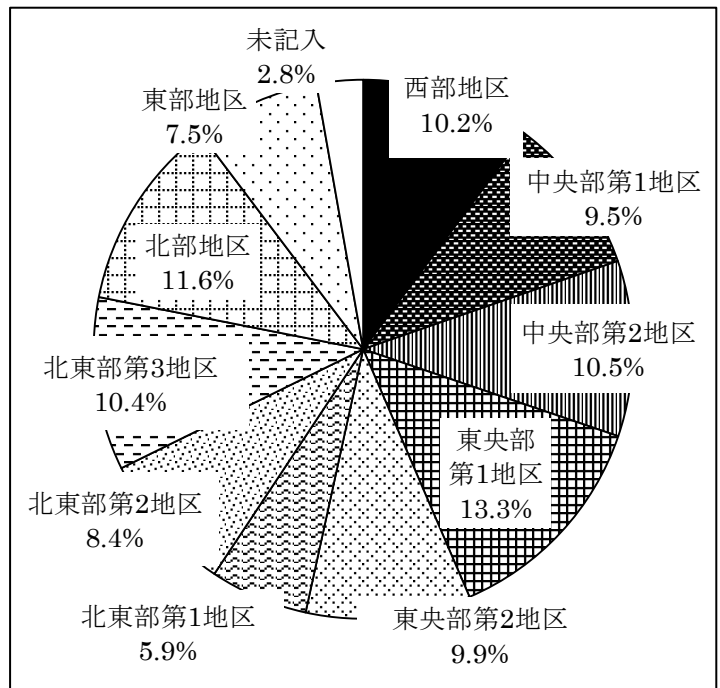
＜年齢別＞ (n=1,189 年齢未記入, 回答未記入除く)

年齢	年齢区分	ひとり暮らし	夫婦のみ	親との二世世代家族	子との二世世代家族	親・子・孫の三世世代家族	その他	合計
		人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
年 齢	20～39歳	29 15.7%	23 12.4%	48 25.9%	64 34.6%	14 7.6%	7 3.8%	185 100.0%
	40～64歳	61 13.2%	119 25.8%	80 17.4%	161 34.9%	29 6.3%	11 2.4%	461 100.0%
	65～74歳	34 11.0%	169 54.9%	23 7.5%	57 18.5%	16 5.2%	9 2.9%	308 100.0%
	75歳以上	57 24.2%	109 46.4%	8 3.4%	52 22.1%	6 2.6%	3 1.3%	235 100.0%



【問3】 あなたがお住まいの町名をお答えください。

	人 数	パーセント
西部地区	125	10.2%
中央部第1地区	116	9.5%
中央部第2地区	129	10.5%
東央部第1地区	163	13.3%
東央部第2地区	121	9.9%
北東部第1地区	72	5.9%
北東部第2地区	103	8.4%
北東部第3地区	127	10.4%
北部地区	142	11.6%
東部地区	92	7.5%
未記入	34	2.8%
合 計	1,224	100.0%

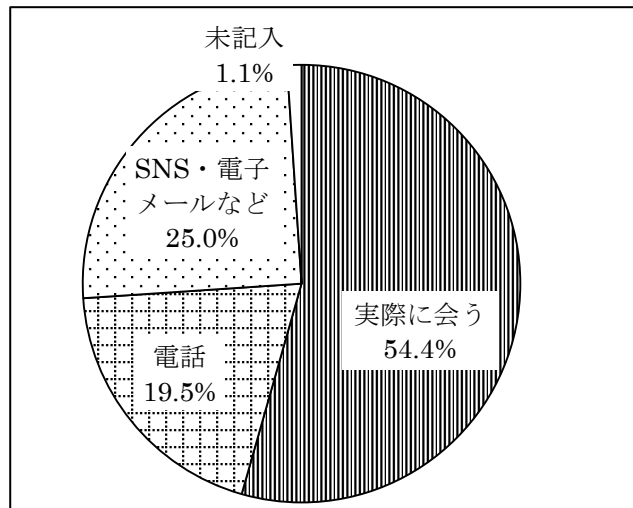


【問4】 日頃交流のある人との交流方法はどのような方法が多いですか？多い順番に番号をつけてください。 《多い順から1～3の番号》

交流方法については、1番多い方法として「実際に会う」が54.4%と過半数を占め、次いで「SNS・電子メール」、「電話」の順となっています。

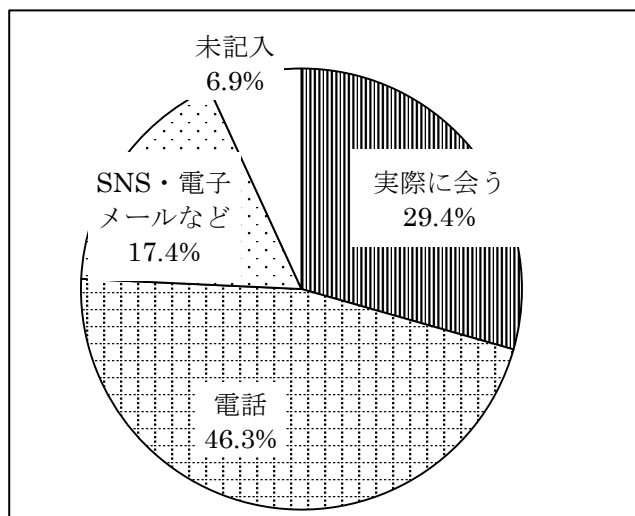
1番多いもの

	人数	パーセント
実際に会う	666	54.4%
電話	239	19.5%
SNS・電子メールなど	306	25.0%
未記入	13	1.1%
合計	1,224	100.0%



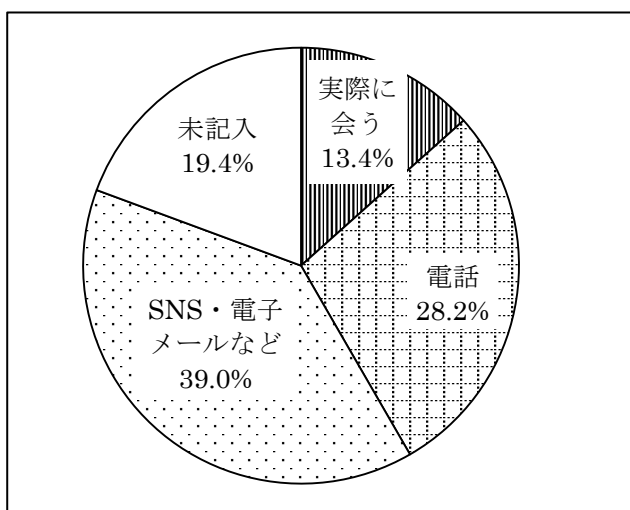
2番目に多いもの

	人数	パーセント
実際に会う	360	29.4%
電話	567	46.3%
SNS・電子メールなど	213	17.4%
未記入	84	6.9%
合計	1,224	100.0%



3番目に多いもの

	人数	パーセント
実際に会う	164	13.4%
電話	346	28.2%
SNS・電子メールなど	477	39.0%
未記入	237	19.4%
合計	1,224	100.0%

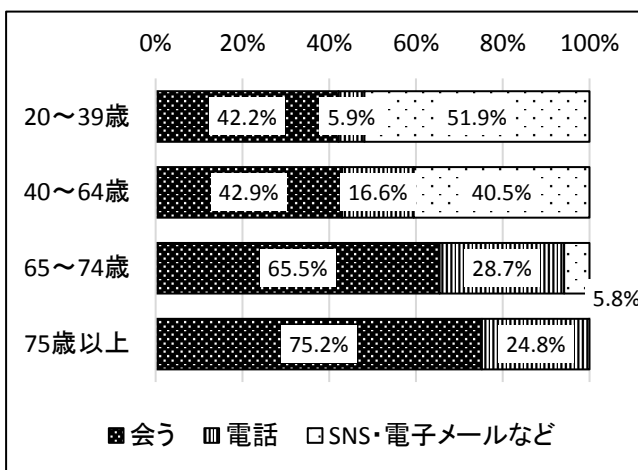


<年齢別> (n=1,191 年齢未記入除く)

1番多いものとして、20～64歳では「実際に会う」と「SNS・電子メール」がそれぞれ4割以上、65歳以上では「実際に1会う」が番多いものとして約7割となっています。年代が高くなるにつれ「実際に会う」、「電話」の割合が高くなり、「SNS・電子メール」の割合が低くなっています。

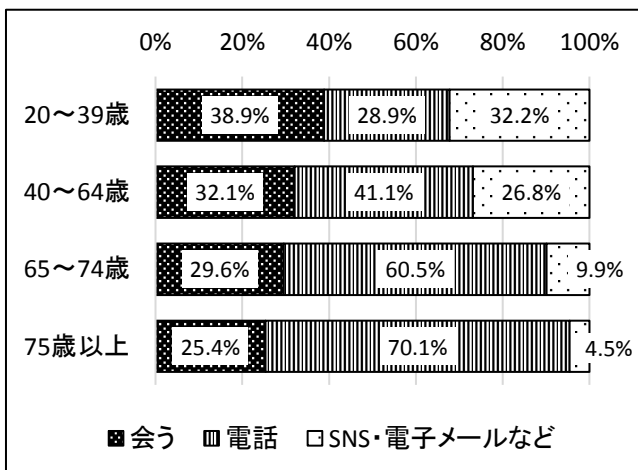
1番多いもの

	実際に 会う	電話	SNS・電 子メール など	合 計
20～39 歳	78 42.2%	11 5.9%	96 51.9%	185 100.0%
40～64 歳	197 42.9%	76 16.6%	186 40.5%	459 100.0%
65～74 歳	201 65.5%	88 28.7%	18 5.8%	307 100.0%
75 歳以上	176 75.2%	58 24.8%	0 0.0%	234 100.0%



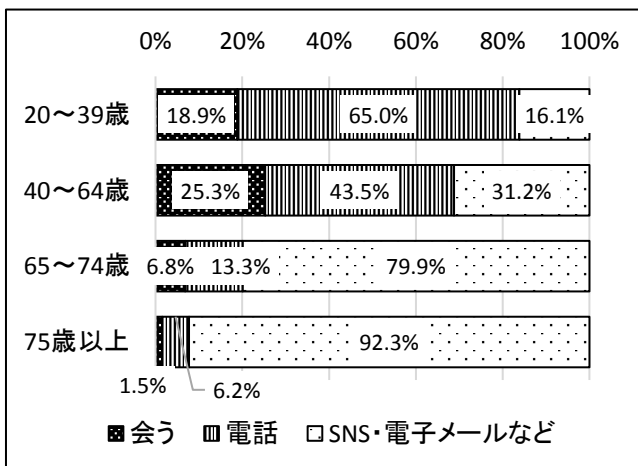
2番目に多いもの

	実際に 会う	電話	SNS・電 子メール など	合 計
20～39 歳	70 38.9%	52 28.9%	58 32.2%	180 100.0%
40～64 歳	141 32.1%	181 41.1%	118 26.8%	440 100.0%
65～74 歳	87 29.6%	178 60.5%	29 9.9%	294 100.0%
75 歳以上	56 25.4%	155 70.1%	10 4.5%	221 100.0%



3番目に多いもの

	実際に 会う	電話	SNS・電 子メール など	合 計
20～39 歳	34 18.9%	117 65.0%	29 16.1%	180 100.0%
40～64 歳	107 25.3%	184 43.5%	132 31.2%	423 100.0%
65～74 歳	16 6.8%	31 13.3%	187 79.9%	234 100.0%
75 歳以上	2 1.5%	8 6.2%	120 92.3%	130 100.0%



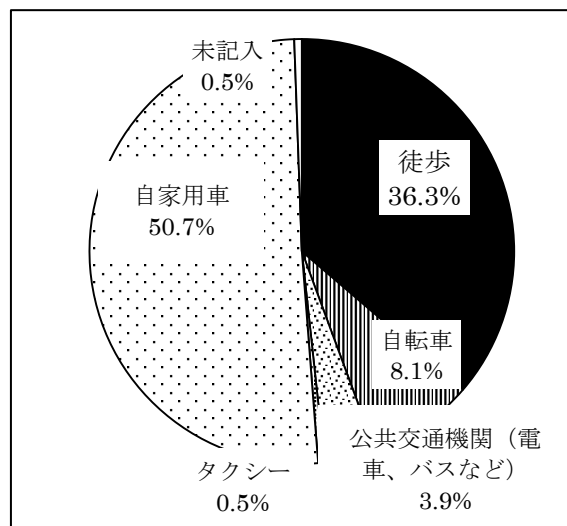
【問5】 あなたが町内を移動する場合、移動手段の多い順番に番号をつけてください。

《多い順から1～5の番号》

1番多いものとして「自家用車（家族の送迎含む）」が50.7%、次いで「徒歩」36.3%となっています。町内という範囲なので公共交通機関やタクシーの回答はほとんど見られませんでした。

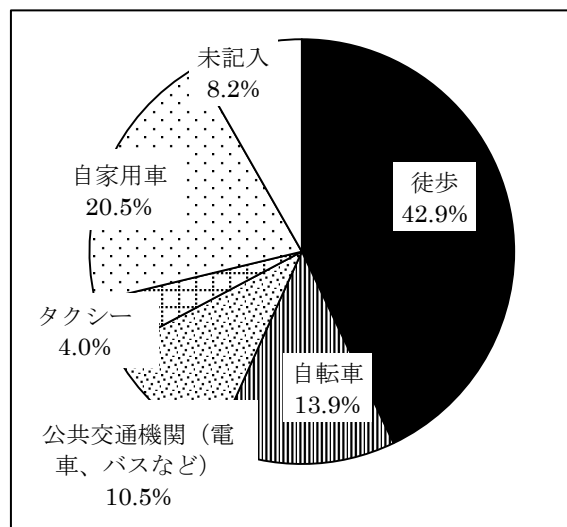
1番多いもの

	人数	パーセント
徒歩	444	36.3%
自転車	99	8.1%
公共交通機関（電車、バスなど）	48	3.9%
タクシー	6	0.5%
自家用車（家族の送迎含む）	620	50.7%
未記入	7	0.5%
合計	1,224	100.0%



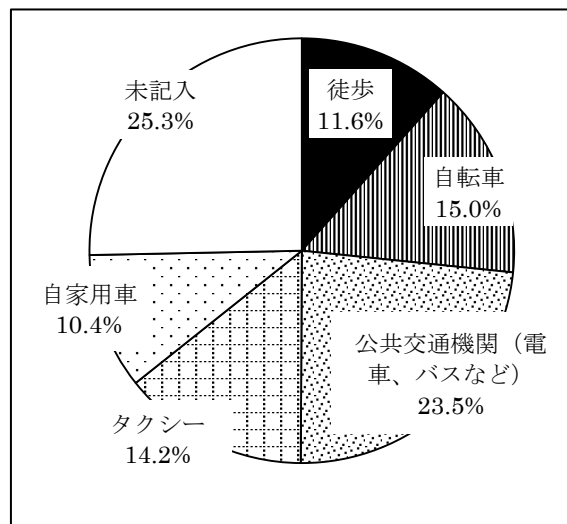
2番目に多いもの

	人数	パーセント
徒歩	525	42.9%
自転車	170	13.9%
公共交通機関（電車、バスなど）	128	10.5%
タクシー	49	4.0%
自家用車（家族の送迎含む）	251	20.5%
未記入	101	8.2%
合計	1,224	100.0%



3番目に多いもの

	人数	パーセント
徒歩	142	11.6%
自転車	184	15.0%
公共交通機関（電車、バスなど）	287	23.5%
タクシー	174	14.2%
自家用車（家族の送迎含む）	127	10.4%
未記入	310	25.3%
合計	1,224	100.0%

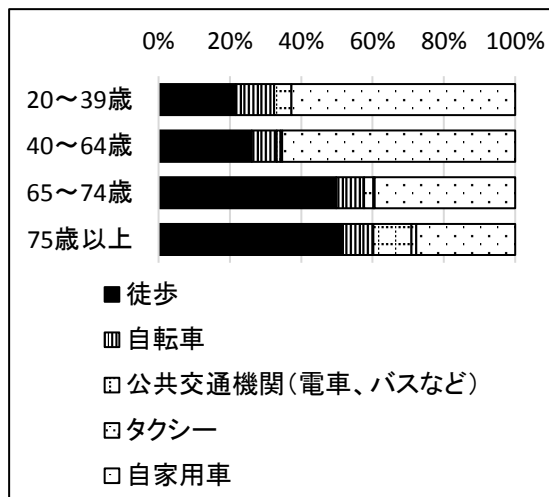


<年齢別> (n=1,191 年齢未記入除く)

全世代で「徒歩」と「自家用車」の合計が約80%超となっていますが、年代が高くなるにつれ「自家用車(家族の送迎含む)」の割合は減少し「徒歩」の割合が増加しています。

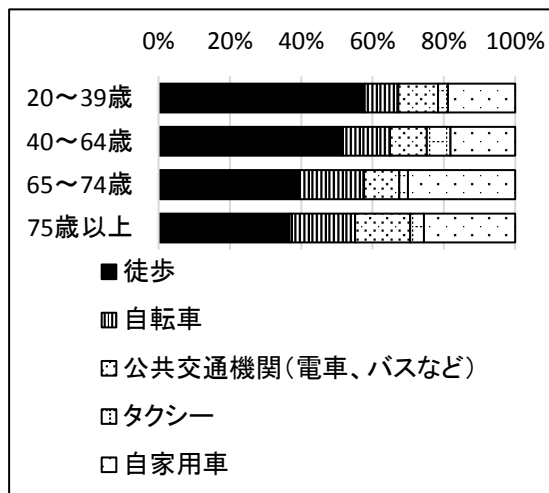
1番多いもの

	徒歩	自転車	公共交通機関	タクシー	自家用車	合計
20～39歳	40 21.6%	20 10.8%	9 4.9%	0 0.0%	116 62.7%	185 100.0%
40～64歳	120 26.1%	32 7.0%	5 1.1%	2 0.4%	300 65.4%	459 100.0%
65～74歳	153 49.9%	24 7.8%	8 2.6%	1 0.3%	121 39.4%	307 100.0%
75歳以上	120 51.3%	21 9.0%	25 10.7%	3 1.3%	65 27.8%	234 100.0%



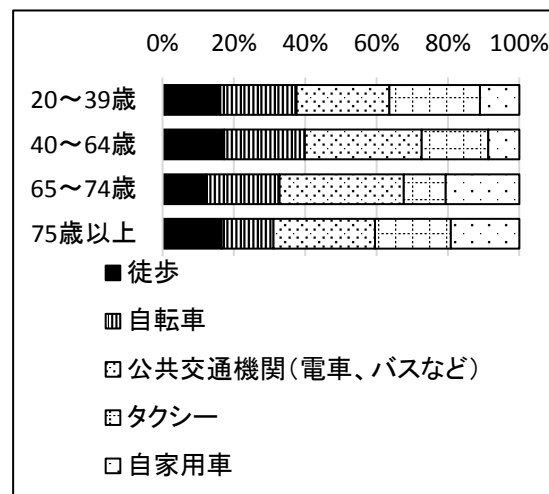
2番目に多いもの

	徒歩	自転車	公共交通機関	タクシー	自家用車	合計
20～39歳	104 57.8%	17 9.4%	20 11.1%	5 2.8%	34 18.9%	180 100.0%
40～64歳	219 51.7%	56 13.2%	44 10.4%	28 6.6%	77 18.2%	424 100.0%
65～74歳	112 39.5%	51 18.0%	28 9.9%	7 2.5%	85 30.0%	283 100.0%
75歳以上	76 36.7%	38 18.3%	32 15.5%	8 3.9%	53 25.6%	207 100.0%



3番目に多いもの

	徒歩	自転車	公共交通機関	タクシー	自家用車	合計
20～39歳	28 16.2%	37 21.4%	45 26.0%	44 25.4%	19 11.0%	173 100.0%
40～64歳	62 17.3%	81 22.6%	117 32.7%	67 18.7%	31 8.7%	358 100.0%
65～74歳	25 12.2%	42 20.6%	71 34.8%	24 11.8%	42 20.6%	204 100.0%
75歳以上	25 16.5%	22 14.6%	43 28.5%	32 21.2%	29 19.2%	151 100.0%

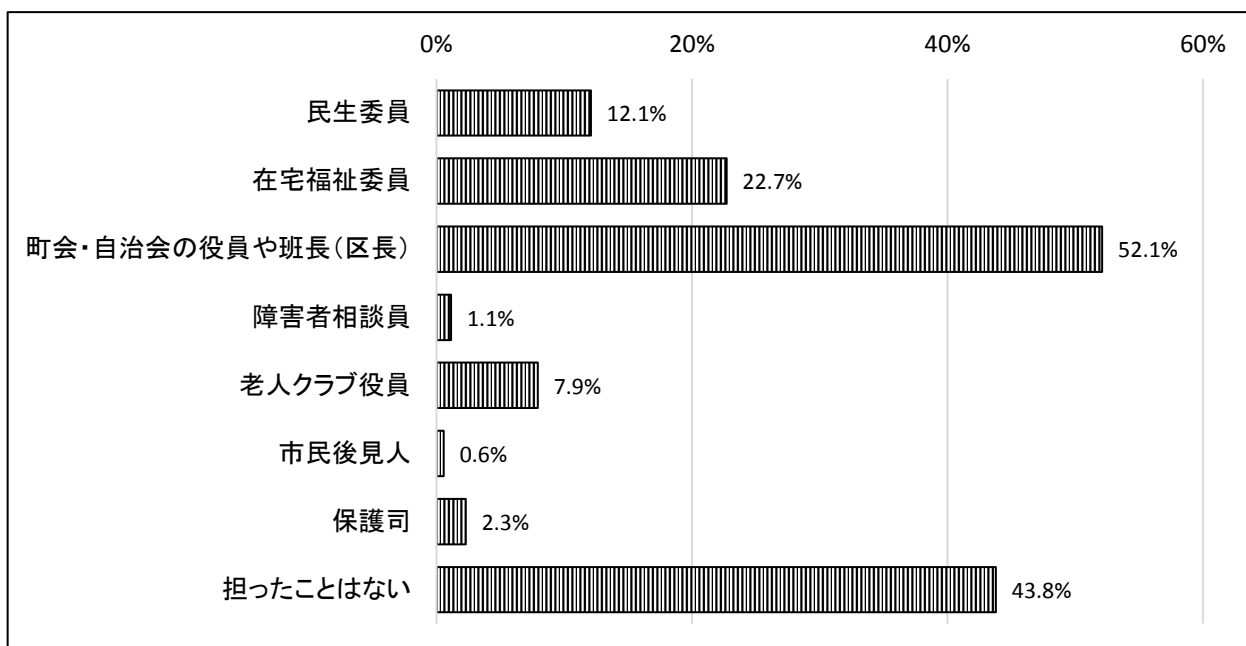


【問6】 あなたは、現在またはこれまでに次の役割を担ったことがありますか？

《あてはまる番号すべてに○》

担った役割で最も多いのは「町会・自治会の役員や班長（区長）」で52.1%と半数以上の方が回答していますが、反面「担ったことはない」は43.8%となっており、「町会・自治会の役員や班長（区長）」と回答した方の大半が他の役割も併せて担っていることとなります。

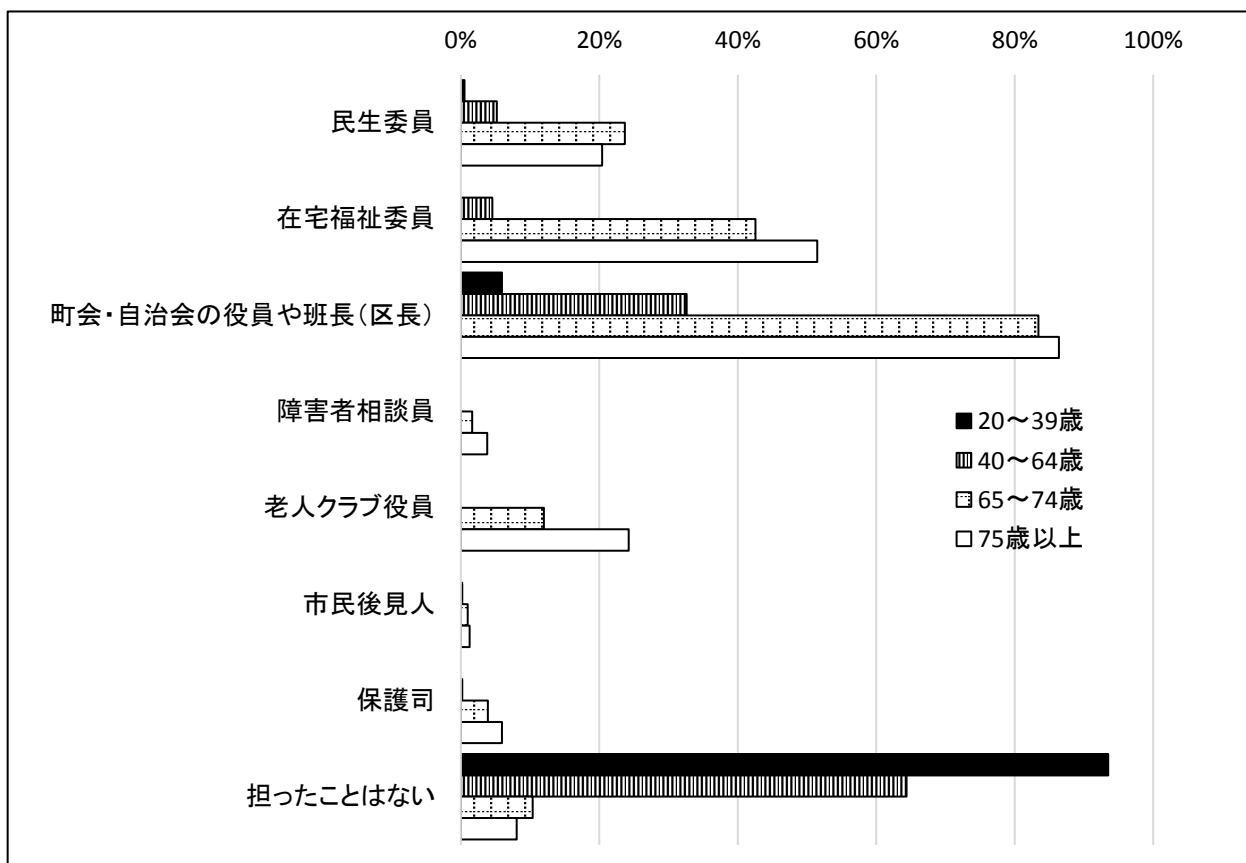
	人 数	パーセント (n=1,224)
民生委員	148	12.1%
在宅福祉委員	278	22.7%
町会・自治会の役員や班長（区長）	638	52.1%
障害者相談員	14	1.1%
老人クラブ役員	97	7.9%
市民後見人	7	0.6%
保護司	28	2.3%
担ったことはない	536	43.8%



<年齢別> (n=1,191 年齢未記入除く)

65歳以上の約9割が何かしらの役割を担った経験があり、20～39歳の93.5%、40～64歳の64.4%が「担ったことはない」と回答しています。65歳以上の方がこのような役割のほとんどを担っていることになります。

	年 齢			
	20～39歳 (n=185)	40～64歳 (n=463)	65～74歳 (n=308)	75歳以上 (n=235)
民生委員	1 0.5%	24 5.2%	73 23.7%	48 20.4%
在宅福祉委員	0 0.0%	21 4.5%	131 42.5%	121 51.5%
町会・自治会の役員や班長(区長)	11 5.9%	151 32.6%	257 83.4%	203 86.4%
障害者相談員	0 0.0%	0 0.0%	5 1.6%	9 3.8%
老人クラブ役員	0 0.0%	0 0.0%	37 12.0%	57 24.3%
市民後見人	0 0.0%	1 0.2%	3 1.0%	3 1.3%
保護司	0 0.0%	1 0.2%	12 3.9%	14 6.0%
担ったことはない	173 93.5%	298 64.4%	32 10.4%	19 8.1%



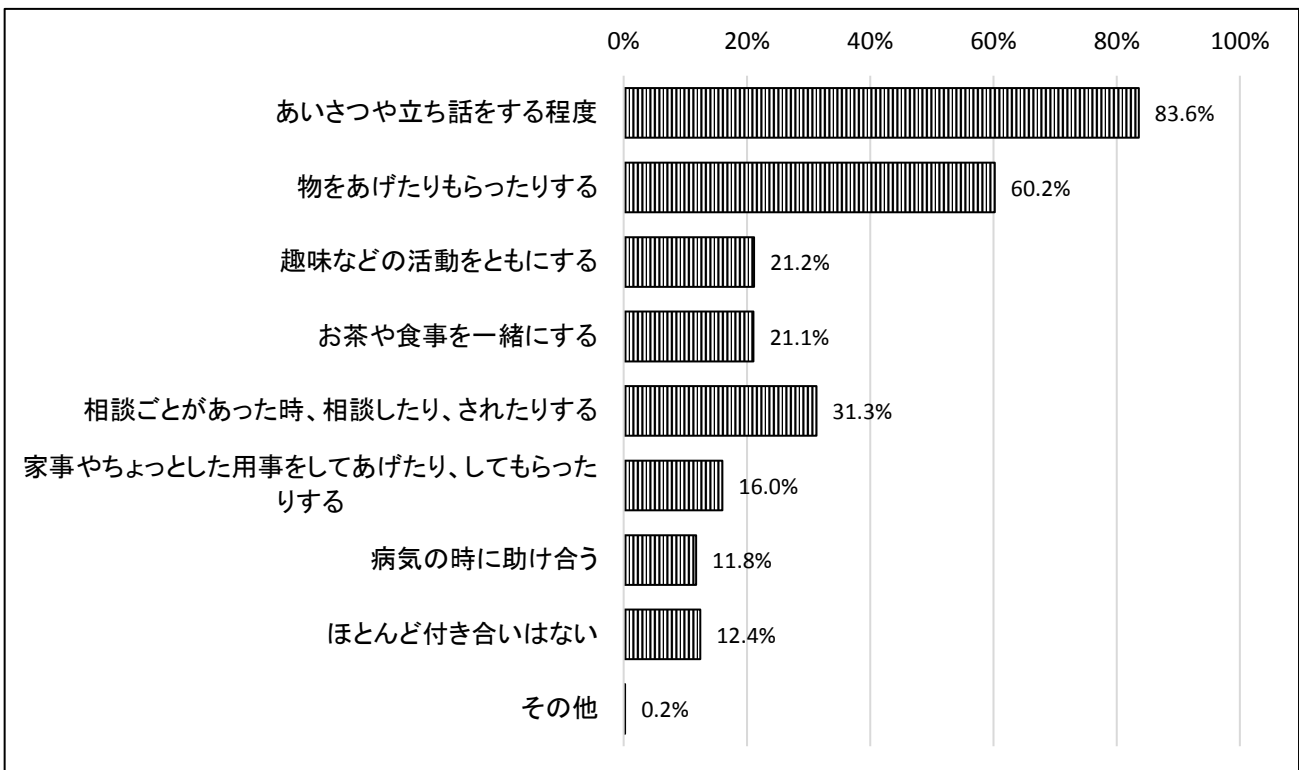
■あなたの隣近所との付き合いについてお尋ねします。

【問7】 あなたは、隣近所の人とどのようなお付き合いをしていますか？

《あてはまる番号すべてに○》

「あいさつや立ち話をする程度」が83.6%と最も高く、次いで「物をあげたりもらったりする」が60.2%と、お互いの生活に干渉しない程度の付き合いが多くなっています。

	人 数	パーセント (n=1,224)
あいさつや立ち話をする程度	1,023	83.6%
物をあげたりもらったりする	737	60.2%
趣味などの活動をともにする	259	21.2%
お茶や食事を一緒にする	258	21.1%
相談ごとがあった時、相談したり、されたりする	383	31.3%
家事やちょっとした用事をしてあげたり、してもらったりしている	196	16.0%
病気の時に助け合う	144	11.8%
ほとんど付き合いはない	152	12.4%
その他	3	0.2%



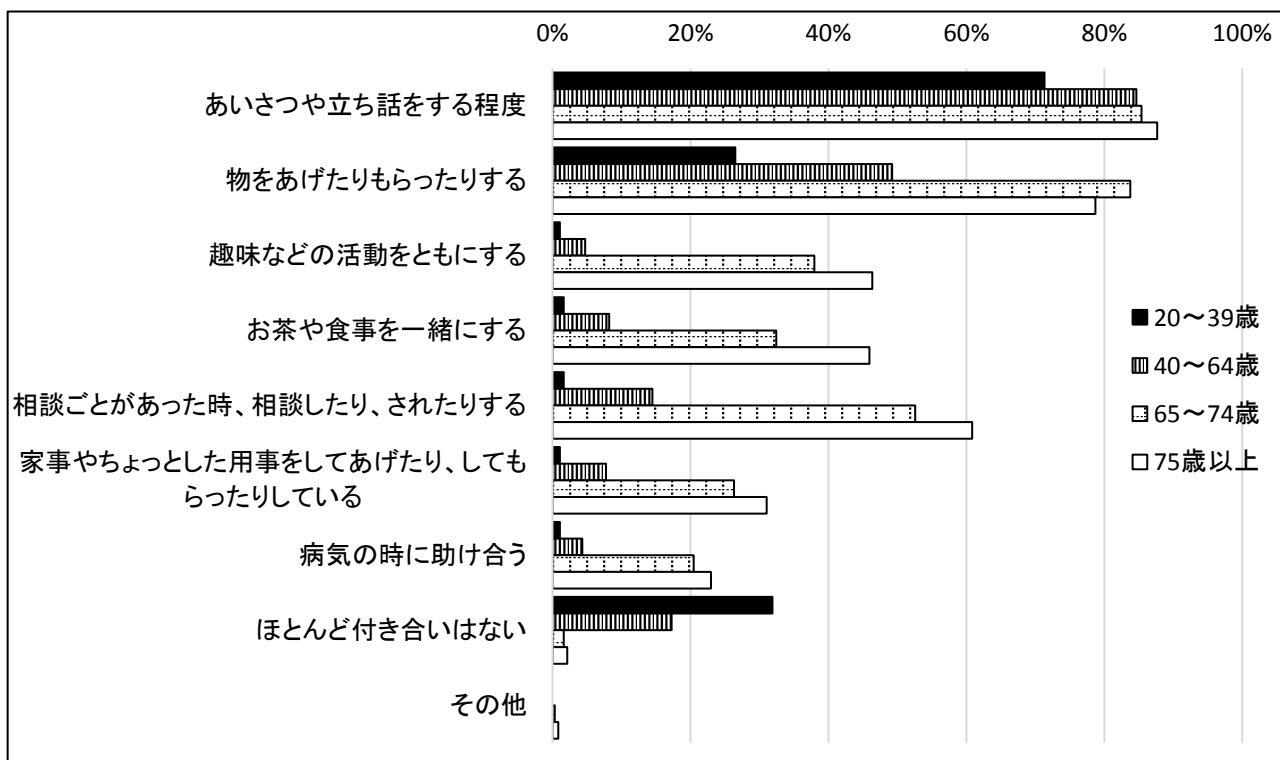
その他の回答

留守の時に注意をもらう	2件
町内会の行事	1件

<年齢別> (n=1,191 年齢未記入除く)

すべての年齢で「あいさつや立ち話をする程度」, 「物をあげたりもらったりする」程度の付き合いが最も多く, 「ほとんど付き合いはない」との回答は65~74歳で1.3%, 75歳以上で2.1%に対し, 20~39歳では29.0%, 40~64歳で17.3%になっており, 年齢によって隣近所との付き合い方に違いがあります。

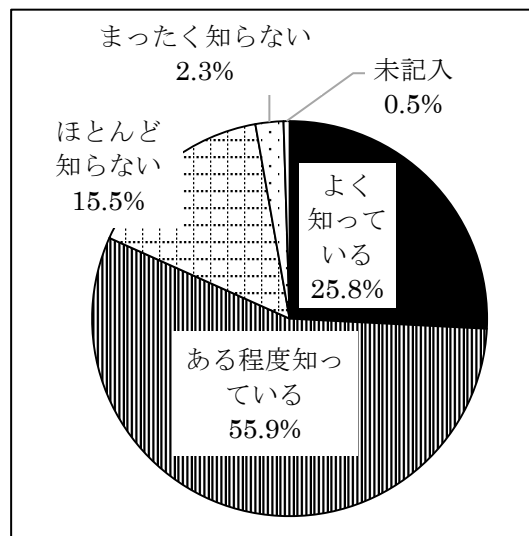
	年 齢			
	20~39歳 (n=185)	40~64歳 (n=463)	65~74歳 (n=308)	75歳以上 (n=235)
あいさつや立ち話をする程度	153 73.9%	383 84.9%	260 85.8%	205 87.6%
物をあげたりもらったりする	63 30.4%	222 49.2%	254 83.8%	185 79.1%
趣味などの活動をともにする	9 4.3%	21 4.7%	113 37.3%	109 46.6%
お茶や食事を一緒にする	10 4.8%	37 8.2%	97 32.0%	108 46.2%
相談ごとがあった時、相談したり、されたりする	9 4.3%	63 14.0%	160 52.8%	142 60.7%
家事やちょっとした用事をしてあげたり、してもらったりしている	5 2.4%	33 7.3%	79 26.1%	73 31.2%
病気の時に助け合う	5 2.4%	18 4.0%	62 20.5%	54 23.1%
ほとんど付き合いはない	60 29.0%	78 17.3%	4 1.3%	5 2.1%
その他	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	2 0.9%



【問8】 あなたは、隣近所にどのような人が住んでいるか知っていますか？ 《一つだけ〇》

「よく知っている」「ある程度知っている」を合わせると81.7%の方が隣近所に住んでいる人を知っていると回答しています。

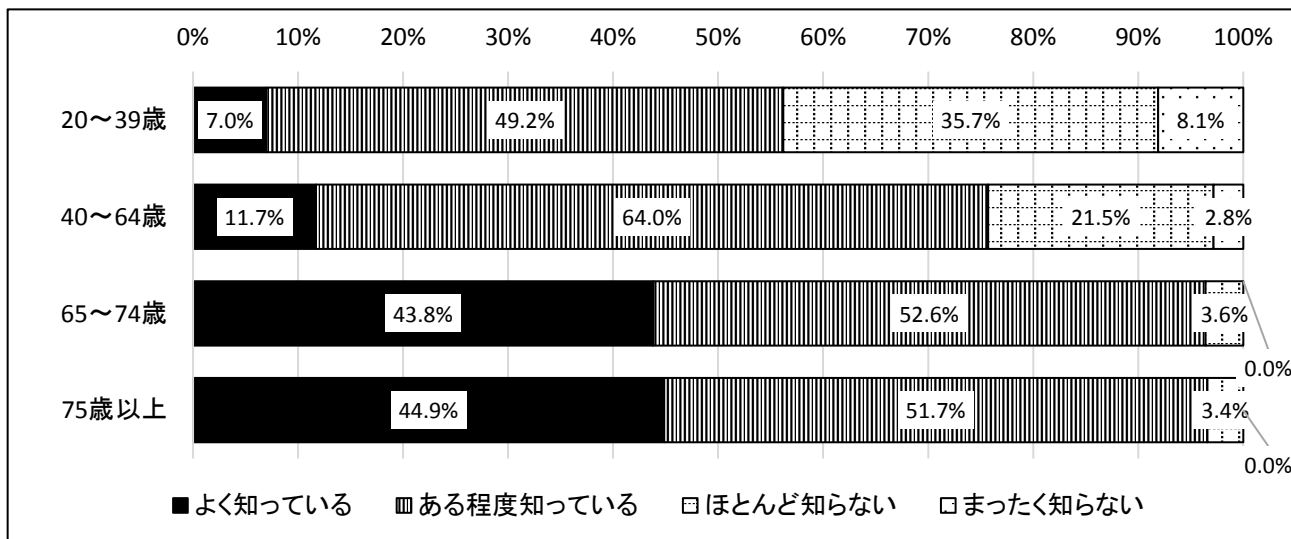
	人数	パーセント
よく知っている	316	25.8%
ある程度知っている	684	55.9%
ほとんど知らない	190	15.5%
まったく知らない	28	2.3%
未記入	6	0.5%
合計	1,224	100.0%



<年代別> (n=1,186 年齢未記入, 回答未記入除く)

65歳以上では、「よく知っている」「ある程度知っている」の合計が95%以上ですが、年齢が低くなるにつれて「知っている」の割合が低くなっています。

		よく知っている	ある程度知っている	ほとんど知らない	まったく知らない	合計
年 齢	20～39歳	13 7.0%	91 49.2%	66 35.7%	15 8.1%	185 100.0%
	40～64歳	54 11.7%	295 64.0%	99 21.5%	13 2.8%	461 100.0%
	65～74歳	134 43.8%	161 52.6%	11 3.6%	0 0.0%	306 100.0%
	75歳以上	105 44.9%	121 51.7%	8 3.4%	0 0.0%	234 100.0%

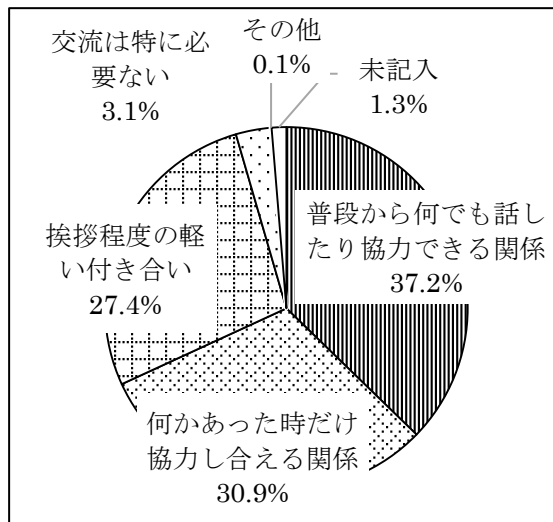


【問9】 あなたは、隣近所との付き合いでどのような関係が一番良いと思いますか？

《一つだけ〇》

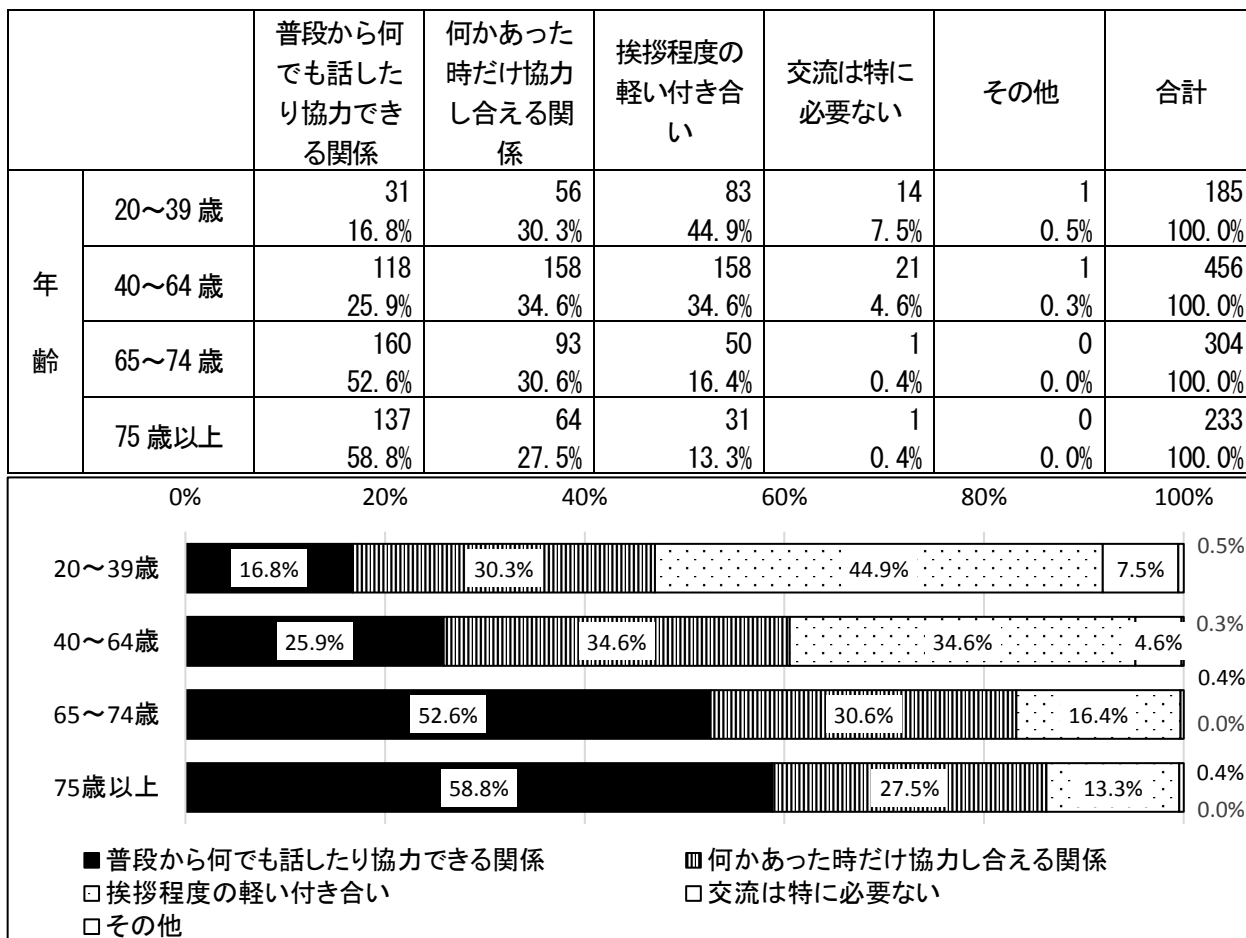
隣近所との付き合いについては、「普段から何でも話したり協力できる関係」が37.3%と最も高く、次いで「何かあった時だけ協力し合える関係」、「挨拶程度の軽い付き合い」と続いています。

	人数	パーセント
普段から何でも話したり協力できる関係	456	37.2%
何かあった時だけ協力し合える関係	378	30.9%
挨拶程度の軽い付き合い	335	27.4%
交流は特に必要ない	38	3.1%
その他	1	0.1%
未記入	16	1.3%
合計	1,224	100.0%



<年齢別> (n=1,178 年齢未記入, 回答未記入除く)

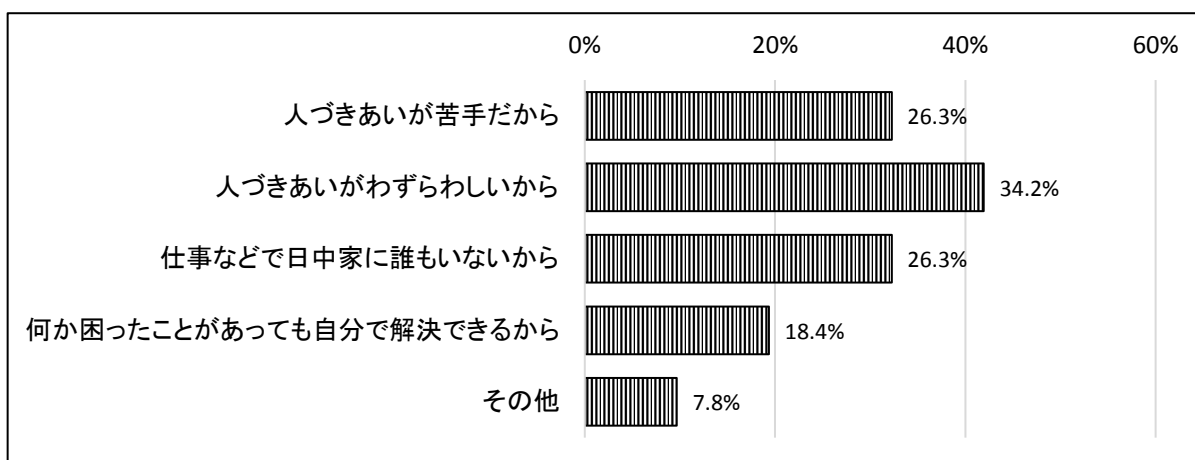
65歳以上では、「普段から何でも話したり協力できる関係」の割合が最も多いですが、20～64歳では「挨拶程度の軽い付き合い」が最も多く、問7、問8と同様に年齢での意識の違いがあります。



【問9で「交流は特に必要ない」と答えた方にお聞きします。】

【問9-1】 必要ないと思う理由を教えてください。 《あてはまる番号すべてに○》

	人 数	パーセント (n=38)
人づきあいが苦手だから	10	26.3%
人づきあいがわずらわしいから	13	34.2%
仕事などで日中家に誰もいないから	10	26.3%
何か困ったことがあっても自分で解決できるから	7	18.4%
その他	3	7.8%



その他の主な回答例

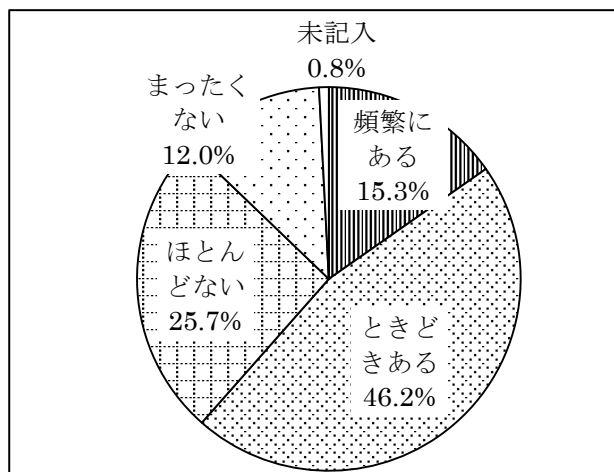
以前、嫌な思いをしたから	1件
トラブルになりたくない	1件

■あなたの居住している地域（町内）のことについてお尋ねします。

【問10】 あなたは、地域の中で自分とは違う世代の人と交流はありますか？《一つだけ〇》

「頻繁にある」が15.3%、「ときどきある」が46.2%となっていることから、61.5%の方が何等かの形での交流を経験しています。

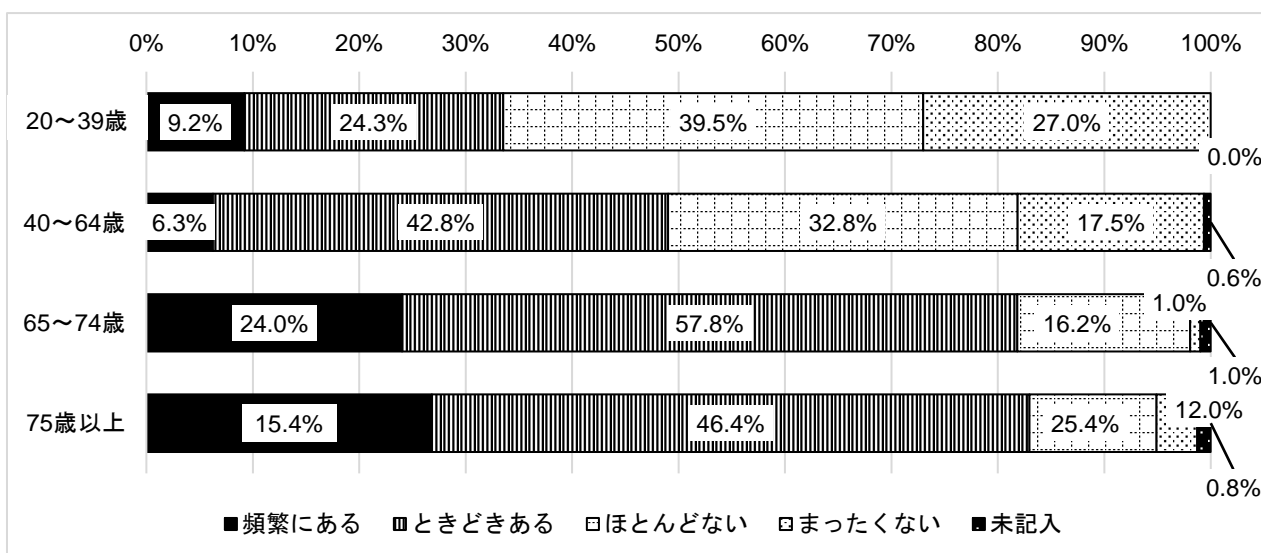
	人数	パーセント
頻繁にある	187	15.3%
ときどきある	566	46.2%
ほとんどない	314	25.7%
まったくない	147	12.0%
未記入	10	0.8%
合計	1,224	100.0%



<年齢別> (n=1,191 年齢未記入除く)

40歳以上では、「ときどきある」の割合が最も多いですが、20～39歳では「ほとんどない」が最も多くなっています。

		頻繁にある	ときどきある	ほとんどない	まったくない	未記入	合計
年齢	20～39歳	17 9.2%	45 24.3%	73 39.5%	50 27.0%	0 0.0%	185 100.0%
	40～64歳	29 6.3%	198 42.8%	152 32.8%	81 17.5%	3 0.6%	463 100.0%
	65～74歳	74 24.0%	178 57.8%	50 16.2%	3 1.0%	3 1.0%	308 100.0%
	75歳以上	63 15.4%	132 46.4%	28 25.4%	9 12.0%	3 0.8%	235 100.0%

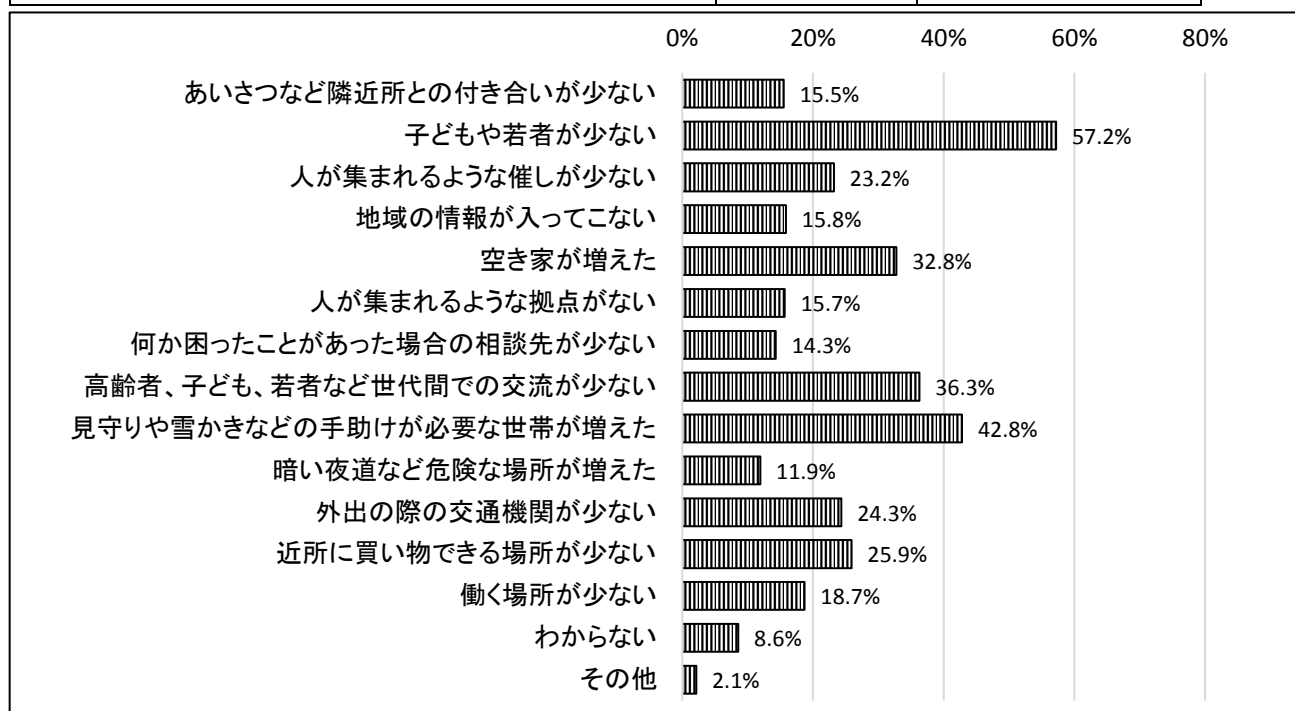


【問11】 あなたが居住している地域では、どのような生活課題があると思いますか？

《あてはまる番号すべてに○》

「子どもや若者が少ない」が57.2%、「見守りや雪かきなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた」が42.8%となっており、少子高齢化に関する課題が多く挙げられています。

	人数	パーセント (n=1,224)
あいさつなど隣近所との付き合いが少ない	190	15.5%
子どもや若者が少ない	700	57.2%
人が集まれるような催しが少ない	284	23.2%
地域の情報が入ってこない	194	15.8%
空き家が増えた	401	32.8%
人が集まれるような拠点が少ない	192	15.7%
何か困ったことがあった場合の相談先が少ない	175	14.3%
高齢者、子ども、若者など世代間での交流が少ない	444	36.3%
見守りや雪かきなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた	524	42.8%
暗い夜道など危険な場所が増えた	146	11.9%
外出の際の交通機関が少ない	298	24.3%
近所に買い物できる場所が少ない	317	25.9%
働く場所が少ない	229	18.7%
わからない	105	8.6%
その他	26	2.1%



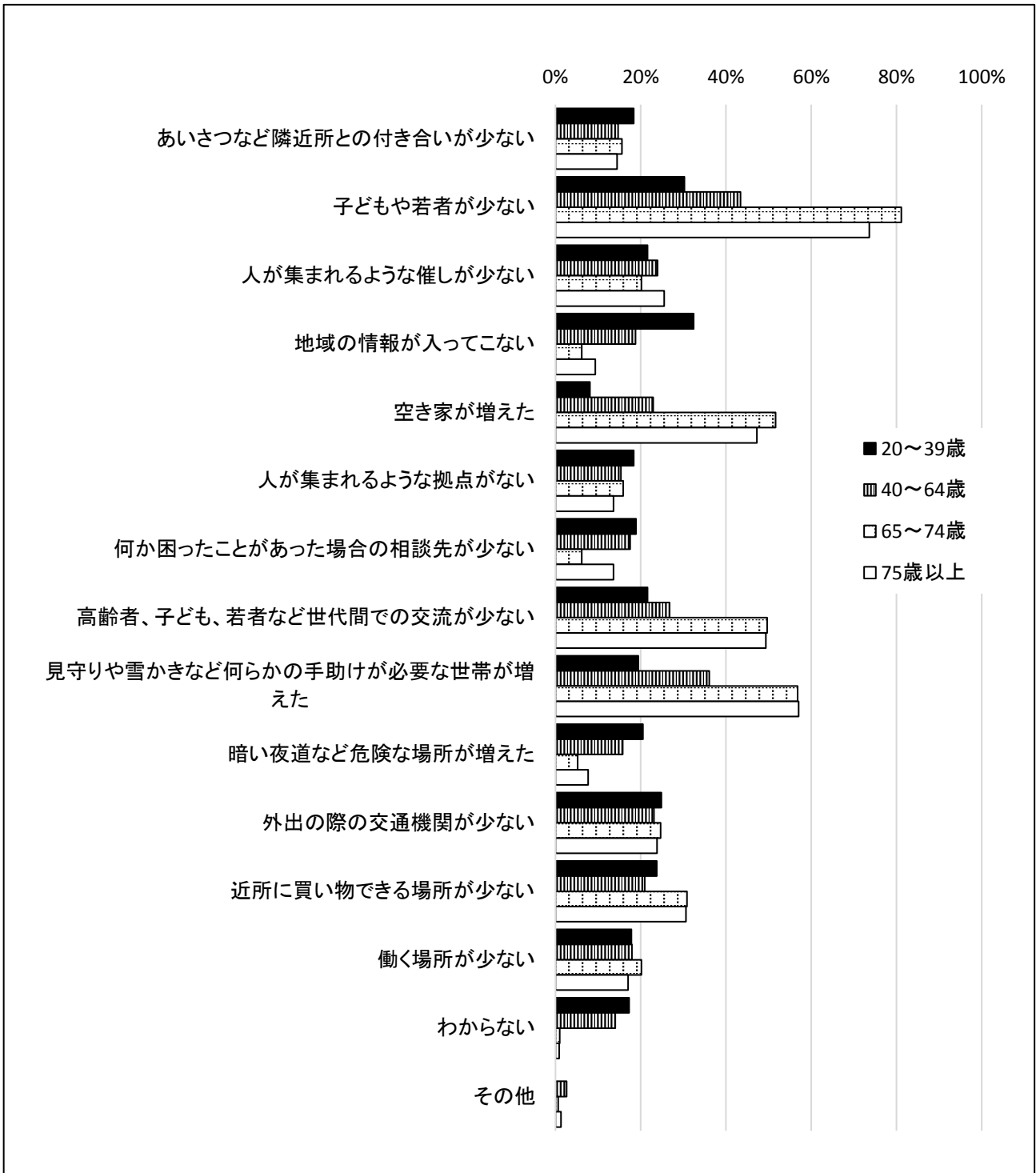
その他の主な回答例

バス停が遠い、バスの便数が少ない	2件
子どもの遊ぶ場がない	3件
自動車の交通マナーが悪い	2件

<年齢別> (n=1,191 年齢未記入除く)

年齢別で見ると「子どもや若者が少ない」という回答が40～64歳の43.4%、65～74歳の81.2%、75歳以上の73.6%と3つの年代で最も多く選択されています。

	年 齢			
	20～39 歳 (n=185)	40～64 歳 (n=463)	65～74 歳 (n=308)	75 歳以上 (n=235)
あいさつなど隣近所との付き合いが少ない	34 18.4%	68 14.7%	48 15.6%	34 14.5%
子どもや若者が少ない	56 30.3%	201 43.4%	250 81.2%	173 73.6%
人が集まれるような催しが少ない	40 21.6%	111 24.0%	62 20.1%	60 25.5%
地域の情報が入ってこない	60 32.4%	87 18.8%	19 6.2%	22 9.4%
空き家が増えた	15 8.1%	106 22.9%	159 51.6%	111 47.2%
人が集まれるような拠点が少ない	34 18.4%	71 15.3%	49 15.9%	32 13.6%
何か困ったことがあった場合の相談先が少ない	35 18.9%	81 17.5%	19 6.2%	32 13.6%
高齢者、子ども、若者など世代間での交流が少ない	40 21.6%	124 26.8%	153 49.7%	116 49.4%
見守りや雪かきなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた	36 19.5%	167 36.1%	175 56.8%	134 57.0%
暗い夜道など危険な場所が増えた	38 19.5%	73 15.8%	16 5.2%	18 7.7%
外出の際の交通機関が少ない	46 24.9%	107 23.1%	76 24.7%	56 23.8%
近所に買い物できる場所が少ない	44 23.8%	97 21.0%	95 30.8%	72 30.6%
働く場所が少ない	33 17.8%	83 17.9%	62 20.1%	40 17.0%
わからない	32 17.3%	65 14.0%	3 1.0%	2 0.9%
その他	8 4.3%	12 2.6%	2 0.6%	3 1.3%

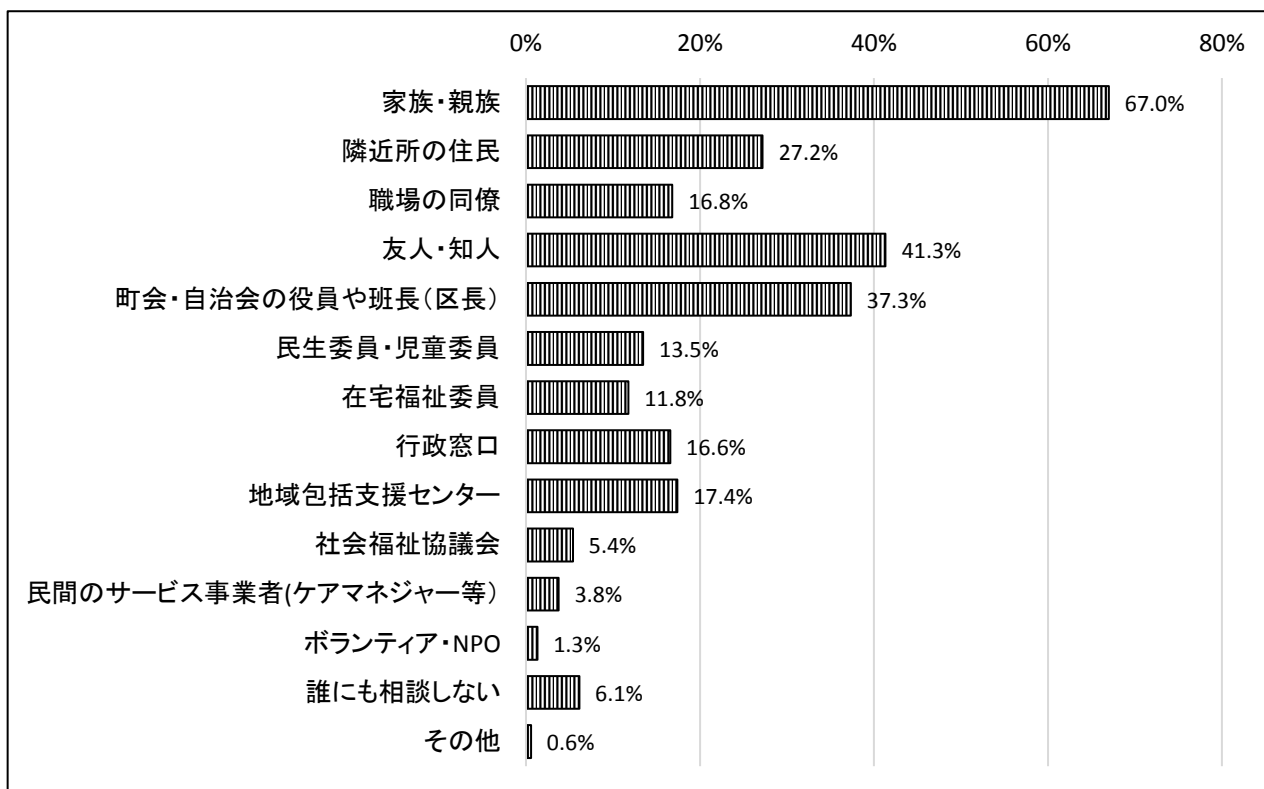


【問12】 あなたは、地域の生活課題について相談される場合、どのような人に相談しますか？

《あてはまる番号すべてに○》

最も多いのが「家族・親族」の67.0%，次いで「友人・知人」の41.3%となっています。

	人数	パーセント (n=1,224)
家族・親族	820	67.0%
隣近所の住民	333	27.2%
職場の同僚	206	16.8%
友人・知人	506	41.3%
町会・自治会の役員や班長（区長）	457	37.3%
民生委員・児童委員	165	13.5%
在宅福祉委員	144	11.8%
行政窓口	203	16.6%
地域包括支援センター	213	17.4%
社会福祉協議会	66	5.4%
民間のサービス事業者(ケアマネジャー等)	46	3.8%
ボランティア・NPO	16	1.3%
誰にも相談しない	75	6.1%
その他	7	0.6%



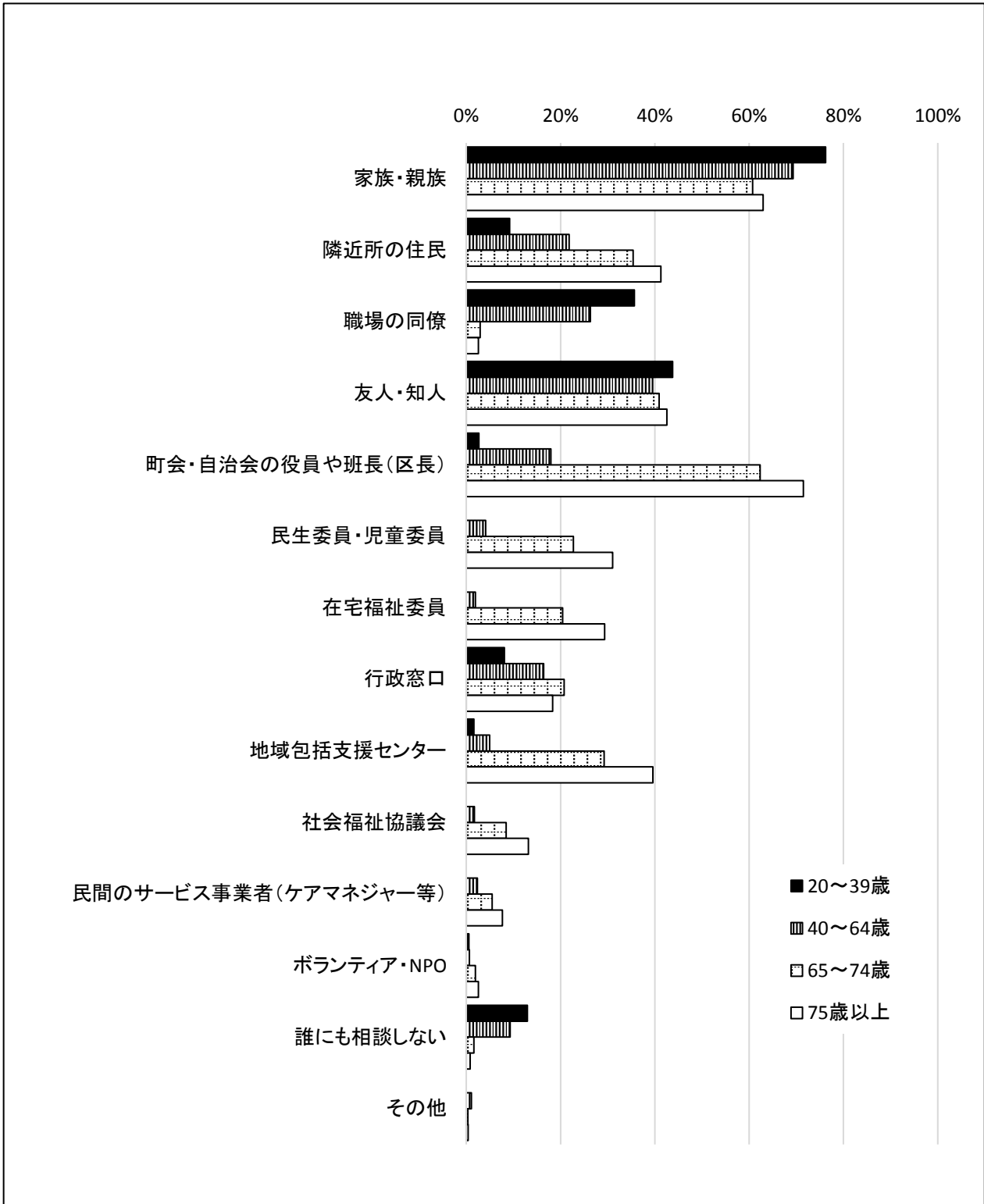
その他の主な回答例

インターネット	2件
病院	1件

<年齢別> (n=1,191 年齢未記入除く)

20～39歳、40～64歳では「家族・親族」が最も多くなっていますが、65～74歳、75歳以上では「町会・自治会の役員や班長（区長）」が最も多くなっており、年齢が高くなると町会・自治会関係、地域包括支援センター、民生委員・児童委員、在宅福祉委員など地域での繋がりがあの方の割合が高くなっています。

	年 齢			
	20～39歳 (n=185)	40～64歳 (n=463)	65～74歳 (n=308)	75歳以上 (n=235)
家族・親族	141 76.2%	321 69.3%	187 60.7%	148 63.0%
隣近所の住民	17 9.2%	101 21.8%	109 35.4%	97 41.3%
職場の同僚	66 35.7%	122 26.3%	9 2.9%	6 2.6%
友人・知人	81 43.8%	183 39.5%	126 40.9%	100 42.6%
町会・自治会の役員や班長（区長）	5 2.7%	83 17.9%	192 62.3%	168 71.5%
民生委員・児童委員	0 0.0%	19 4.1%	70 22.7%	73 31.1%
在宅福祉委員	0 0.0%	9 1.9%	63 20.5%	69 29.4%
行政窓口	15 8.1%	76 16.4%	64 20.8%	43 18.3%
地域包括支援センター	3 1.6%	23 5.0%	90 29.2%	93 39.6%
社会福祉協議会	0 0.0%	8 1.7%	26 8.4%	31 13.2%
民間のサービス事業者（ケアマネジャー等）	0 0.0%	11 2.4%	17 5.5%	18 7.7%
ボランティア・NPO	1 0.5%	3 0.6%	6 1.9%	6 2.6%
誰にも相談しない	24 13.0%	43 9.3%	5 1.6%	2 0.9%
その他	0 0.0%	5 1.1%	1 0.3%	1 0.3%

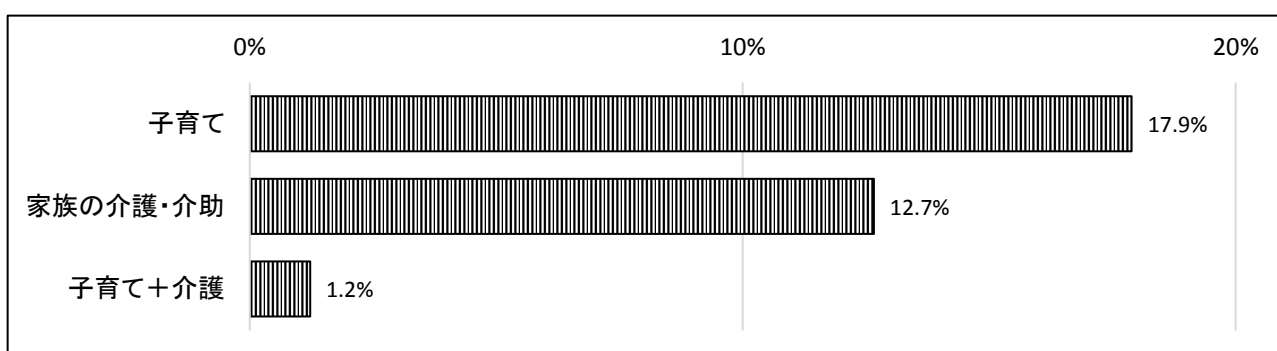


■あなたの生活状況についてお尋ねします。

【問13】 あなたは、現在、子育てやご家族の介護・介助をしていますか？

《あてはまる番号すべてに○》

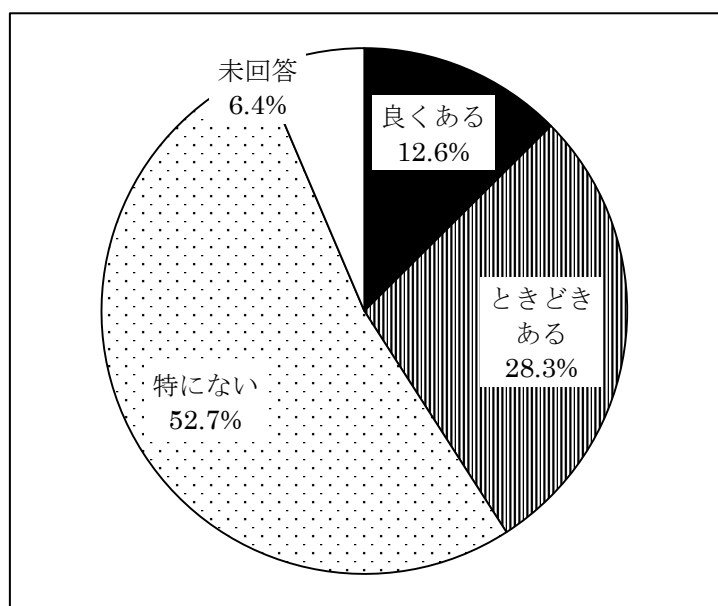
	人数	パーセント (n=1,224)
子育てをしている	219	17.9%
家族の介護・介助をしている	155	12.7%
子育て、家族の介護・介助の両方をしている	15	1.2%



【問13で「子育て」や「家族の介護・介助」をしていると答えた方にお聞きします。】

【問13-1】 お子さんや介護・介助が必要な方と外出したときに困ったり、不便を感じることはありますか？《一つだけ○》

	人数	パーセント
良くある	47	12.6%
ときどきある	106	28.3%
特にない	197	52.7%
未回答	24	6.4%
合計	374	100.0%



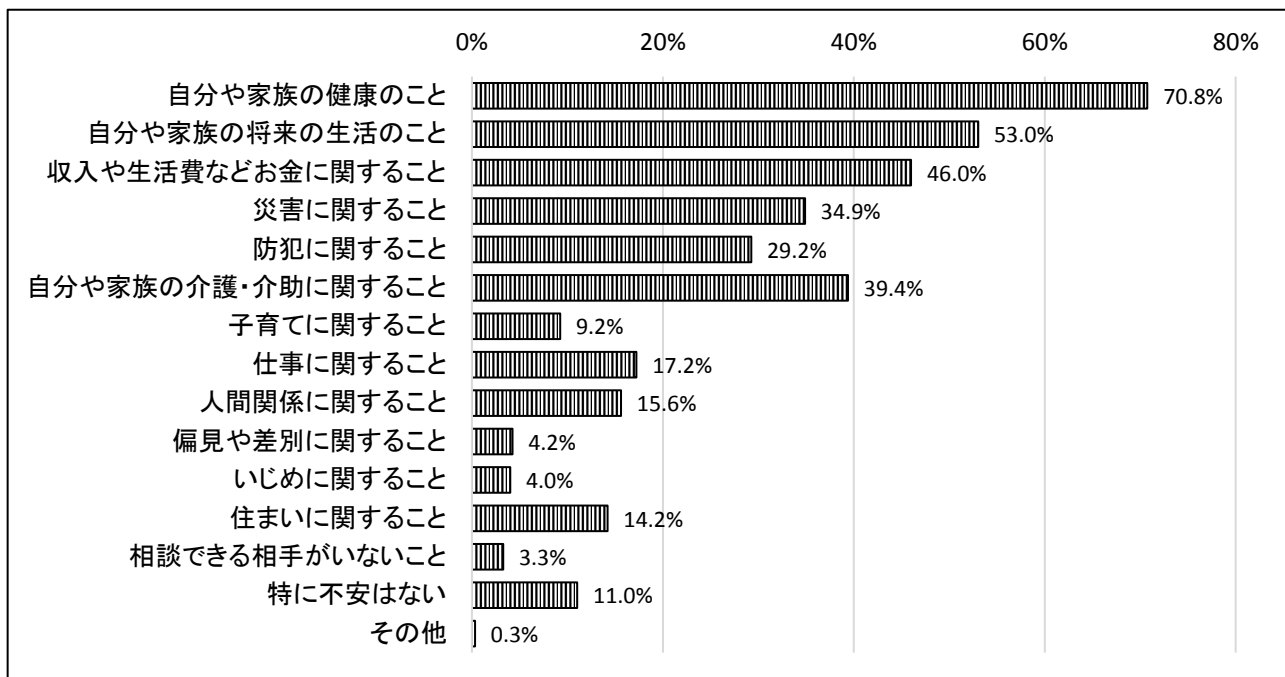
【問13-2】についてはP43～参照

【問14】 あなたは、日常生活の中で次のような不安を感じることがありますか？

《あてはまる番号すべてに○》

最も多いのは「自分や家族の健康のこと」で70.8%，次いで「自分や家族の将来の生活のこと」が53.0%となっており，過半数の方が自分や家族のことに関して不安を感じています。

	人 数	パーセント (n=1,224)
自分や家族の健康のこと	866	70.8%
自分や家族の将来の生活のこと	649	53.0%
収入や生活費などお金に関すること	563	46.0%
災害に関すること	427	34.9%
防犯に関すること	358	29.2%
自分や家族の介護・介助に関すること	482	39.4%
子育てに関すること	113	9.2%
仕事に関すること	211	17.2%
人間関係に関すること（家族、友人、近隣、職場など）	191	15.6%
偏見や差別に関すること	52	4.2%
いじめに関すること	49	4.0%
住まいに関すること	174	14.2%
相談できる相手がいないこと	40	3.3%
特に不安はない	135	11.0%
その他	4	0.3%



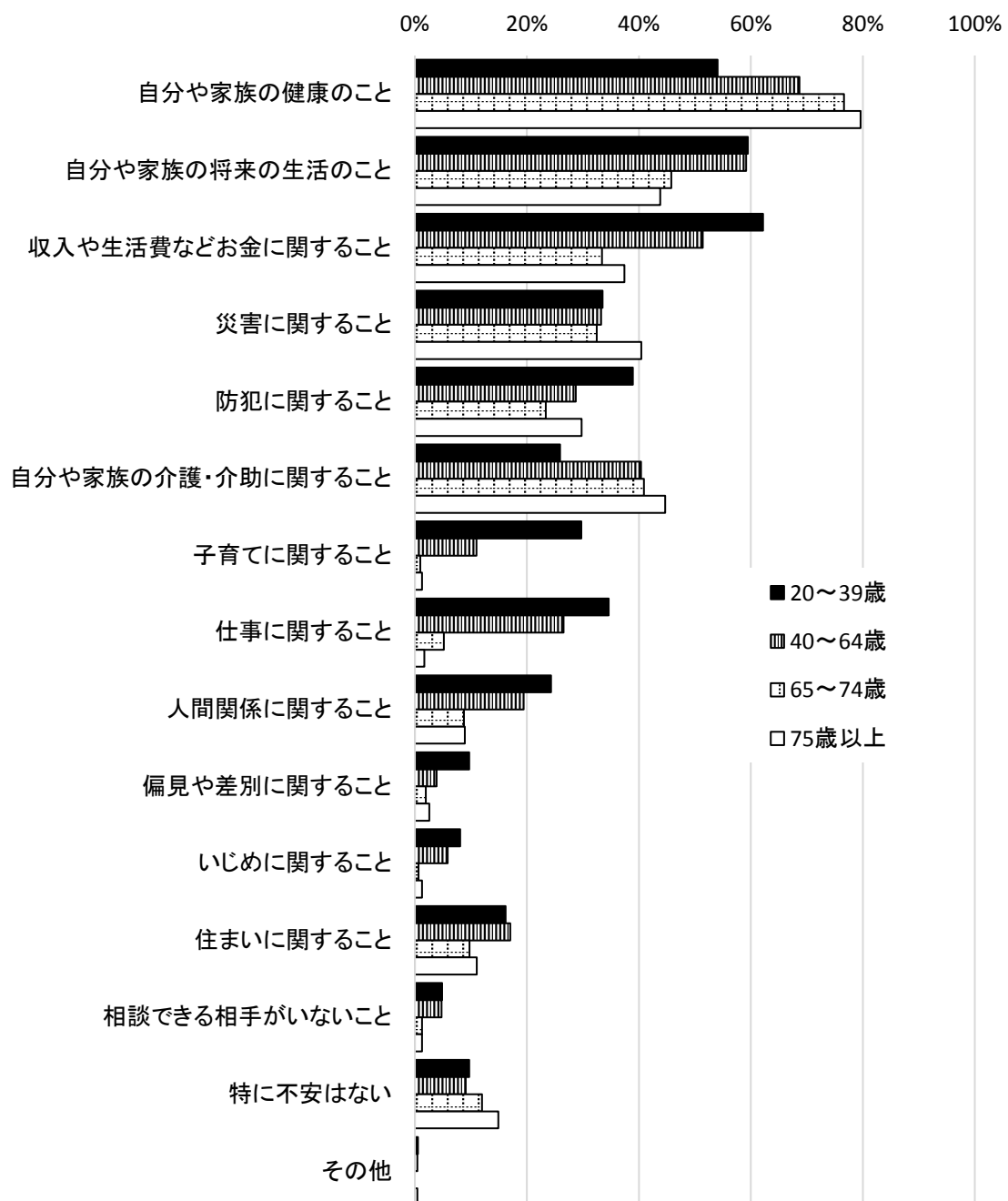
その他の回答例

交通機関	1件
除雪	2件

<年齢別> (n=1,191 年齢未記入除く)

20～39歳で最も多いのは「収入や生活費などお金に関すること」となっており、その他の年齢では「自分や家族の健康のこと」となっています。

	年 齢			
	20～39歳 (n=185)	40～64歳 (n=463)	65～74歳 (n=308)	75歳以上 (n=235)
自分や家族の健康のこと	100 54.1%	318 68.7%	236 76.6%	187 79.6%
自分や家族の将来の生活のこと	110 59.5%	174 59.2%	141 45.8%	103 43.8%
収入や生活費などお金に関すること	115 62.2%	238 51.4%	103 33.4%	88 37.4%
災害に関すること	62 33.5%	154 33.3%	100 32.5%	95 40.4%
防犯に関すること	72 38.9%	133 28.7%	72 23.4%	70 29.8%
自分や家族の介護・介助に関すること	48 25.9%	187 40.4%	126 40.9%	105 44.7%
子育てに関すること	55 29.7%	51 11.0%	3 1.0%	3 1.3%
仕事に関すること	64 34.6%	123 26.6%	16 5.2%	4 1.7%
人間関係に関すること（家族、友人、近隣、職場など）	45 24.3%	90 19.4%	27 8.8%	21 8.9%
偏見や差別に関すること	18 9.7%	18 3.9%	6 1.9%	6 2.6%
いじめに関すること	15 8.1%	27 5.8%	2 0.6%	3 1.3%
住まいに関すること	30 16.2%	79 17.1%	30 9.7%	26 11.1%
相談できる相手がないこと	11 5.3%	20 4.4%	4 1.3%	3 1.3%
特に不安はない	18 9.7%	42 9.1%	37 12.0%	35 14.9%
その他	1 0.5%	2 0.4%	0 0.0%	1 0.4%

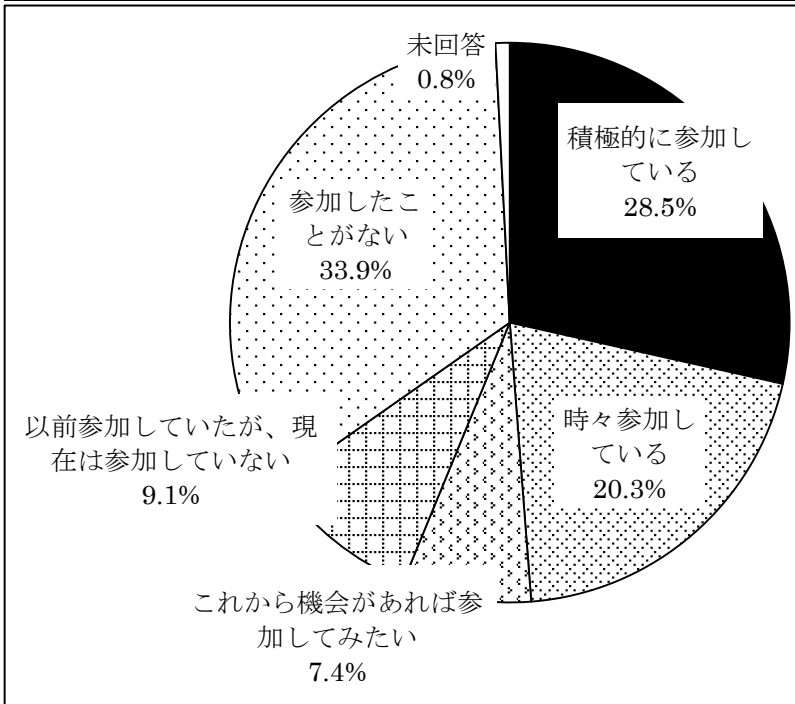


■あなたのボランティアや地域活動についてお尋ねします。

【問15】 あなたはボランティアや地域活動に参加したことがありますか？ 《一つだけ〇》

「積極的に参加している」「時々参加している」「これから機会があれば参加してみたい」の合計は 56.2%と過半数になっています。

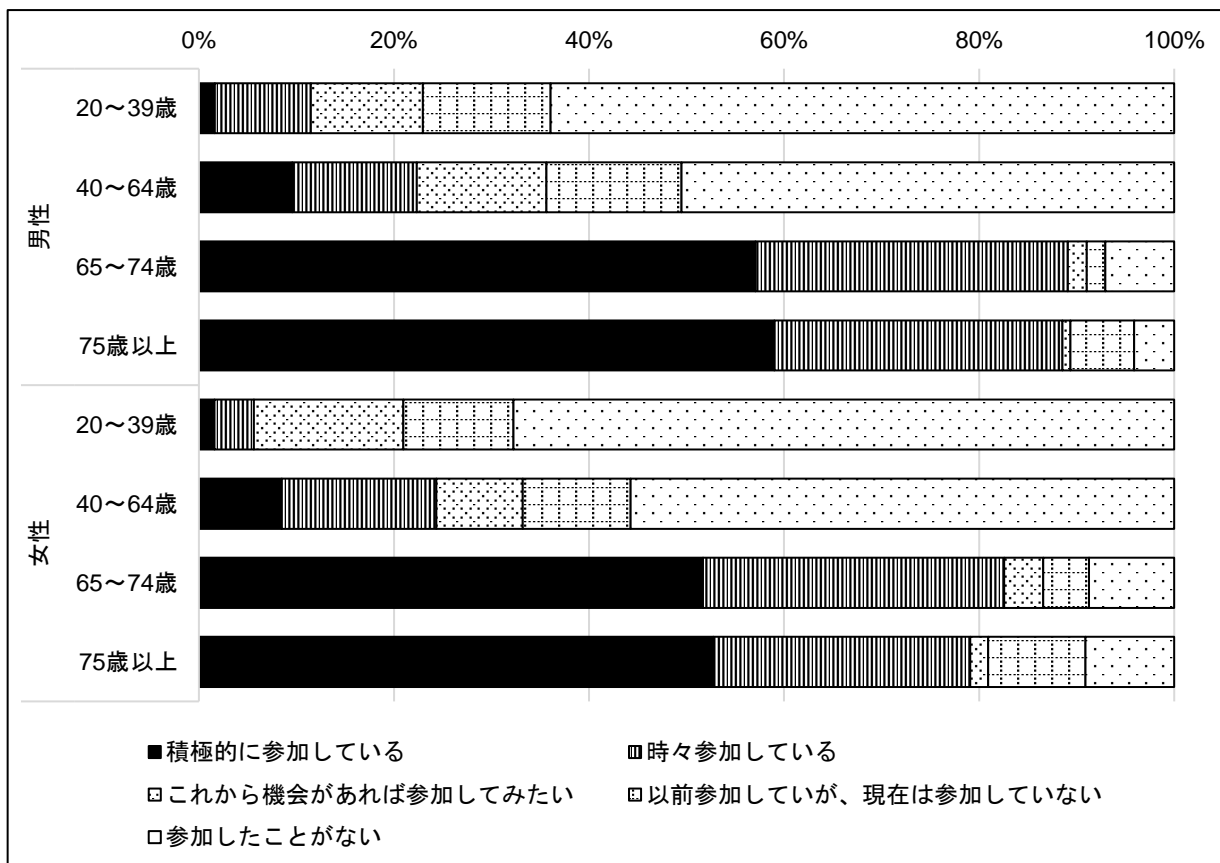
	人数	パーセント
積極的に参加している	349	28.5%
時々参加している	248	20.3%
これから機会があれば参加してみたい	91	7.4%
以前参加していたが、現在は参加していない	111	9.1%
参加したことがない	415	33.9%
未回答	10	0.8%
合計	1,224	100.0%



<性別・年齢別> (n=1,181 性別, 年齢, 回答未記入除く)

男女とも65歳以上では80%以上の方が参加していますが、20～39歳では60%以上、40～64歳以下では50%以上の方が「参加したことがない」となっています。

		積極的に参加している	時々参加している	これから機会があれば参加してみたい	以前参加していたが、現在は参加していない	参加したことがない	合計
男 性	20～39歳	1 1.6%	6 9.8%	7 11.6%	8 13.1%	39 63.9%	61 100.0%
	40～64歳	18 9.6%	24 12.8%	25 13.3%	26 13.8%	95 50.5%	188 100.0%
	65～74歳	89 57.1%	50 32.1%	3 1.9%	3 1.9%	11 7.0%	156 100.0%
	75歳以上	72 59.0%	36 29.5%	1 0.8%	8 6.6%	5 4.1%	122 100.0%
女 性	20～39歳	2 1.6%	5 4.0%	19 15.4%	14 11.3%	84 67.7%	124 100.0%
	40～64歳	23 8.4%	43 15.9%	24 8.9%	30 11.1%	151 55.7%	271 100.0%
	65～74歳	77 51.7%	46 30.9%	6 4.0%	7 4.7%	13 8.7%	149 100.0%
	75歳以上	58 52.7%	29 26.4%	2 1.8%	11 10.0%	10 9.1%	110 100.0%

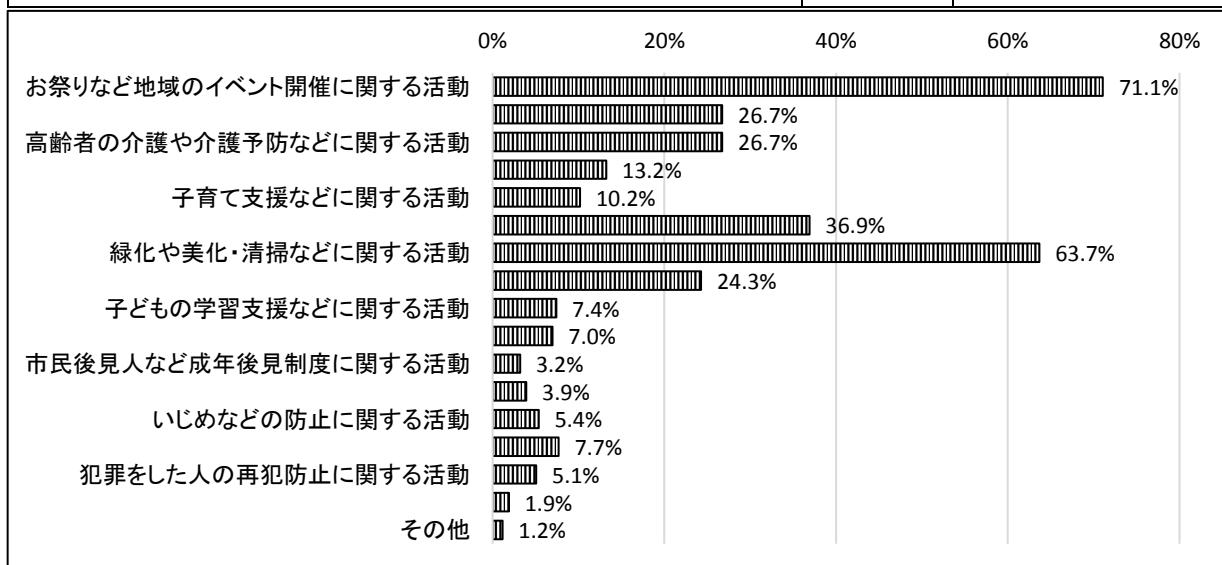


【問15で「積極的、時々参加している」・「機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きします。】

【問15-1】 それほどのような活動ですか？《あてはまる番号すべてに○》

「お祭りなど地域のイベント開催に関する活動」が71.1%、「防火や美化・清掃に関する活動」が63.7%と地域で行われている身近な活動の割合が高くなっています。

	人 数	パーセント (n=688)
お祭りなど地域のイベント開催に関する活動	489	71.1%
サロン活動など地域の拠点づくりに関する活動	184	26.7%
高齢者の介護や介護予防などに関する活動	184	26.7%
障がいのある人の支援などに関する活動	91	13.2%
子育て支援などに関する活動	70	10.2%
防犯や防災に関する活動	254	36.9%
緑化や美化・清掃などに関する活動	438	63.7%
文化やスポーツに関する活動	167	24.3%
子どもの学習支援などに関する活動	51	7.4%
男女共同参画に関する活動	48	7.0%
市民後見人など成年後見制度に関する活動	22	3.2%
偏見や差別の解消に関する活動	27	3.9%
いじめなどの防止に関する活動	37	5.4%
生活困窮者の支援に関する活動	53	7.7%
犯罪をした人の再犯防止に関する活動	35	5.1%
薬物やアルコールなどの依存症に関する活動	13	1.9%
その他	8	1.2%



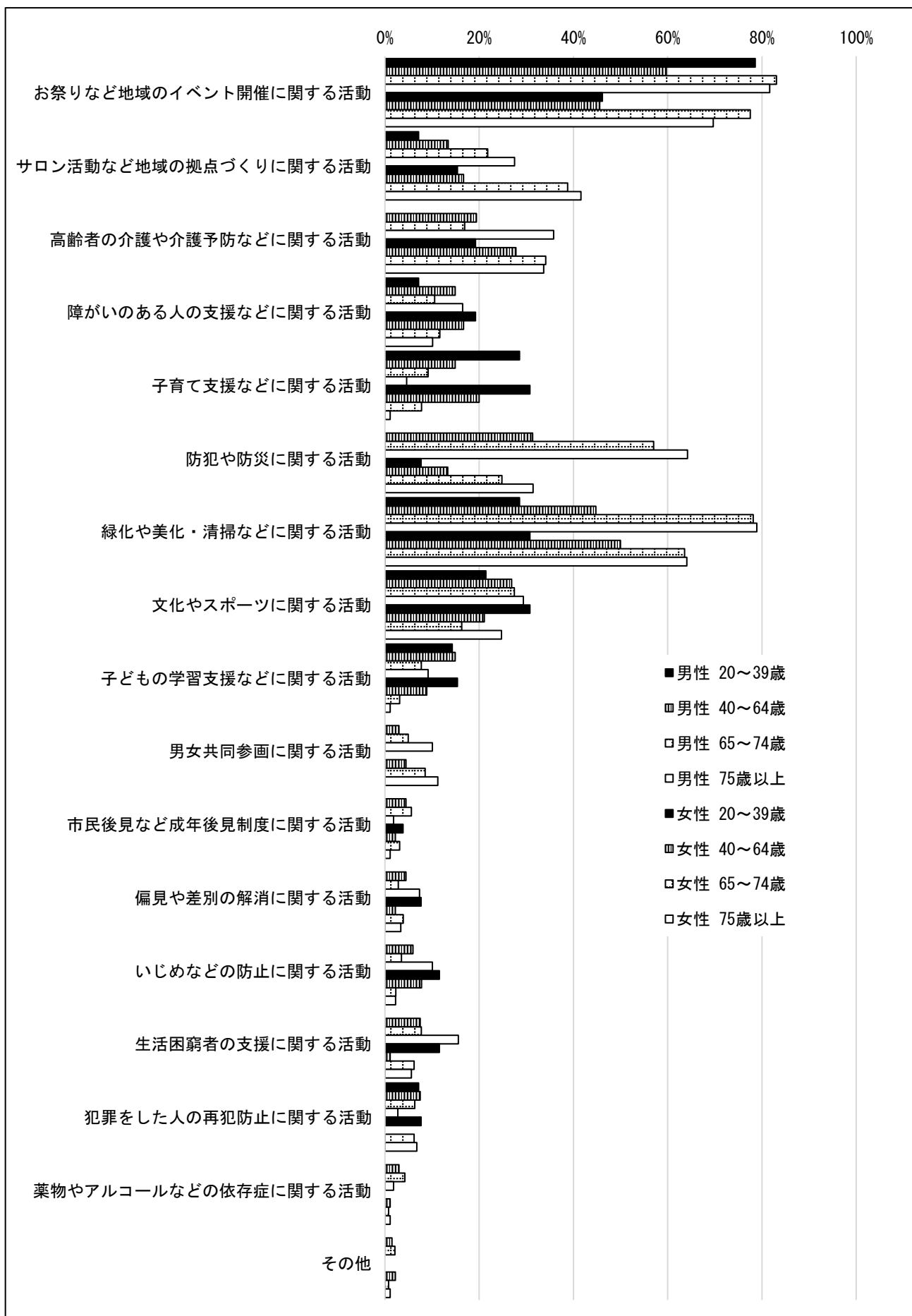
その他の回答例

保護猫の世話	1件
赤い羽根	1件

<性別・年齢別>

多くの項目で、年齢や性別による大きな差は見られません。

	男 性				女 性			
	20～39 歳 (n=14)	40～59 歳 (n=67)	60～74 歳 (n=142)	75歳 以上 (n=109)	20～39 歳 (n=26)	40～64 歳 (n=90)	65～74 歳 (n=129)	75歳 以上 (n=89)
お祭りなど地域のイベント開催に関する活動	11 78.6%	40 59.7%	118 83.1%	89 81.7%	12 46.2%	41 45.6%	100 77.5%	62 69.7%
サロン活動など地域の拠点づくりに関する活動	1 7.1%	9 13.4%	31 21.8%	30 27.5%	4 15.4%	15 16.7%	50 38.8%	37 41.6%
高齢者の介護や介護予防などに関する活動	0 0.0%	13 19.4%	24 16.9%	39 35.8%	5 19.2%	25 27.8%	44 34.1%	30 33.7%
障がいのある人の支援などに関する活動	1 7.1%	10 14.9%	15 10.6%	18 16.5%	5 19.2%	15 16.7%	15 11.6%	9 10.1%
子育て支援などに関する活動	4 28.6%	10 14.9%	13 9.2%	5 4.6%	8 30.8%	18 20.0%	10 7.8%	1 1.1%
防犯や防災に関する活動	0 0.0%	21 31.3%	81 57.0%	70 64.2%	2 7.7%	12 13.3%	32 24.8%	28 31.5%
緑化や美化・清掃などに関する活動	4 28.6%	30 44.8%	111 78.2%	86 78.9%	8 30.8%	45 50.0%	82 63.6%	57 64.0%
文化やスポーツに関する活動	3 21.4%	18 26.9%	39 27.5%	32 29.4%	8 30.8%	19 21.1%	21 16.3%	22 24.7%
子どもの学習支援などに関する活動	2 14.3%	10 14.9%	11 7.7%	10 9.2%	4 15.4%	8 8.9%	4 3.1%	1 1.1%
男女共同参画に関する活動	0 0.0%	2 3.0%	7 4.9%	11 10.1%	0 0.0%	4 4.4%	11 8.5%	10 11.2%
市民後見など成年後見制度に関する活動	0 0.0%	3 4.5%	8 5.6%	2 1.8%	1 3.8%	2 2.2%	4 3.1%	1 1.1%
偏見や差別の解消に関する活動	0 0.0%	3 4.5%	4 2.8%	8 7.3%	2 7.7%	2 2.2%	5 3.9%	3 3.4%
いじめなどの防止に関する活動	0 0.0%	4 6.0%	5 3.5%	11 10.1%	3 11.5%	7 7.8%	3 2.34%	2 2.2%
生活困窮者の支援に関する活動	0 0.0%	5 7.5%	11 7.7%	17 15.6%	3 11.5%	1 1.1%	8 6.2%	5 5.6%
犯罪をした人の再犯防止に関する活動	1 7.1%	5 7.5%	9 6.3%	3 2.8%	2 7.7%	0 0.0%	8 6.2%	6 6.7%
薬物やアルコールなどの依存症に関する活動	0 0.0%	2 3.0%	6 4.2%	2 1.8%	0 0.0%	1 1.1%	1 0.8%	1 1.1%
その他	0 0.0%	1 1.5%	3 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.2%	1 0.8%	1 1.1%

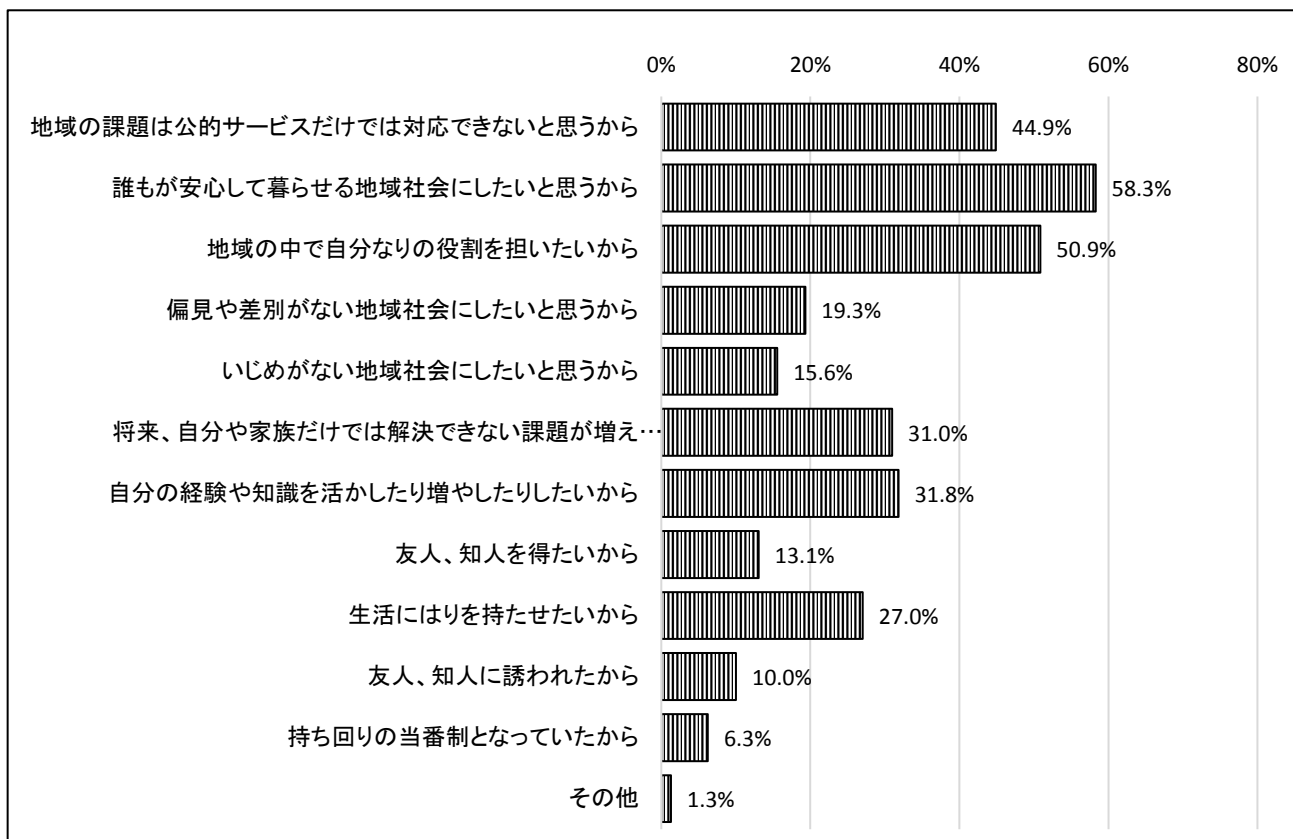


問15で「積極的、時々参加している」・「機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きします。】

【問15-2】 それほどのような理由からですか？《あてはまる番号すべてに○》

最も多いのは「誰もが安心して暮らせる地域社会にしたいと思うから」58.3%となっています。

	人数	パーセント(n=688)
地域の課題は公的サービスだけでは対応できないと思うから	309	44.9%
誰もが安心して暮らせる地域社会にしたいと思うから	401	58.3%
地域の中で自分なりの役割を担いたいから	350	50.9%
偏見や差別がない地域社会にしたいと思うから	133	19.3%
いじめがない地域社会にしたいと思うから	107	15.6%
将来、自分や家族だけで解決できない課題が増え地域に支えられると思うから	213	31.0%
自分の経験や知識を活かしたり増やしたりしたいから	219	31.8%
友人、知人を得たいから	90	13.1%
生活にはりを持たせたいから	186	27.0%
友人、知人に誘われたから	69	10.0%
持ち回りの当番制となっていたから	43	6.3%
その他	9	1.3%



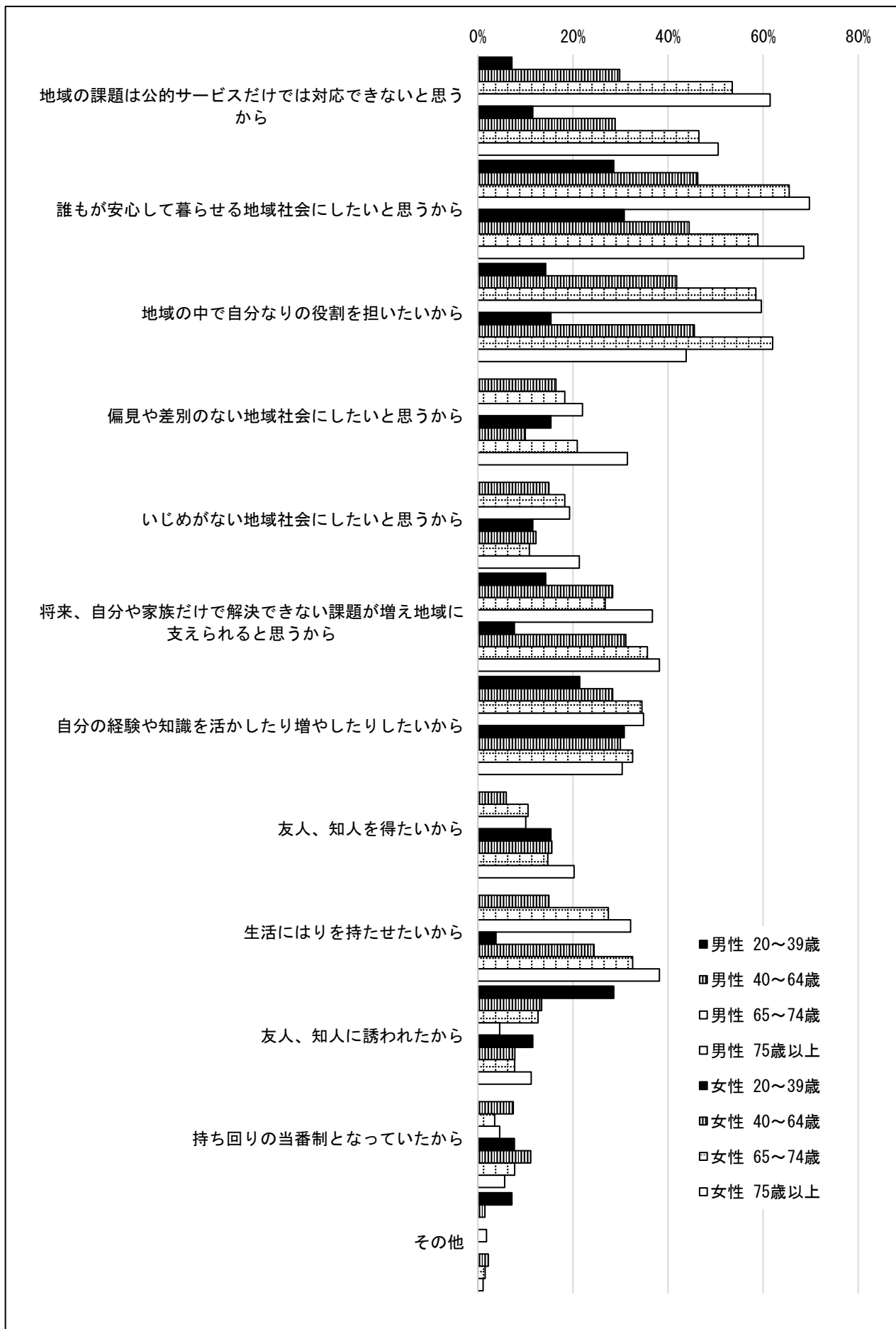
その他の回答例

子どもの教育のため	2件
他にする人がいないから	2件

<性別・年齢別>

多くの項目で、年齢や性別による大きな差は見られません。

	男 性				女 性			
	20～39 歳 (n=14)	40～64 歳 (n=67)	65～74 歳 (n=142)	75歳 以上 (n=109)	20～39 歳 (n=26)	40～64 歳 (n=90)	65～74 歳 (n=129)	75歳 以上 (n=89)
地域の課題は公的サービスだけでは対応できないと思うから	1 7.1%	20 29.9%	76 53.5%	67 61.5%	3 11.5%	26 28.9%	60 46.5%	45 50.6%
誰もが安心して暮らせる地域社会にしたいと思うから	4 28.6%	31 46.3%	93 65.5%	76 69.7%	8 30.8%	40 44.4%	76 58.9%	61 68.5%
地域の中で自分なりの役割を担いたいから	2 14.3%	28 41.8%	83 58.5%	65 59.6%	4 15.4%	41 45.6%	80 62.0%	39 43.8%
偏見や差別のない地域社会にしたいと思うから	0 0.0%	11 16.4%	26 18.3%	24 22.0%	4 15.4%	9 10.0%	27 20.9%	28 31.5%
いじめがない地域社会にしたいと思うから	0 0.0%	10 14.9%	26 18.3%	21 19.3%	3 11.5%	11 12.2%	14 10.9%	19 21.3%
将来、自分や家族だけで解決できない課題が増え地域に支えられると思うから	2 14.3%	19 28.4%	38 26.8%	40 36.7%	2 7.7%	28 31.1%	46 35.7%	34 38.2%
自分の経験や知識を活かしたり増やしたりしたいから	3 21.4%	19 28.4%	49 34.5%	38 34.9%	8 30.8%	27 30.0%	42 32.6%	27 30.3%
友人、知人を得たいから	0 0.0%	4 6.0%	15 10.6%	11 10.1%	4 15.4%	14 15.6%	19 14.7%	18 20.2%
生活にはりを持たせたいから	0 0.0%	10 14.9%	39 27.5%	35 32.1%	1 3.8%	22 24.4%	42 32.6%	34 38.2%
友人、知人に誘われたから	4 28.6%	9 13.4%	18 12.7%	5 4.6%	3 11.5%	7 7.8%	10 7.8%	10 11.2%
持ち回りの当番制となっていたから	0 0.0%	5 7.5%	5 3.5%	5 4.6%	2 7.7%	10 11.1%	10 7.8%	5 5.6%
その他	1 7.1%	1 1.5%	0 0.0%	2 1.8%	0 0.0%	2 2.2%	2 1.6%	1 1.1%

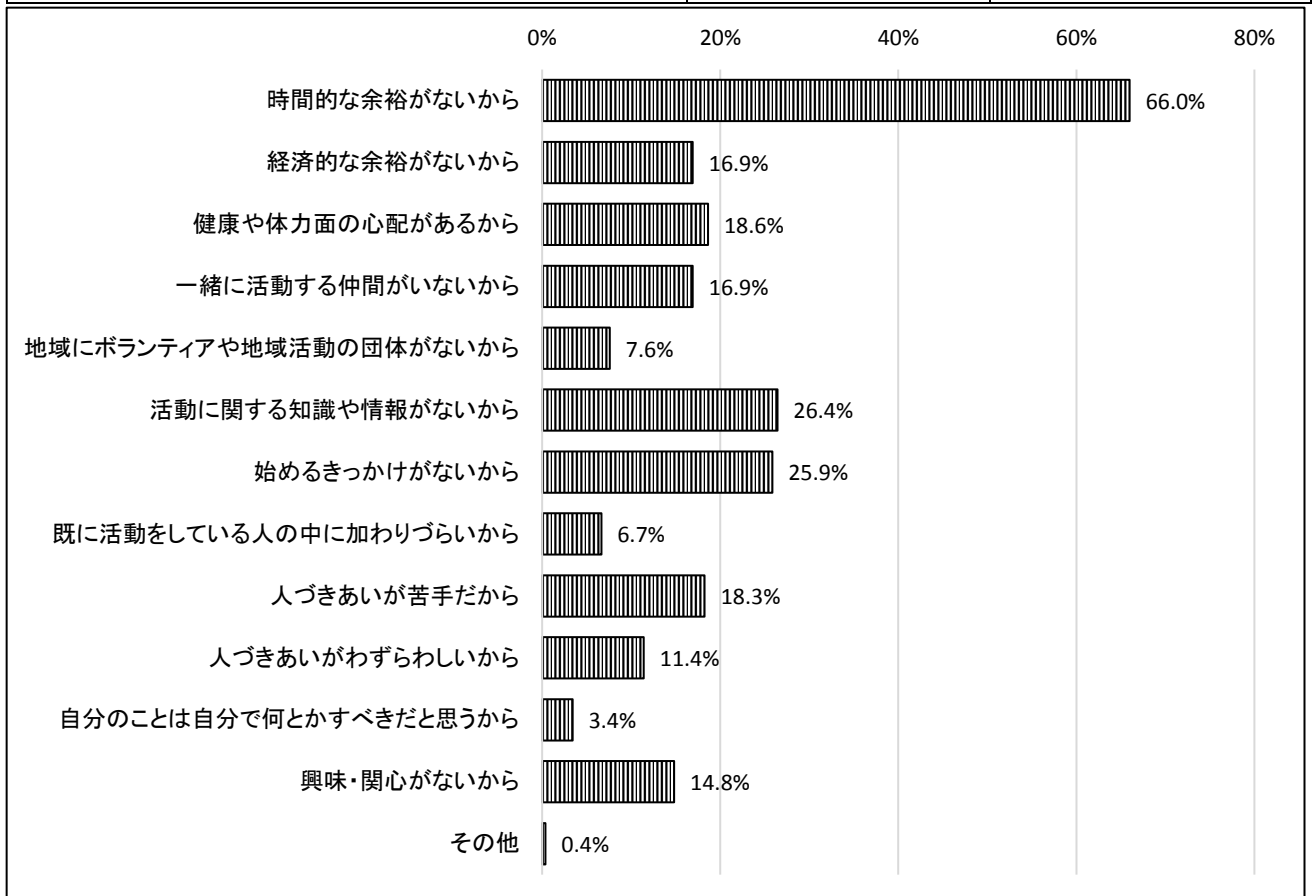


【問15で「現在参加していない」・「参加したことがない」と答えた方にお聞きします。】

【問15-3】 それほどのような理由からですか？《あてはまる番号すべてに○》

「時間的な余裕がないから」が圧倒的に多く 66.0%となっています。次いで「活動に関する知識や情報がないから」「始めるきっかけがないから」となっています。

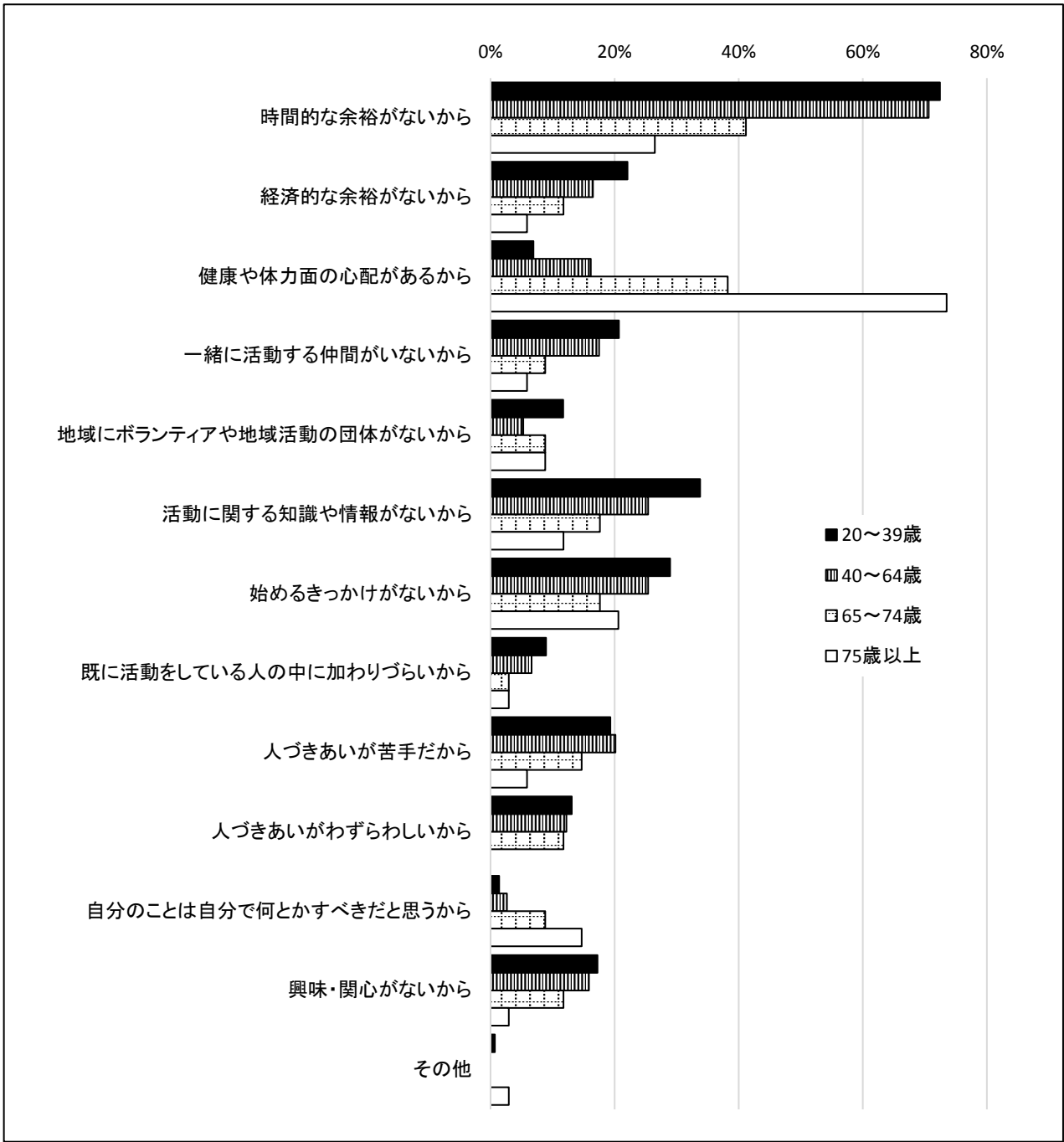
	人 数	パーセント (n=526)
時間的な余裕がないから	347	66.0%
経済的な余裕がないから	89	16.9%
健康や体力面の心配があるから	98	18.6%
一緒に活動する仲間がないから	89	16.9%
地域にボランティアや地域活動の団体がないから	40	7.6%
活動に関する知識や情報がないから	139	26.4%
始めるきっかけがないから	136	25.9%
既に活動をしている人の中に加わりづらいから	35	6.7%
人づきあいが苦手だから	96	18.3%
人づきあいがわずらわしいから	60	11.4%
自分のことは自分で何とかすべきだと思うから	18	3.4%
興味・関心がないから	78	14.8%
その他	2	0.4%



<年齢別>

20～39歳、40～64歳と65～74歳では「時間的余裕がないから」が最も多く、75歳以上では「健康や体力面の心配があるから」が最も多くなっています。

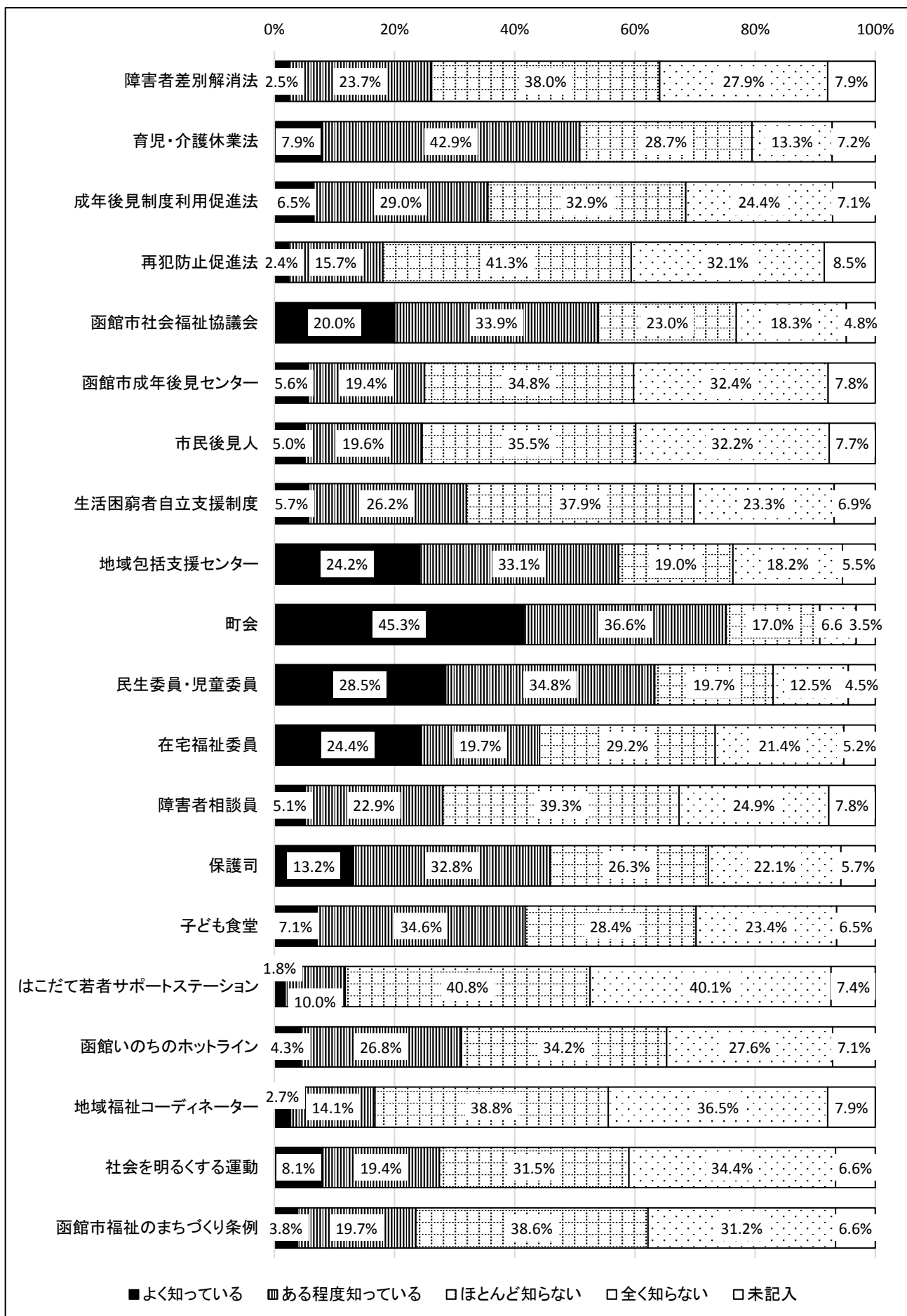
	年 齢			
	20～39歳 (n=145)	40～64歳 (n=303)	65～74歳 (n=34)	75歳以上 (n=34)
時間的な余裕がないから	105 72.4%	214 70.6%	14 41.2%	9 26.5%
経済的な余裕がないから	32 22.1%	50 16.5%	4 11.8%	2 5.9%
健康や体力面の心配があるから	10 6.9%	49 16.2%	13 38.2%	25 73.5%
一緒に活動する仲間がないから	30 20.7%	53 17.5%	3 8.8%	2 5.9%
地域にボランティアや地域活動の団体がないから	17 11.7%	16 5.3%	3 8.8%	3 8.8%
活動に関する知識や情報がないから	49 33.8%	77 25.4%	6 17.6%	4 11.8%
始めるきっかけがないから	42 29.0%	77 25.4%	6 17.6%	7 20.6%
既に活動をしている人の中に加わりづらいから	13 9.0%	20 6.6%	1 2.9%	1 2.9%
人づきあいが苦手だから	28 19.3%	61 20.1%	5 14.7%	2 5.9%
人づきあいがわずらわしいから	19 13.1%	37 12.2%	4 11.8%	0 0.0%
自分のことは自分で何とかすべきだと思うから	2 1.4%	8 2.6%	3 8.8%	5 14.7%
興味・関心がないから	25 17.2%	48 15.8%	4 11.8%	1 2.9%
その他	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%



【問16】 次の法律・制度・条例や活動内容について知っていますか？ 《あてはまる番号に○》

一番知られているのは「町会」で、「よく知っている」「ある程度知っている」合わせて81.9%になります。

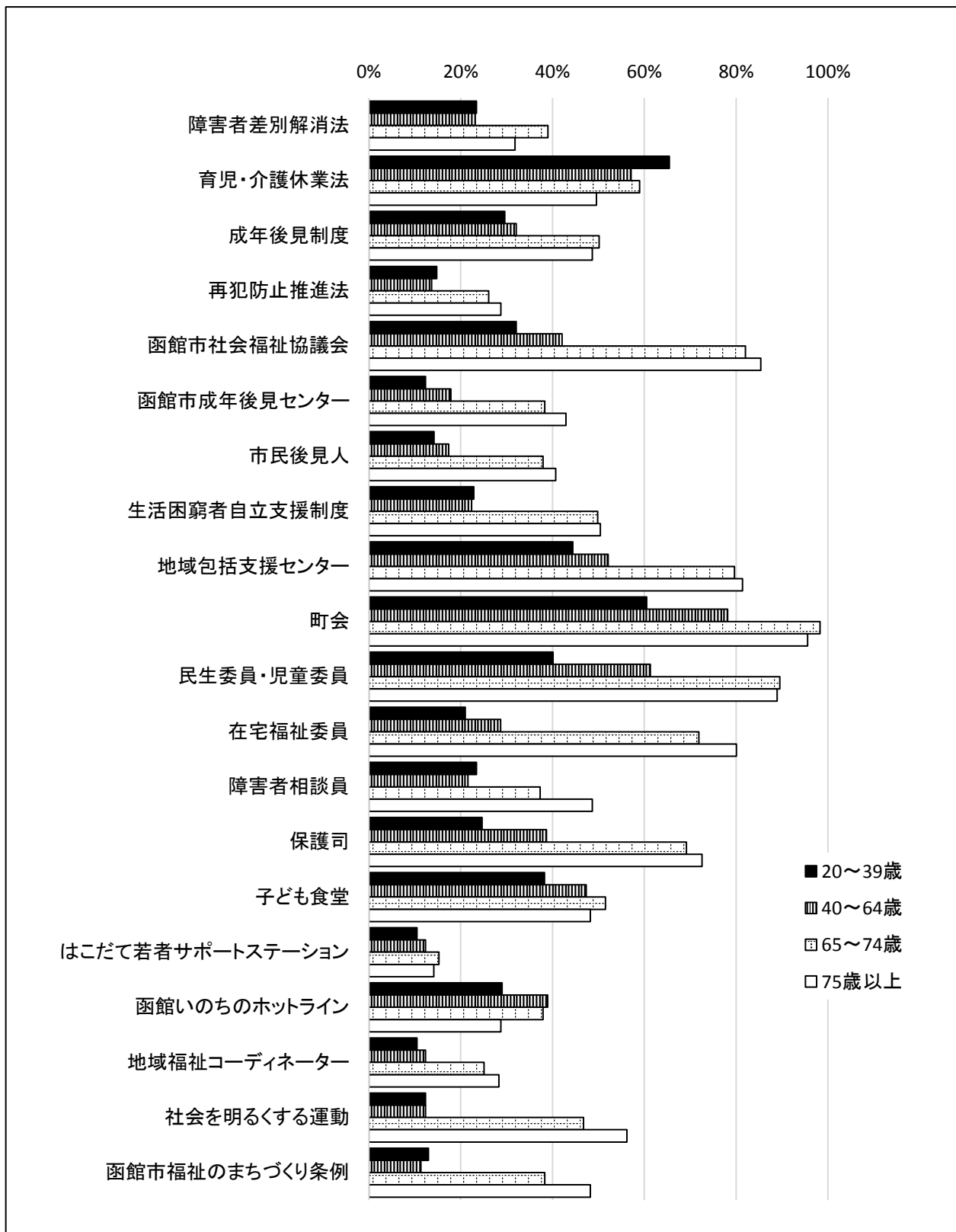
	よく知っている	ある程度知っている	ほとんど知らない	全く知らない	未記入
障害者差別解消法	30 2.5%	290 23.7%	465 38.0%	342 27.9%	97 7.9%
育児・介護休業法	97 7.9%	525 42.9%	351 28.7%	163 13.3%	88 7.2%
成年後見制度利用促進法	80 6.5%	355 29.0%	403 32.9%	299 24.4%	87 7.1%
再犯防止促進法	29 2.4%	192 15.7%	506 41.3%	393 32.1%	104 8.5%
函館市社会福祉協議会	245 20.0%	415 33.9%	281 23.0%	224 18.3%	59 4.8%
函館市成年後見センター	69 5.6%	237 19.4%	426 34.8%	396 32.4%	96 7.8%
市民後見人	61 5.0%	240 19.6%	435 35.5%	394 32.2%	94 7.7%
生活困窮者自立支援制度	70 5.7%	321 26.2%	464 37.9%	285 23.3%	84 6.9%
地域包括支援センター	296 24.2%	405 33.1%	233 19.0%	223 18.2%	67 5.5%
町会	509 45.3%	411 36.6%	191 17.0%	74 6.6%	39 3.5%
民生委員・児童委員	349 28.5%	426 34.8%	241 19.7%	153 12.5%	55 4.5%
在宅福祉委員	299 24.4%	241 19.7%	358 29.2%	262 21.4%	64 5.2%
障害者相談員	63 5.1%	280 22.9%	481 39.3%	305 24.9%	95 7.8%
保護司	161 13.2%	401 32.8%	322 26.3%	270 22.1%	70 5.7%
子ども食堂	87 7.1%	424 34.6%	348 28.4%	286 23.4%	79 6.5%
はこだて若者サポートステーション	22 1.8%	122 10.0%	499 40.8%	491 40.1%	90 7.4%
函館いのちのホットライン	53 4.3%	328 26.8%	418 34.2%	338 27.6%	87 7.1%
地域福祉コーディネーター	33 2.7%	172 14.1%	475 38.8%	447 36.5%	97 7.9%
社会を明るくする運動	99 8.1%	237 19.4%	386 31.5%	421 34.4%	81 6.6%
函館市福祉のまちづくり条例	47 3.8%	241 19.7%	473 38.6%	382 31.2%	81 6.6%



<年齢別> 回答者のうち「よく知っている」「ある程度知っている」人の割合

20～39歳では「育児・介護休業法」が最も高く、その他の年齢では「町会」が最も高くなっています。

	年 齢			
	20～39歳 (n=181)	40～64歳 (n=455)	65～74歳 (n=303)	75歳以上 (n=227)
障害者差別解消法	33 23.5%	91 23.2%	117 39.0%	73 31.9%
育児・介護休業法	98 65.4%	222 57.1%	176 59.0%	113 49.6%
成年後見制度	39 29.6%	127 32.1%	149 50.2%	111 48.7%
再犯防止推進法	19 14.8%	53 13.7%	78 26.1%	66 28.8%
函館市社会福祉協議会	41 32.1%	164 42.1%	246 82.0%	194 85.4%
函館市成年後見センター	14 12.3%	72 17.9%	115 38.3%	98 42.9%
市民後見人	17 14.2%	70 17.4%	114 38.0%	93 40.7%
生活困窮者自立支援制度	32 22.8%	88 22.4%	149 49.8%	115 50.4%
地域包括支援センター	63 44.4%	202 52.1%	238 79.7%	185 81.4%
町会	79 60.5%	306 78.2%	294 98.3%	217 95.6%
民生委員・児童委員	48 40.1%	239 61.3%	267 89.5%	202 88.9%
在宅福祉委員	24 21.0%	111 28.7%	212 71.9%	182 80.1%
障害者相談員	32 23.5%	83 21.6%	110 37.3%	111 48.7%
保護司	29 24.7%	149 38.7%	208 69.2%	165 72.6%
子ども食堂	53 38.3%	185 47.4%	155 51.5%	109 48.2%
はこだて若者サポートステーション	13 10.5%	49 12.4%	46 15.3%	32 14.2%
函館いのちのホットライン	41 29.0%	154 38.9%	114 38.0%	65 28.8%
地域福祉コーディネーター	14 10.5%	48 12.4%	76 25.1%	64 28.3%
社会を明るくする運動	13 12.3%	48 12.4%	140 46.8%	127 56.2%
函館市福祉のまちづくり条例	17 13.0%	43 11.3%	115 38.3%	109 48.2%



【問17】についてはP52～参照

2 自由記述の取りまとめ（問13-2）

要 点 問 13-2 子育てや家族の介護・介助をしている方で、外出時に困ったり不便を感じる事例（回答総数 128件）

自由記述を整理・分析したところ、「交通機関の不足・不便」「バリア」「子供連れでの外出」「子供の遊び場所」「各種サポート」の5つの項目に分類することができました。

1. 交通機関の不足・不便

- ① 交通機関の不足
- ② 交通手段の不便
- ③ 運行経路のわかりにくさ
 - ・バス等の公共交通機関の本数や路線が少ない、運行経路がわかりにくい等の理由で不便さを感じているとの意見があります。

2. バリア

- ① 歩道・階段
- ② バス等の乗降
- ③ 障がい者用駐車スペース
 - ・歩道や階段、バス等の乗降時に段差で困っている、障がい者用駐車スペースの利用マナーが悪いなどの意見があります。

3. 子供連れでの外出

- ① 授乳・おむつ交換
- ② 子供用・共用トイレ
- ③ 子供用カート
 - ・外出の際、授乳スペースやおむつ交換台、子供用カートがある場所かを考える必要があり、子供用トイレの少なさに不便を感じています。

4. 子どもの遊び場所

- ① 遊び場所（屋内施設を含む）の不足
- ② 公園駐車場
 - ・子どもの遊び場所が少ないことや、公園に駐車場がないこと、また、雨天時でも遊べる屋内プレイルームの少なさに不便を感じています。

5. その他の各種サポート等

- ① 一時的な人的・預かりサポート
- ② 送迎の負担
- ③ 外出・買い物

④ ストレス

- ・外出時や何かあったときに面倒を見てくれる人や預け先がないなどの一時的な人的サポートを望む意見があります。
- ・仕事が休みの日でも通院等の送迎しなければならないため、息抜きやゆっくりできる時間が持てず心の余裕がないなどのストレスを感じているとの意見があります。
- ・介助が必要な外出時に荷物の持ち運びが大変なことや、公共交通機関の充実を望む意見があります。

集約結果

問 13-2 子育てや家族の介護・介助をしている方で、外出時に困ったり不便を感じる事例

I. 交通機関の不足・不便

1. 交通機関の不足

- ・公共交通機関の不足。(47・女)
- ・公共交通機関が少ない。(56・男)
- ・公共交通機関が少ない。(81・女)
- ・公共交通機関が少ない。(53・女)
- ・公共交通機関が少ない。(64・女)
- ・交通機関が少なすぎる。(83・女)
- ・交通機関が少ない。(53・女)
- ・交通の便が少ない。(84・男)
- ・交通が不便。(52・男)
- ・バスの本数が少ない。(42・男)
- ・バスの本数が少ない。(57・女)
- ・五稜郭まで行かないと交通手段がない為、子供を抱えながらは大変だ。(31・女)
- ・自宅から近くのバスは1時間に1本。雪の季節を考えるとあきらかに少ない。これでは外出もままならない。(38・女)
- ・バスなど公共交通機関の少なさ1時間に1本あるかないか。(44・男)

2. 交通手段の不便

- ・バスはあるけど行ける場所が限られているので不便。(25・女)
- ・交通機関（電車・バス）の本数が少なかったり、行きたい所までの路線が少ない。(47・女)
- ・交通手段が少なく、行きたい場所へスムーズに行けない。(38・女)
- ・子供が小学生、中学生になったときバス通学にしたいが交通機関（バス）の系統が1本しかないため、冬季の期間等車ではなくバスを使用したいが時間帯が合わないため不便を感じる。(34・男)
- ・車が無いのでバス利用だが本数が少なく不便。乗り継ぎも余裕が無い。(48・女)
- ・交通機関の乗り換えが多い。(男)
- ・冬のバスは場所によっては30分以上待たされる事があり、子どもがいると遅れられると困ります。(35・女)
- ・バスが遅れるので時間通りにきてほしい。(91・女)

3. 運行経路のわかりにくさ

- ・バスの経路等がネットで見てもわかりづらい。(46・男)
- ・公共交通機関に対してほとんど知識がない。(48・女)

- ・バスの本数も少なくわかりづらい。(38・女)

II. バリア

1. 歩道・階段

- ・ベビーカーが市電の線路で引っかかるので、歩道部分だけでも直してほしい。(38・女)
- ・歩道の段差や路面のデコボコが多く歩きにくい。(男)
- ・道がジャリで足もと不安定。(50・女)
- ・段差が多い。階段に手すりが不十分。(49・女)
- ・階段や手すりがないと登れない。(57・女)
- ・飲食店に入るときスロープがないので入れない。歩道がデコボコしているので車椅子または杖の歩行があぶない。(53・女)
- ・車椅子での移動では道路の段差や少しの登り道等が多い。斜めになっているところも多い。(58・女)
- ・車椅子での段差が困った。(85・女)
- ・足が悪いため段差につまづく。(68・女)
- ・子どもが病気で車椅子だが道路のデコボコが大変。(72・女)
- ・道路の段差, デコボコ。(53・女)

2. バス等の乗降

- ・バスに乗るとき道路との段差があり困る。(30・女)
- ・市電やバスの乗り口が高いため困る。(68・女)
- ・バスの乗降が大変。(71・女)
- ・バスの乗降が大変。(57・女)

3. 障がい者用駐車スペース

- ・障がい者用駐車スペースが少ない。(スーパーなど) (43・男)
- ・障がい者用駐車場が少ない, または健常者が駐車している。(54・男)
- ・車椅子専用スペースの駐車場に普通の人が止めている。(44・男)
- ・障がい者駐車場に健常者が駐めておりなかなか駐車できない。(79・男)
- ・障がい者駐車場の一般利用が多い。(61・女)
- ・車いす用駐車スペースが中々ない。車いす用のスペースの上にコーンがおいてある。止めるなどということか。(49・男)

III. 子供連れでの外出

1. 授乳・おむつ交換

- ・授乳スペースやおむつ替えの場所を考えて出かける場所を探す。(29・女)
- ・授乳室やおむつを替える広いスペースのある店が少ない。(31・女)

- ・乳児のおむつ交換台や電気ポット（ミルク用）があれば助かる。（30・男）
- ・おむつを替えたり授乳する場所がない。（21・女）
- ・授乳室のある施設が少ない。（36・女）
- ・おむつ換えができる飲食店や施設がない。（最近はかなり改善された）（42・女）
- ・授乳室が少ない。（23・女）
- ・おむつ替えの場所はあるが、授乳できる場所が少なく感じる。（70・女）
- ・外出先に清潔なおムツ交換台か授乳場所が少ないと感じる。（28・男）
- ・オムツ替えスペースがない所がある。（34・女）

2. 子供用・共用トイレ

- ・子供用トイレがあまりない。（36・男）
- ・子連れで行きやすいトイレが少ない。（29・女）
- ・子どもと共用のトイレが少ない。（35・男）
- ・幼児を連れての専用トイレが少ないため困る。（38・男）
- ・子供用トイレ（便座）がない。（34・女）
- ・子どもをトイレに行った時に便座が大人用しかないとき。（31・女）

3. 子供用カート

- ・子どもが寝たときに子供用カートがないとき。（31・女）
- ・買い物の際カート（子供用）がないと行くのをためらう。（29・女）
- ・スーパーなどでベビーカートが少なく、わかりづらい場所にあることが多い。（28・男）

IV. 子供の遊び場所

1. 遊び場所の不足

- ・近くに徒歩で行ける公園や、子どもたちが走ったり自転車に乗ったりできる場所がない。（35・女）
- ・子供の遊び場が少ないと思う。（49・男）
- ・幼児等が安心して遊べる場所が少ない。（なるべく低価格～無料）（30・男）
- ・子どもと出かけても、遊んだり楽しめる施設が少なすぎる。（46・男）
- ・近所に狐がでて公園に行けなくなった。子どもを遊ばせる所が少ない。（32・女）
- ・子供と出かける外出先がない。（41・男）
- ・雨など外遊びができないときに子どもを連れて行く場所が限られる。もっとたくさん選択肢があると良いです。（お金がかからないところ）（45・女）
- ・雨の日など室内で遊べる場所が近所がない。（41・女）
- ・親子で遊べる屋内遊具スペースなどが少ない。（35・女）
- ・近くに室内で遊べる所が少ないので不便。（25・女）
- ・月齢の低い子が遊べる屋内パークみたいな場所がない。（21・女）
- ・1歳と小学生低学年の子どもがいるが、アリーナのキッズルームの小学生低学年も利用可能にしてほしい。親が一人で兄弟別に遊ばせられない。（38・女）

2. 公園駐車場

- ・公園に駐車場がない。(30・女)
- ・公園に駐車場がないところが多い。子どもが遊べる場所が少ない。(特に室内)(36・男)
- ・子どもが楽しめる遊び場所が少ない。公園の遊具が少ない。駐車場が少ない。(43・女)

V. その他の各種サポート等

1. 一時的な人的・預かりサポート

- ・外出時に面倒を見てくれる人が側にいない。(男)
- ・近くにファミサポさんがいない。(41・女)
- ・子どもの面倒を見てくれる人がいない。そのような事業所がない。(56・男)
- ・子育てで自分が仕事の時見てくれる人がいない。(48・女)
- ・子どもの預け先がない。(47・女)
- ・勤務中の預け場所。(40・女)
- ・下の子どもが入院した時の上の子どもの世話。病院には子どもは入れないことになっているし、夜、子どもを連れまわすのはよくない。結局一人で家で待たせることもあった。(38・女)
- ・自分が体調が悪い時。(受診)、上の子どもの行事のとき、買い物のとき、仕事が夫婦共に遅くなった時の夕食。(38・女)
- ・色々な手続きなく、少し預かってくれるところがあれば本当に助かります。(38・女)
- ・地域に子ども食堂のようなところがあればとても助かります。(38・女)
- ・急な外出の時に母を見てくれる人がいない。(74・男)
- ・高齢の両親であるため、母を買い物に連れて行くと残した父が心配。(72・男)
- ・夫婦とも高齢のため、介助や手助けしてくれる人がいて欲しいと思う。(79・女)
- ・体の不自由な父でしたので、私が熱ある時など、伝染すると困るので、介護してくれる人や組織が(施設以外)知らずに困った。(58・女)

2. 送迎の負担

- ・母親の病院等の送迎。(50・男)
- ・高齢の義母を頻繁に送り迎えするため、自分の予定が立てられずお抱え運転手のようになっている。(57・女)
- ・親の通院のための冬道の運転が精神的につらい。(60・女)
- ・仕事が休みであっても病院や買い物の送迎をしなければいけない。(35・女)

3. 外出・買い物

- ・一緒に外出すると介助が必要なため、荷物の持ち運びにも苦慮。(54・女)
- ・荷物が多い時(46・女)
- ・車椅子が備え付けられていないところがある。(24・女)
- ・公共交通機関が少ないので移動が大変。(36・女)

- ・ほとんどタクシーを利用するため料金がかさむ。(74・女)
- ・外出時、バスは使えないので、タクシー助成がほしい。(65・女)
- ・トイレ、障がい者用がない場所、障がいがあるため食事に出かけられる場所が少ない。(57・女)
- ・外出時は車椅子で利用できるトイレがあるところに行きますが、トイレの介助を一人でできなくなったので、外出したいが難しくなりました。(53・女)

4. ストレス

- ・長期の外出ができない。(68・男)
- ・自分の息抜きができない。(54・女)
- ・レストランやカフェでゆっくり食事ができない。(41・女)
- ・親の面倒と子育てで心の余裕がない。(50・男)

4 自由記述の取りまとめ（問17）

要 点

問17 地域福祉の推進に関する意見や要望（回答総数 285件）

自由記述を整理・分析したところ、「地域での交流・支援」「町会」「情報へのアクセス」「相談機関」「様々な地域の課題」の5つの項目に分類することができました。

1. 地域での交流・支援

① 「交流の場」

② 「各種地域支援」

・気軽に、もしくは定期的に世代間交流できる機会と場所を求めている、また、子どもの貧困に対応した学習支援、障がい者等へのサポート体制の整備を望んでいます。

2. 町会

① 町会加入者の減少

② 町会役員の高齢化・なり手不足による運営の問題点

③ 町会の存在意義や今後のあり方

・町会役員の高齢化や役員のなり手不足、加入者の減少等もあり町会運営上の問題が発生しているとの声があります。

・町会の存在意義を整理し、今後の町会のあり方を模索する必要があるとの意見があります。

3. 情報へのアクセス

① 簡単な情報入手

② 情報の周知

・知りたい情報になかなか辿り着けないため、情報の周知方法への工夫が求められています。

4. 相談機関

① 民生委員・在宅福祉委員についての情報不足

② 地域と民生委員の信頼関係の向上

③ 相談窓口の充実

・民生委員や在宅福祉委員の活動情報の積極的な公開、民生委員の信頼関係の向上や気軽に利用できる相談所の存在が望まれています。

5. 様々な地域の課題

① 治安・防災・衛生

② 公共交通

③ 除雪

・街灯の少なさ、空き家の多さからの治安・防災・衛生に対する懸念、バス等の公共交通機関について不便さ、除雪に対する不満の意見があります。

I. 地域での交流・支援

1. 交流の場

- ・地域での交流の場を増やしてほしい。(50・男)
- ・小中学校を利用した、お年寄りの活動や児童との交流。場所。(お年寄り、定年退職者が定期的に活動できる)(53・女)
- ・デイサービスを利用できる以前の人に気軽に交流の場があると良いと思っています。(85・女)
- ・子供やお年寄りが共に集まり共に活動出来る場をもってほしい。(33・女)
- ・「誰でもどうぞ」というスタンスで子ども食堂や子育てサロン、高齢者サロンなどがあり、最初の一步を踏み出しやすいと地域の人も集まりやすいと思う。集まる場所があると世代間交流や地域の課題が自然と出てくる、見えてくることもあると思います。また、その課題を町会や行政に伝えてくれる役割の人もいるといいなと思います。(39・女)
- ・子どもから大人まで一緒に集まりスポーツ、読書、習い事ができれば。(69・男)
- ・屋内で無料で遊べる施設がほしいです。どんな季節でも子連れで行ける場所がほしい。(29・女)
- ・高齢者が気軽に出入りする所があると良い。たまには高齢者同士で楽しい時間ができるような地域になってほしい。(67・女)
- ・高齢者が気軽に集まって、日中の時間を過ごせる場所を増やしてみてもと考えます。外出する「目的」を作ってあげると活動量の増大につながるのでは。(28・男)

2. 各種地域支援

- ・経済的に余裕がない家庭の子供達は塾に行けなかったりするので、ボランティア等で勉強を教えてくれる人、場所が函館には少ないので増やして欲しいです。(46・女)
- ・高齢者や子ども、子育て世代へのサポートに関する情報等はよく見聞きしますが、障がいを持つ方や引きこもりになっている成人以降の人へのサポート体制など少なく感じます。目に見えている問題ばかりではなく、なかなか表に出てこられない人々へスポットをあてたサポート体制を充実して頂けることを心からお願いしたいと思います。(35・女)

II. 町会

1. 町会加入者の減少

- ・町会加入が少なくなっています。(66・女)
- ・町会に入らない人が多くなっている。(74・男)
- ・町会からの脱会者が増えている。(59・男)

2. 町会役員の高齢化・なり手不足による運営の問題点

- ・どこの町会も同じでしょうが後期高齢者が多く私も役員何十年も携わっています。(75・女)
- ・働いている世代は班長すら担当するのが仕事との兼ね合いで困難なことが多く町会を実際に運営している人たちはかなり高齢化しているようです。(52・男)
- ・町会役員，分区長，班長はじめ，民生委員，在宅福祉委員になり手が少ない。(86・男)
- ・自治会長をしておりますが，他の役員は全て後期高齢者ばかりで後継役員が見つからず，今後の自治会活動が先細り (63・男)
- ・町会活動で公園の除草を行っているが，年々高齢者が多くなり大変な作業になっている。(73・女)
- ・町内会は子ども対象の行事がないので，もっと増やしてほしい。その為にも若い人の意見を取り入れて欲しい。(36・女)
- ・町内会費もお支払いしていますが，子育て世代に還元がほとんどされていません。回覧を見ても，お年寄り向けのイベントばかりで，子どもが参加できるものは，ほぼありません。富岡町はお年寄りも多いですが，昭和小，亀田小があり，子どももたくさんいます。夏祭りをするだとか，お年寄りだけのお楽しみの場を増やすのではなく，たくさんの世代間交流ができる町を強く望んでいます。(子育て世代の親同士でも上記のことをよく話しています) (38・女)
- ・函館市各町会にも市職員が多数住んでいると思います。町会の行事やボランティア活動にほとんど参加者がいません。(80・男)
- ・町会に入りたいと思うが時間的に余裕がなく，また訪問してくれているかも知れないが共働きのためお会いしたことがない。町会費だけでも良いのであれば払いたいと思うがその機会もない。とても残念です。(40・女)
- ・町内会に入ろうと思っていたが，連絡も通知もなくよく分からない。(33・女)
- ・人口減少のため，町会活動に支障がでている。役員のみなり手もないため1人で二役，三役もやっていてボランティアの域を超えている。行政で立案したものも町会に流すだけでなく住民を動かすまで考えてやってほしい。(75・男)
- ・町会費を払うのを市民の義務化にしてほしい。そして各家庭で振り込みにして班長の集金はやめてほしい。10戸中2戸しか班長を引き受けないため，1年おきに班長をしなくてはならずとてもストレスを感じます。ボランティアの気持ちをもありやっているが，今時ナンセンス。(54・女)
- ・町会の役員が長くなりすぎて運営に支障がある。(79・男)
- ・町会運営に協力してくれる若い人がいない。ボランティア活動も高齢者が多いので大変です。(76・女)
- ・町会役員のみなり手不足や会員の減少で今のままでは成り立たない。市の金銭的な助成だけでは維持できない。(81・男)
- ・少子高齢化が進み，町会の維持も大変で手立てがないのが現状である。(62・男)
- ・町会加入者に若い世代がないため，活動が困難になっている。(72・男)
- ・高齢者が多くなり若者が町会への関心が全くないのが心配である。(76・男)
- ・地域住民が高齢化して各地域(町会)単位の事業が難しくなっている。(79・女)

3. 町会の存在意義や今後のあり方

- ・町会を新しい体制のコミュニティに再開発してほしい。このままでは老人のためだけの運営になり益々弱小化する。(54・女)
- ・町会を新しいかたちにしてほしい。(54・女)
- ・高齢化が進む一方役員の担い手が不足して活動が限定的になり活発な行動に繋がっていないのでこの辺を改革する必要があります。(72・男)
- ・町会も役員等が高齢化や後継者がいなく少数の人に負担がかかっている。町会のあり方を根本的に考える時期に来ているのでは。(71・女)
- ・今後の存在意義について「大きな？」が有り大変不安に思っています。(63・男)
- ・町会の仕事が面倒くさいという理由で隣近所は誰も加入していない。町会に入っている意義がわからなくなる。(47・女)
- ・地域で高齢者が増えている状況で町会活動など無理にやらなくても良いと思う。お祭りや回覧板など大変になってきている。(45・女)

Ⅲ. 情報へのアクセス

1. 簡単な情報入手

- ・色々な情報をもっと身近でわかりやすければいいと思う。(53・女)
- ・法律や制度など詳しい冊子等があれば良い。どこに相談して良いのか分からない人もいると思うのでなるべく詳しい冊子がほしい。(42・女)
- ・福祉に関する条例やサービスなど詳しく知る機会がほしい。(42・女)
- ・親と同居なので介護について知りたいです。(57・男)
- ・親の介護が必要な時にどこに相談し、市からどのような援助が受けられるかもっと分かりやすく SNS 等を活用し広めて欲しい。(36・女)
- ・ボランティアなど興味はあるのですが、どうやって参加したらいいのかとやり方がわからない。(69・女)
- ・ボランティアに参加するにしても内容がわからず受付の場所も不明。(77・男)
- ・活動している内容や連絡先など分かりやすくして欲しい。(76・女)
- ・災害時、自分が住む地域のどう行動するかという具体的なマニュアルはあるのかわからない。災害時各地域においてどのような行動を取るべきか具体的なものを提示すると思う。(避難場所、経路等、それらを回覧板で定期的に知らせる等)(41・女)
- ・困った時など、全く市の組織がわからないです。(58・女)

2. 情報の周知

- ・(問 16) 自分自身全く知らない事ばかりです。自分でも無関心で申し訳ない気持ちですが。行政の方面からも、ぜひアピール等していただきたく思います。(53・女)
- ・前問で「殆ど知らない」項目が9つ。「全く知らない」が2つありました。自分の不勉強がその要因ですが、市政はこだてや道新販売所便りなど、いろいろな場面での PR も必要ではないかと感じました。(80・男)
- ・知らないことが多いので色々な周知をもっと押し進めるのも良いのかも知れませんが。例えば地元のコミュニティラジオ FM いるかを使うなど事あるごとに市の考えを多くの市民にしつこいくらい繰り返し伝え、訴えていくのも良いと考えます。(50・男)

・もっと市が一般市民に広く福祉等の事を知らせる努力が必要。相談窓口等がどこにあるのか分かりやすいものがもっとあって良いと思う。相手を待つのではなく市からも出掛けはどうか (74・女)

IV. 相談機関

1. 民生委員・在宅福祉委員についての情報不足

・地域福祉については、民生委員や在宅福祉委員の活動について、活動内容やまた活動しているかもわからない。こういうことであれば相談することは出来ないと思う。(58・男)

・民生委員の選出方法が不透明であるため、もう少し検討した方がいい。(79・女)

2. 地域と民生委員の信頼関係の向上

・前の民生委員は人のうわさばかりしており、とてもではないが相談する気にはならず。(47・男)

・各相談員（特に民生委員）の自覚の欠如で相談者の内容書類を他言することが多く相談できない。相談は専門職を利用する、もしくは相談せず泣き寝入りする。(45・男)

・最近特に民生委員の行動が気にかかります。一部の町会かも知れませんが地域の方から嫌がられる委員であってはならないと思います。(77・女)

3. 相談窓口の充実

・町内に気軽に利用できるサロンのような相談所が欲しい。(56・女)

・365日問合せ出来るようにしては。日中仕事の人には今の体制では問合せ出来ない。(47・男)

・もっと目に見える住民が相談しやすい開かれた窓口を作ってください。(51)

・高齢者の方の相談窓口があることも大切だと思いますが、障がいのある方の相談窓口や入所施設なども充実させていただきたいと思います。(24・女)

・コーディネーターについては、デイサービスを行っている所に置いた方が相談しやすいところもあるのではないかと。(58・男)

・近所に嫌がらせをする人がいるので、そのような相談窓口があったら良いと思う。(47・女)

・近所の交流よりも近所の苦情に対する取り組みも必要ではないかと。(40・女)

V. 様々な地域の課題

1. 治安・防災・衛生

・最近是不審者が多く子どもの通学が不安。街灯の色を青色にして犯罪率を下げる等の対策が必要。(35・男)

・自分の町は街灯が少なく防犯上からももう少し明るい町になればいいなと感じています。(45・男)

・自分の地域は子どもや高齢者が多く、夜間は人気なくなる。夜中に仕事から帰るとき不安だ。また街灯が少なく路地裏は真っ暗になっていて心細い。地域の見守りを強化して

ほしい。(28・女)

- ・子どもの通学路に歩道やカーブミラーがないため心配です。(50・男)
- ・町会費の内訳に街灯費とあるが、これは函館市で出して欲しい。防犯上必ず使わないと
ならないものなのに町会が半分出しているのは不自然のように思われる。(54・女)
- ・空き家が多く子供さんがどこにいるかもわからずすごく不用心です。(75・女)
- ・木造の空き家が多い印象です。防災上危険であり、また野良猫が住みついたりと不
衛生を感じています。(59・男)

2. 公共交通

- ・バスの本数が少ない。(特に夕方～終バスまでの時間帯) (20・女)
- ・日吉町在住ですが、美原・赤川方面で色々な催事なりが多数あるようですが、参加する
にしてもバス停の便が不便。五稜郭や市中心部のバスが余計に多い。(77・男)
- ・公共交通機関の増便。(時間によってバスがない) (44・女)
- ・公共交通機関をもっと充実させて欲しい。高齢者の事故が増えているが、車を手放せな
い気持ちもわかる。(41・女)
- ・病院や買い物にバスが無く不便。現在は自家用車だが障がい者がいるので今後の不安。
(74・女)

3. 除雪

- ・高齢者が多くなっているので小さな市道の除雪・排雪をもっとやってほしい。(40・女)
- ・冬の雪かきは苦勞です。自分が健康の中は良いのですが、体が弱くなった時(雪かき)
心配です。(80・女)
- ・雪かきも市の車がほとんど入らない。左右1本向こうの道は頻繁にはいるのに。(58・男)
- ・私は障がい3級で要支援です。昨年9月より特定目的住宅に移りとても良い環境で安心
しておりましたが、冬の雪かき除雪には大変苦勞しました。高齢住宅特定目的に入居して
いるのは身体の具合、歩行困難者が多いのです。市の方で除雪をして頂けないでしょうか。
(63・女)
- ・除雪をもう少しちゃんとしてほしい (30・女)
- ・除雪の件ではボランティアの派遣等を考えてみても良いのでは。(30・女)
- ・除雪体制の見直しをしてほしい。(64・女)
- ・冬場の雪投げにも苦勞しています。一度で良いから除雪車が入って欲しいです。(80・女)

5 その他の自由記述（問17）

No.	問17 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】	年齢	性別
1	今は何も有りません。満足してます。	78	女性
2	いろいろな主婦の方々と連携して地域包括ケアの構築を推進してゆきたい。	67	男性
3	少子高齢化が進行し、末期症状レベル。新しい考え、行動もほとんどなく、生活困窮者が増え続けて行くだろう。市の施策レベルで大胆な移住政策（市内での住みかえなど）等で市民一人ひとりが、より良いところに住み、よりよい生活ができる環境を創意工夫してつくって行かなければ明るい未来（像）は全く見えない。しかし、暗闇の中でこそ月や星の輝きがわかるように、ピンチはチャンス、ブラックホールもあれば、ホワイトホールの政策も見いだせる可能性はゼロではないのでは？	45	男性
4	近い将来、みんなが安心して暮らせる福祉制度を希望する。	49	男性
5	資金面である程度のサポートがあればと思ったりもしています。	25	女性
6	堀川町では、年間通して様々なイベントや祭り、子育て世代に向けて取り組んでくれており大変満足しています。今後も同じく活動して欲しいと思います。	25	女性
7	何事も個人の意識がきちんとならなければ広まらないし定着しない。	52	女性
8	若い世代（中学生など）に地域福祉の大切さを授業などで教えて若い人にも興味を持ってもらった方が良いのでは。	47	男性
9	地域の中でも収入や時間に余裕がないと福祉の仕事・ボランティアはできないと思います。子育て・介護・仕事をしながらそれぞれが活躍できるよう頭数を増やしてお互いが助け合う町にばれればと思います。	49	女性
10	この意識調査を十分に生かして地域福祉の向上を目指してください。よろしくお願いします。	43	男性
11	このアンケートで何をするのか？また今まで何を展開してきたのか？アンケート調査にかかる予算を別な用途に使用しては。	59	男性
12	タクシーの運転手をしています。道路の穴、デコボコがひどいので何とかならないものかと思います。町会に言うと対処してくれますがパンクしたり穴にはまったりしないと誰も連絡しません。定期的に町会がチェックできないものではないでしょうか？	58	男性

13	若い人が高齢者や不自由な方をいつでも助けられるような環境づくり、ボランティア活動などを行って欲しいと思います。(コミュニケーションや簡単な遊びなど)	未記入	男性
14	現在、NPO 法人にお世話になっていますが、介護度が進むとお年寄りと同じデイサービスへ移るようになります。諦めてはいますが、同年代の集まっているデイサービスでもあればと思います。	57	女性
15	現在、高齢者人口はどんどん増え続けてます。そして利用施設も多種出来て有り難い限りですが、誰にでも利用しやすい金額の老人施設を増やしてほしいものです。「老人うば捨て山」にならないように！	70	女性
16	子育て環境のさらなる推進を期待しています。	33	女性
17	法律で決まった事ではありますが、介護保険制度そのものに大きな疑問をもっております。	83	女性
18	一人で暮らしていても何事も心配なく生活できる世の中であってほしい。	76	男性
19	新聞で自殺の報道を目にすると心が痛みます。ここ何年かは減少傾向が続いているようですが、まだまだ多くの方が亡くなっているのが現実です。電話相談でも人手不足で対応できない状況があるなど防止するのが難しいという記事を読んだことがあります。辛抱強く活動を続けられ歯止めとされることを願っています。	68	男性
20	孤独死が一向に絶えない。	31	女性
21	市の財政が厳しい状況だということは良く耳にします。函館市の生活保護の対象者が多いのも良く聞きます。なんとか不正や無駄を省いてほしいです。	46	男性
22	将来、自分の経験をいかし住民の為、差別のない社会のためにつくしたい。	76	男性
23	函館での人口減少の中、地域社会での交わり方が希薄になっている中で、高齢者の増加で若者の減少と逆三角ピラミッドの型に対して行政と住民の在り方(又何をやるか出来るか)を徹底して議論をしてもらいたい。	59	男性
24	個人情報保護法が近所の住民に対する支援活動の妨げになっていると思われる。	69	男性
25	取り組みとして非常に良いと思いますが、高齢者が増えていく中で函館市内の町の中で考えると格差が生まれてくるのかなと思います。人口が減り、若者が北斗市等北よりに推移していく中で先に若者も住みやすい町づくり市づくりをしてみてもは？	34	男性

26	高齢化社会において行政の果たす役割は大きいと思う。身近に助けを求めやすい環境作りの為には、地域の横のつながりと縦のつながりが重要である。横のつながりをスムーズにすることによって住みやすい地域社会になるのではないか。一人一人が自分にできることで社会に貢献していければ良いと思う。	66	女性
27	函館市民の為によろしく願います。より良い福祉社会となるよう活動してください。	55	女性
28	函館の大学を卒業し、就職活動を行いました。ほとんどの企業の初任給が14～17万程度。現在は英語教師として留学のキャリアを生かし教育活動を行っておりますが、特に函館の教育熱は低いと感じています。良い仕事が見つからず若い世代が他の地域に引っ越してしまう現状があると思います。また音楽活動においても函館市は他の地域に比べあまり温かい目で見てもらえません。青森のように「祭」を大切にしている地域は生き生きとしていますが、函館市の祭りやパレードは衰退気味と感じます。重労働の介護士の給料も低く地域社会に必要な福祉が整っていないと感じています。	29	女性
29	地域が地域としての形を消滅しつつある。あと数年もしたら超高齢者しか住んでいない町になる。町の再生を考慮したまちづくりをしなかった結果である。いずれ函館は函館として成り立たなくなると感じている。	68	男性
30	義務と権利両方を植えると良い。生活保護を受けたら労働を義務化する。一人一人できる労働を見極める必要があります。税金からでる費用であれば義務と権利は同等で与えられるべき。地域の高齢者のお世話をするという仕事を分担できれば互いに豊か。	54	女性
31	最も不幸な地域とは人との関わりがない地域だと思います。お節介でもイベントや行事などに連れて行く（連れ出す）ことが必要と思いますが、その行事が少なかったり、周知されていないのが問題です。町内会まかせも良くないですし、市まかせも良くない、個人まかせも良くない。そこの仕掛けを作る仕組みが今大切ではないでしょうか。	40	男性
32	自分は第26方面民生・児童委員を7年ぐらい委託されているので大体福祉のことは勉強させてもらっています。	64	男性
33	函館市の超高齢化社会どう手を打っていくのでしょうか？安心して年を重ねることができる街は夢物語か。近い将来が不安だらけな人々は多いのではないのでしょうか？さてどうしますか	54	女性

34	<p>自宅新築のため、今の町に住み始めました。子どもも中学生での転校でありましたし、自分もフルタイムでの仕事を始めたため、周りとの付き合いがほとんどありません。しかし、これからは夫婦2人暮らしですので地域福祉に関心を向けなければ考えております。自分自身に関係しないと関心を持たないということに反省しています</p>	59	女性
35	<p>世代を超えて助け合える社会になったら良いと思う。</p>	68	女性
36	<p>身近なところから自分ができる事から協力していこうと思っています。</p>	59	女性
37	<p>この地域に住んで69年に、生まれた時から住んでいます。函館山の麓、西部地区は本当に素晴らしい地域です。高齢者が増えましたが皆心温かい人が多いです。また生まれ変わるならこの地域が良い。自分の地域を愛せることが幸福です。ギブアンドテイクではなく自分は人のために何をやっていけるかそういう人間でありたいと思います。</p>	69	男性
38	<p>時間があれば地域の活動に今後参加してみたいと思います。</p>	49	女性
39	<p>若い人は仕事で留守、高齢者はあまり出歩かない。プライバシーの問題もあるので中々近所の様子が変わりにくくお世話をしたくても各家庭の内情がわからない、はがゆい所です。</p>	76	女性
40	<p>少子高齢化が進む若松町は市の中心であり観光事業は具現化しやすいが地域に住む住民は活動を担う人が不在で支えづらい。行政にも限界があると思うが、市民全体で支える仕組みがあると良いと思う。</p>	58	男性
41	<p>高齢者の方はぎりぎりまで自力で生活すると良く耳にする。介護が必要になる前に何かしらの手当が必要ではないか。高齢者の健康寿命を大事にして欲しいと思う。</p>	45	女性
42	<p>行政や公的な施策では対応できない事が増えている。解決についての地域の役割が重要な場面が増えている。</p>	71	男性
43	<p>ボランティアをしているが対象者ばかりでなく自分自身も元気をもらっています。</p>	76	男性
44	<p>地域の人がお互いに尊重し若い世代にも興味を持ってもらえたら嬉しいと思う。</p>	61	女性
45	<p>自分は最近発達障がいだとわかったがそれでも大丈夫だと思えるような地域になってほしい。</p>	59	女性
46	<p>幸福度の高い海外の制度を見習い行政、住民、企業の連携を図る。</p>	67	男性

47	高齢者は地域福祉の必要性を理解しているが知識がほとんど無いので将来地域福祉に理解のある人がいなくなり地域福祉が成り立たない。学校教育の一環として福祉の必要性や知識を付与すべき。	65	男性
48	屋内で無料で遊べる施設がほしいです。どんな季節でも子連れで行ける場所がほしい。	29	女性
49	地域の課題は、民生委員、在宅福祉委員、町会などから包括支援センターに相談され行政でも集約しているはず。	30	男性
50	ボランティアポイント事業に参加しているが、施設の職員や入所者と触れあうとこちらも癒やされているので良い制度だと思う。	75	女性
51	観光だけでは先が見えているので若い世代が定住できるようなまちづくりが必要。	54	男性
52	地域での助け合いやボランティアなどは大事だと思うが、今は地域でも自分の事で精一杯の人が増えている。みんなが広い気持ちで協力していけば暮らしやすくなると思う。	46	女性
53	直接意見交換した方が具体的な結論が出ると思う。	78	女性
54	近所同士で安否確認、イベントへの積極的な参加、介護に関する意識啓発などが増えると良いと思う。	71	男性
55	自分は地域にお世話になっているという意識、地域の中で自分の出来る事を見つけて積極的に取り組むこと。	82	男性
56	実際に関わらないと分からない事が多いと思う。	57	女性
57	地域福祉の推進には公的機関の活動にも限界がある。身近な問題等については、町会活動が有効と思うが高齢化の問題で活動の幅が狭まっている。地域ではまだ担い手になりたいと考える人は多いはずでお手伝いするなどの形で工夫するなど考えるべきと思う。	76	男性
58	介護する側とされる側のコミュニケーションの場をもっと広げて欲しい。	39	女性
59	地域福祉に関わる人の中でも適切な対応が難しい。人によっては良いことでも別な人には迷惑な場合がある。	50	女性
60	今は65歳以上が高齢者と呼んでいるが、体力的にも今後は70歳以上からでもいいのでは。	83	女性
61	地域福祉について今まで考えたことも聞いた事も無い。ただ最近では高齢者の単身世帯が増えているように思う。自分も夜中に具合が悪くなったときに不安になる。	52	女性
62	子育ての環境が悪く子どもを持つ家庭が減っていて子どもがいないのが当たり前になってしまっている。地域皆で育てるような広い心でいてほしい。	34	男性

63	働く世代にもっとやさしい社会にしてほしい。自分達の生活が安定しないと地域福祉など考えられない。	47	女性
64	自分が健康であることで地域活動に参加できる。仲間や他の団体と協力して安心安全な生活を送りたい。	80	女性
65	福祉活動は多大な労力と時間が必要です。また高齢者ばかりが参加している現状を何とかしないといけない。市の職員が毎年200～300人位ボランティア活動に参加するなど積極的な姿勢を見せてほしい。	75	男性
66	子どもや高齢者に優しくないのが未来がない。近隣市町の方が暮らしやすいのでは。観光ばかりでなく市民を大切にしてほしい。	30	女性
67	転勤の多い職場なので地域福祉に関わることがない。	48	男性
68	福祉活動はどこまで生活の中に立ち入れれば良いか難しい。個人では出来ないことも多いですが頑張ります。	73	男性
69	若い人が生活できる仕事があれば良い。個人情報保護が交流についての大きなネックとなっている。個人の情報がわからなければ何も手が打てなくなる。	70	男性
70	子どもが外で安心して遊ぶ場がない。大人もあまり外に出ない。	70	女性
71	色々な立場の人がいるが、福祉を受けるばかりでなく自分の出来ることを少しでも役立てるよう1人ひとりが心がけていくような社会になってほしい。	66	女性
72	市全体で買い物や社会福祉施設が一部の地域に偏っているので施設等の分散を希望します。自分の地域ではコンビニまで歩いて10分かかる。これでは高齢者等の外出が制限されてしまう。	66	男性
73	地域福祉について興味がなかったが、今回のアンケートを機会に興味を持った。	21	男性
74	計画は諮問のためだが、市民に丸投げではなく行政が積極的に関わっていくべきでは。その姿勢が見えない。	66	女性
75	昔は祝日時に町会に日の丸の旗を掲揚していて住民が何となく日本を愛する気持ちになって助け合っていたので、それをまた始めてはどうか。	74	男性
76	地域だけでは思うように行かないこともあるので、もう少し行政の助けが細やかになれば市民も手伝いしやすいように思う。若い人が少ない町会では特に感じる。	72	女性
77	地域福祉の範囲は広いので計画ばかりの作成ではなく実践できるしくみが大事だと思う。(次ページへ)	未記入	男性

	(前ページより) 福祉は誰でも関わっているものだが認識がなく、特別と思っている人が大部分であるため、そのギャップを埋める努力を市民も行政もするべき。		
78	少子高齢化により高齢者を高齢者が見守る地域が増えている。地域や民間に手伝ってもらっては幻想でしかないと思う。ある程度の報酬、予算を確保しなければ物事は進まない。	71	男性
79	思っても誰でも実践できるものではないので、まずは自分の健康。行政が町会と協力できる体制をつくること。福祉は助け合いの精神がなければ成り立たない。	77	男性
80	高齢化で地域力はあてにならない。健康寿命を延ばし自立力を考える政策を。	86	男性
81	保育園を増やしてほしい。北斗市のように子どもの医療助成を無料にしてほしい。	28	女性
82	地域包括支援センターが身近にあるので助かっている。	80	女性
83	高齢者や生活保護の医療費見直しなどを行って若い人の負担を考えないとますます若い人が函館からいなくなってしまう。身体が元気な生活保護の人にはボランティアをさせてみては。	54	女性
84	見守りの観点から高齢者のスキルを活かしてシルバー人材センター的な社会参加を促進して孤立化を防げないか。他者とのつながりを作って元気な高齢者を増やすと良い。地域と人に関わることでいじめなどの防止にもなり得るかも。高齢者に現代社会を再認識してもらう機会。	65	女性
85	自分の地域は多くが漁協などの団体、何らかの委員をしていないと活動の幅が少なく感じる。興味があっても参加できるものが限られたものだけになってしまう。後援会等の勉強の場も少ない。住民が福祉に関わるには同じ人が委員を兼ねるのでは無く広く探して欲しい。	68	女性
86	出来ることは手伝いたいですが、個人情報に邪魔になり思うように手助けできない。また情報もあまり入ってこないのでも今はまだできるが、これからさらに高齢になると出来なくなると思うと寂しい。	85	男性
87	近所では心配事があると地域包括支援センターに相談する。すぐ対応してくれて安心して生活ができています。	75	女性
88	市の職員は地域福祉の活動に参加していますか？市民の意見を集めるのも大切だがまずは自分達一人一人がどのように取り組めるか考え、行動してはどうか。企業にも活動参加の義務、ボランティア休暇創設の義務など社会全体が動けるような個人の力ではどうしようもないところを動かしてほしい。	47	女性

89	ボランティアをあてにしてはいけない。ボランティアに頼る制度は絶対うまくいかない。	50	男性
90	地域福祉の推進は行政だけでは十分に対応できない事は理解できるが地域の力を引き出す努力が足りないと思う。地域に眠っているパワーの掘り起こしが重要で学生や若い人、高齢者、企業などから少しずつパワーを引き出して大きな力にするためのリーダーシップを担っていただきたい。	73	男性
91	市民が共に支え合い、誰もが住みやすい地域社会をつくるためには函館市の職員は全員市内に居住するべきではないでしょうか。	46	女性
92	自分が他人にしてもらおうのがあたりまえ、自分からしてやるという思いがない。	74	男性
93	高齢者一人暮らしの生活にもっと力を入れてほしい。私は団地生活ですので、身寄りのない方が倒れた場合は病院やなんやら付き添ってあげなければならぬので、高齢者入室をなんとかしてほしい。お金のある方は施設に入ることができるでしょうが、ない方のことをもう少し考えて欲しい。	75	男性
94	1人暮らしの高齢者が増加しているため、周囲の人がいち早く気づいてあげることが必要だと感じる。そのために自分ができることは普段から近所の人と少しでも会話をし、異常に気付いてあげられるようにしたい。	35	女性
95	こうした活動に若い人が参加がない。支援活動は老人ばかり、真の活動は難しい。	84	男性
96	在宅福祉を進めていく上で、今後一層の高齢単老世帯が加速していく中で、見守り等、会活、運動、災害時の避難及び防犯、婦女子、子ども等の見守り等、安心安全を目的がより増大する中、AI等の機能を取り組み、グローバルな保護対策は急務である。AIアプリによる見守り、対策を推進してはどうか。	未記入	未記入

IV 地域福祉に関する意識調査結果【学生分】

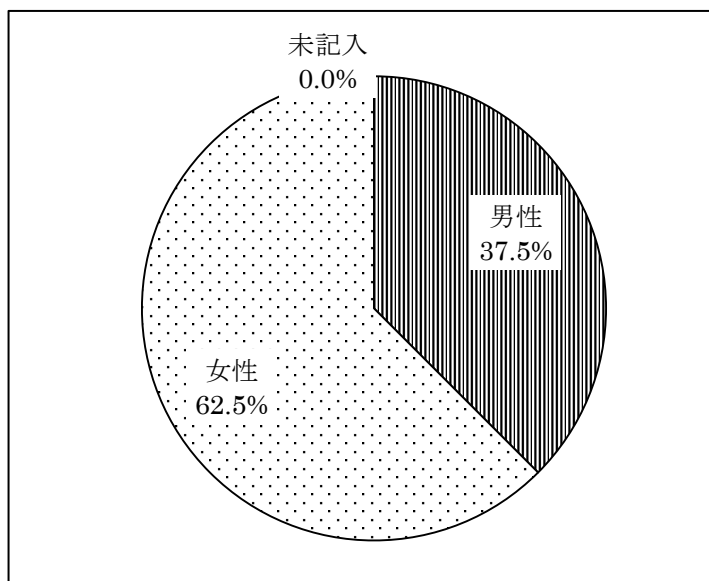
1 回答集計

■あなたの年齢、世帯構成など、基本的なことをお尋ねします。

【問1】 あなたの性別・年齢についてお答えください。《一つだけ〇》

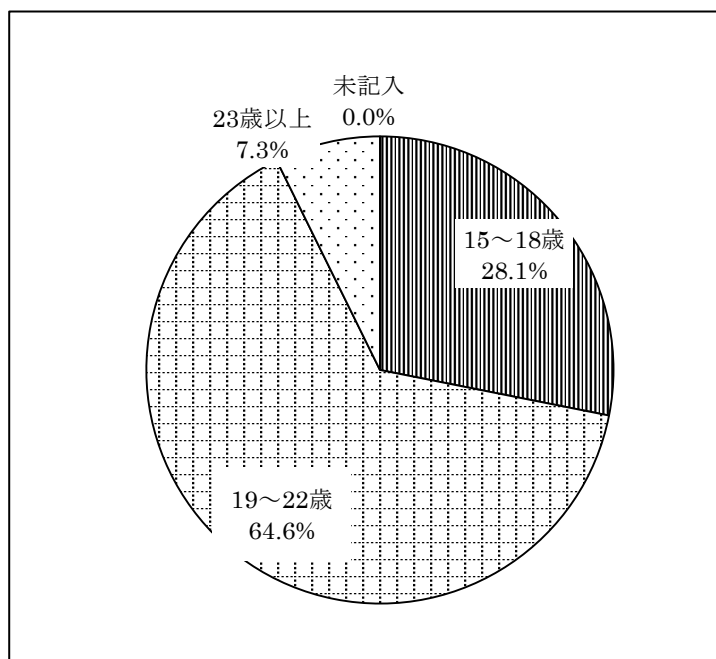
(1) 性別

	人数	パーセント
男性	36	37.5%
女性	60	62.5%
未記入	0	0.0%
合計	96	100.0%



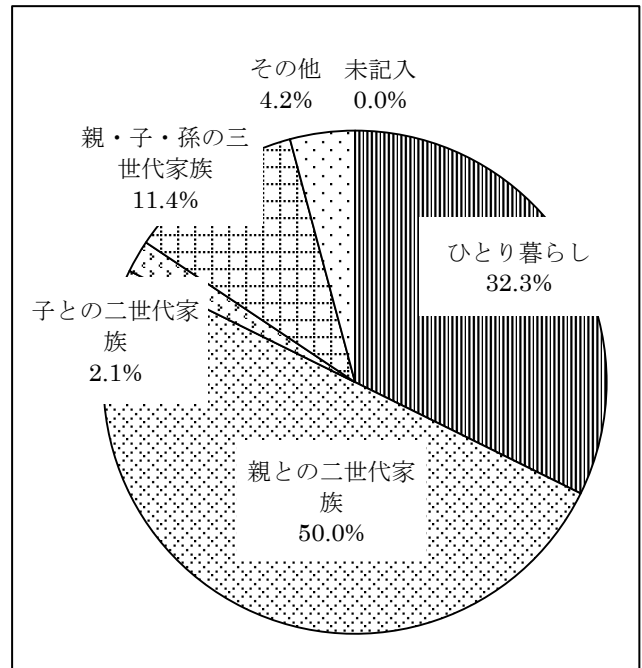
(2) 年齢

	人数	パーセント
15～18歳	27	28.1%
19～22歳	62	64.6%
23歳以上	7	7.3%
未記入	0	0.0%
合計	96	100.0%



【問2】 あなたを含めて現在同居している家族構成についてお答えください。《一つだけ〇》

	人 数	パーセント
ひとり暮らし	31	32.3%
親との二世世代家族	48	50.0%
子との二世世代家族	2	2.1%
親・子・孫の三世世代家族	11	11.4%
その他	4	4.2%
未記入	0	0.0%
合 計	96	100.0%



その他の回答例

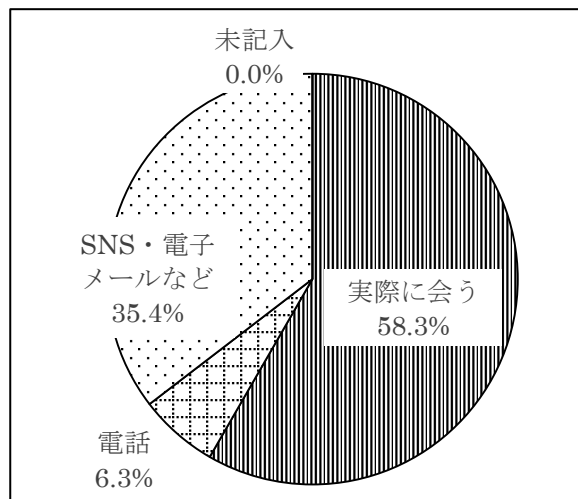
夫婦のみ	1件
兄弟と同居	2件

【問3】 日頃交流のある人との交流方法はどのような方法が多いですか？多い順番に番号をつけてください。《多い順から1～3の番号》

交流方法については、1番多い方法として「実際に会う」が58.3%で過半数を占め、次いで「SNS・電子メール」、「電話」の順となっており、一般と同じ結果になっています。

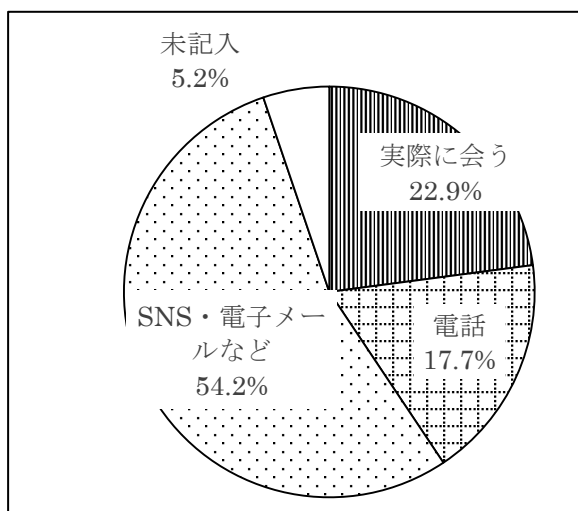
1番多いもの

	人数	パーセント
実際に会う	56	58.3%
電話	6	6.3%
SNS・電子メールなど	34	35.4%
未記入	0	0.0%
合計	96	100.0%



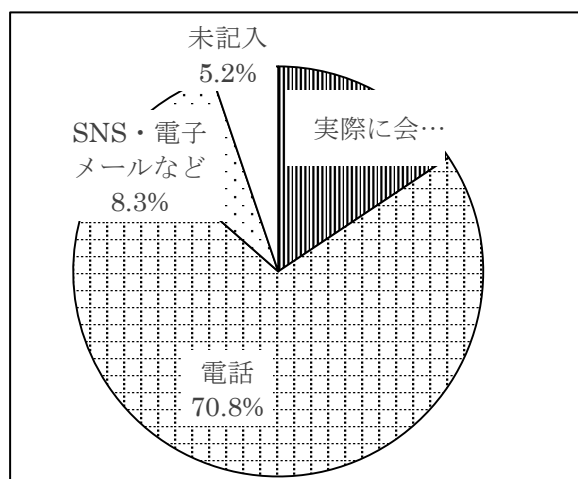
2番目に多いもの

	人数	パーセント
実際に会う	22	22.9%
電話	17	17.7%
SNS・電子メールなど	52	54.2%
未記入	5	5.2%
合計	96	100.0%



3番目に多いもの

	人数	パーセント
実際に会う	15	15.7%
電話	68	70.8%
SNS・電子メールなど	8	8.3%
未記入	5	5.2%
合計	96	100.0%

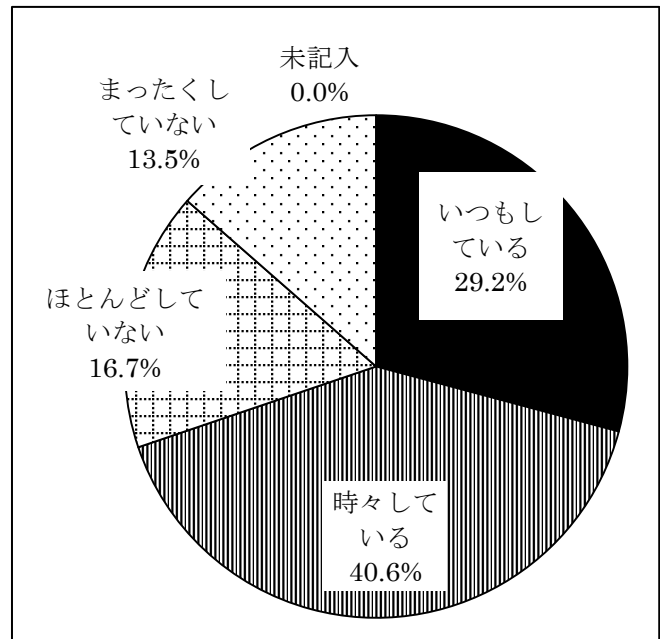


■あなたの隣近所との付き合いについてお尋ねします。

【問4】 あなたは、隣近所の人に挨拶などの声かけをしていますか？《一つだけ〇》

「いつもしている」、「時々している」合わせて69.8%の方が声かけをすると回答しています。

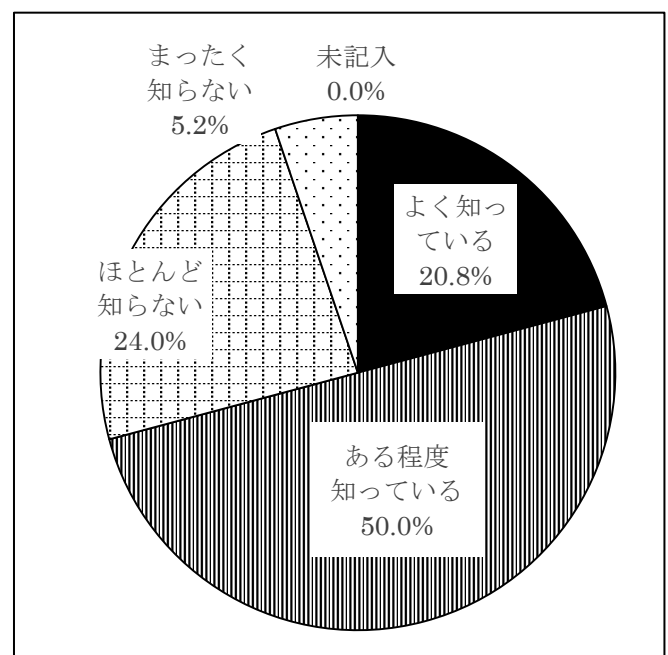
	人数	パーセント
いつもしている	28	29.2%
時々している	39	40.6%
ほとんどしていない	16	16.7%
まったくしていない	13	13.5%
未記入	0	0.0%
合計	96	100.0%



【問5】 あなたは、隣近所にどのような人が住んでいるか知っていますか？《一つだけ〇》

「よく知っている」、「ある程度知っている」を合わせると70.8%の方が隣近所に住んでいる人を知っていると回答しており、「ほとんど知らない」、「まったく知らない」の合計29.2%を大きく上回っています。

	人数	パーセント
よく知っている	20	20.8%
ある程度知っている	48	50.0%
ほとんど知らない	23	24.0%
まったく知らない	5	5.2%
未記入	0	0.0%
合計	96	100.0%

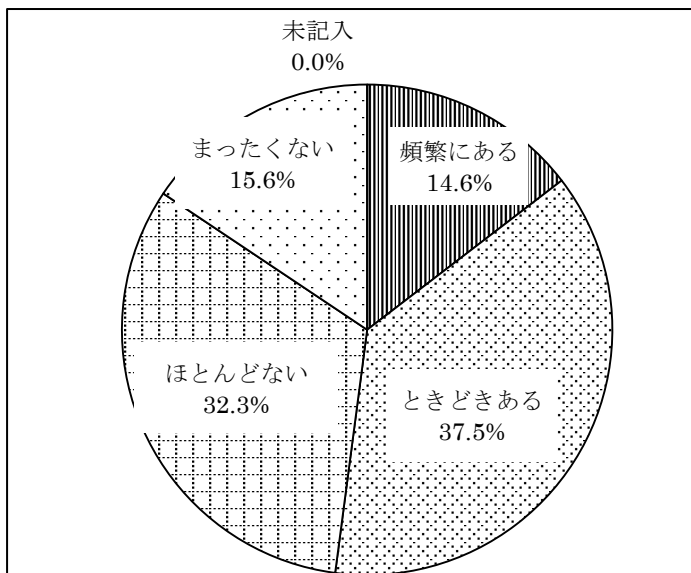


■あなたの居住している地域（町内）のことについてお尋ねします。

【問6】 あなたは、地域の中で自分とは違う世代の人と交流はありますか？《一つだけ〇》

「頻繁にある」が14.6%、「ときどきある」が37.5%となっていることから、52.1%の方が何等かの形での交流を経験しています。

	人数	パーセント
頻繁にある	14	14.6%
ときどきある	36	37.5%
ほとんどない	31	32.3%
まったくない	15	15.6%
未記入	0	0.0%
合計	96	100.0%

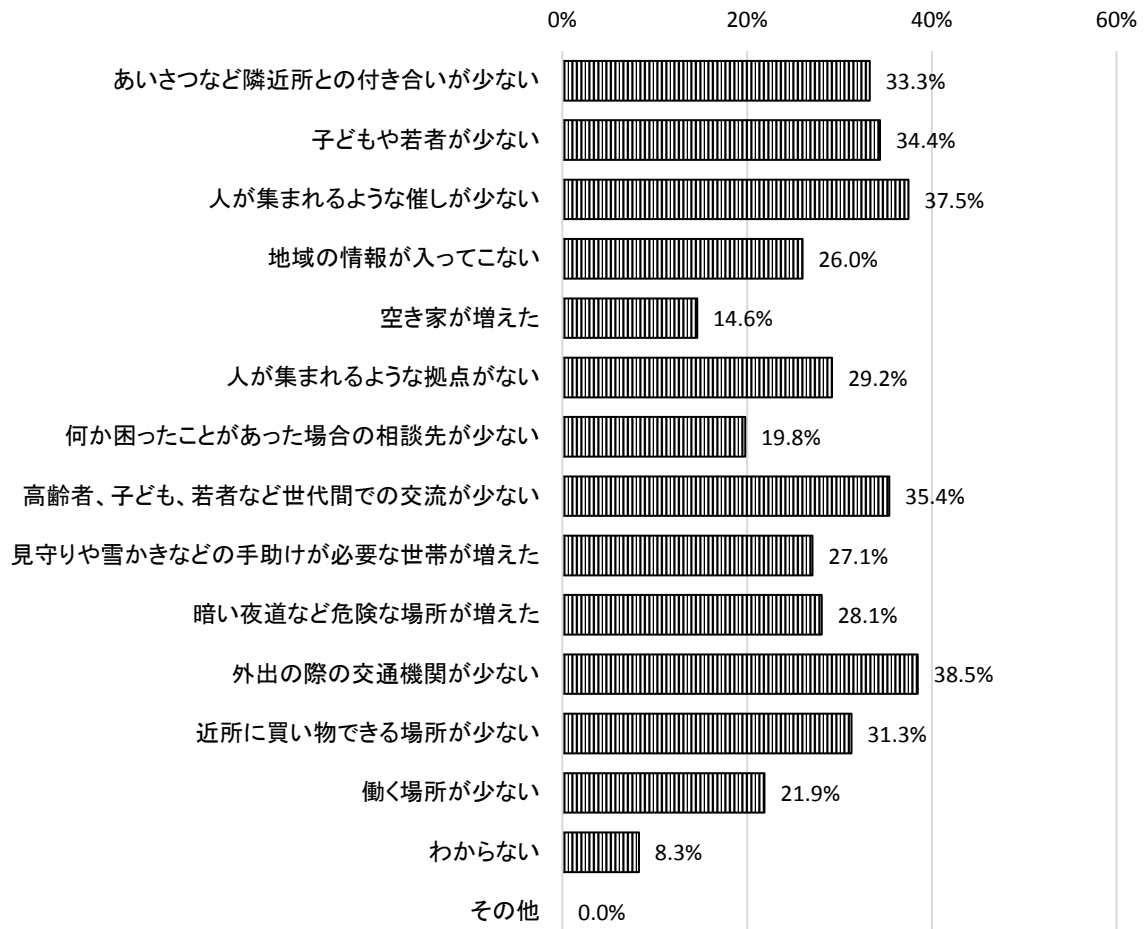


【問7】 あなたが居住している地域では、どのような生活課題があると思いますか？

《あてはまる番号すべてに〇》

「外出の際の交通機関が少ない」が38.5%、「人が集まれるような催しが少ない」が37.5%と、公共交通や地域交流に関する課題が多く挙げられており、一般とは異なる傾向になっています。

	人数	パーセント (n=96)
あいさつなど隣近所との付き合いが少ない	32	33.3%
子どもや若者が少ない	33	34.4%
人が集まれるような催しが少ない	36	37.5%
地域の情報が入ってこない	25	26.0%
空き家が増えた	14	14.6%
人が集まれるような拠点がない	28	29.2%
何か困ったことがあった場合の相談先が少ない	19	19.8%
高齢者、子ども、若者など世代間での交流が少ない	34	35.4%
見守りや雪かきなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた	26	27.1%
暗い夜道など危険な場所が増えた	27	28.1%
外出の際の交通機関が少ない	37	38.5%
近所に買い物できる場所が少ない	30	31.3%
働く場所が少ない	21	21.9%
わからない	8	8.3%
その他	0	0.0%



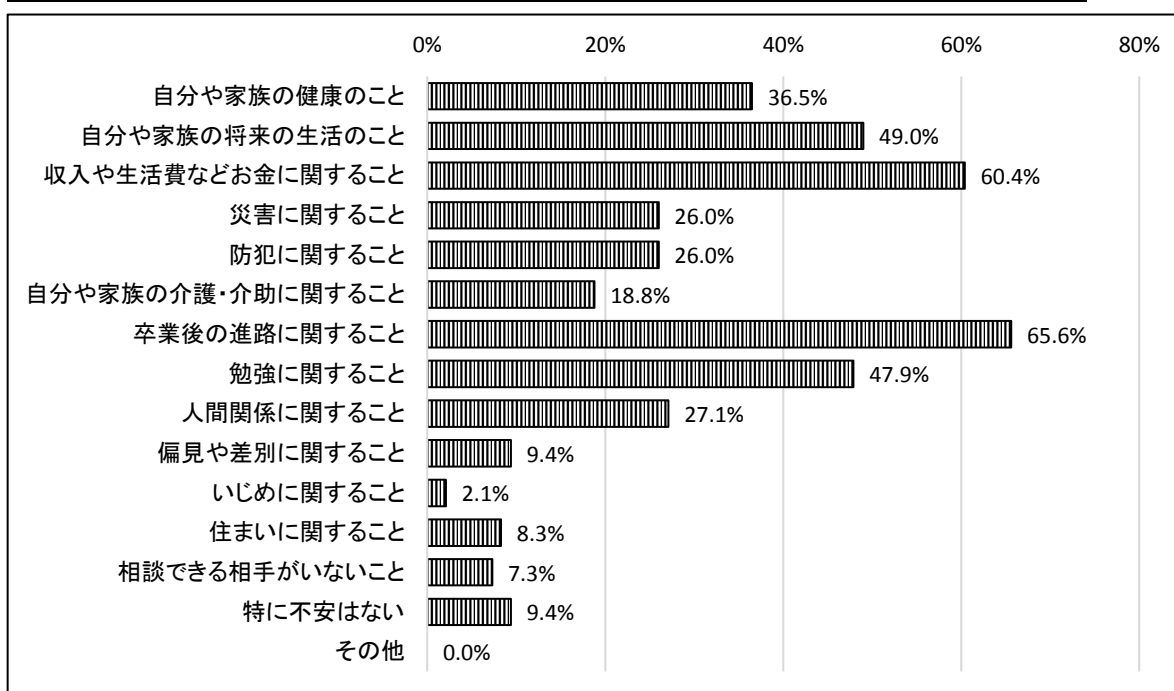
■あなたの生活状況についてお尋ねします。

【問8】 あなたは、日常生活の中で次のような不安を感じることがありますか？

〈あてはまる番号すべてに○〉

最も多いのは「卒業後の進路に関すること」で65.6%、次いで「収入や生活費などお金に関すること」が60.4%で、過半数の方が将来の生活に対して不安を感じています。

	人 数	パーセント (n=96)
自分や家族の健康のこと	35	36.5%
自分や家族の将来の生活のこと	47	49.0%
収入や生活費などお金に関すること	58	60.4%
災害に関すること	25	26.0%
防犯に関すること	25	26.0%
自分や家族の介護・介助に関すること	18	18.8%
卒業後の進路に関すること	63	65.6%
勉強に関すること	46	47.9%
人間関係に関すること（家族、友人、近隣、職場など）	26	27.1%
偏見や差別に関すること	9	9.4%
いじめに関すること	2	2.1%
住まいに関すること	8	8.3%
相談できる相手がいないこと	7	7.3%
特に不安はない	9	9.4%
その他	0	0.0%

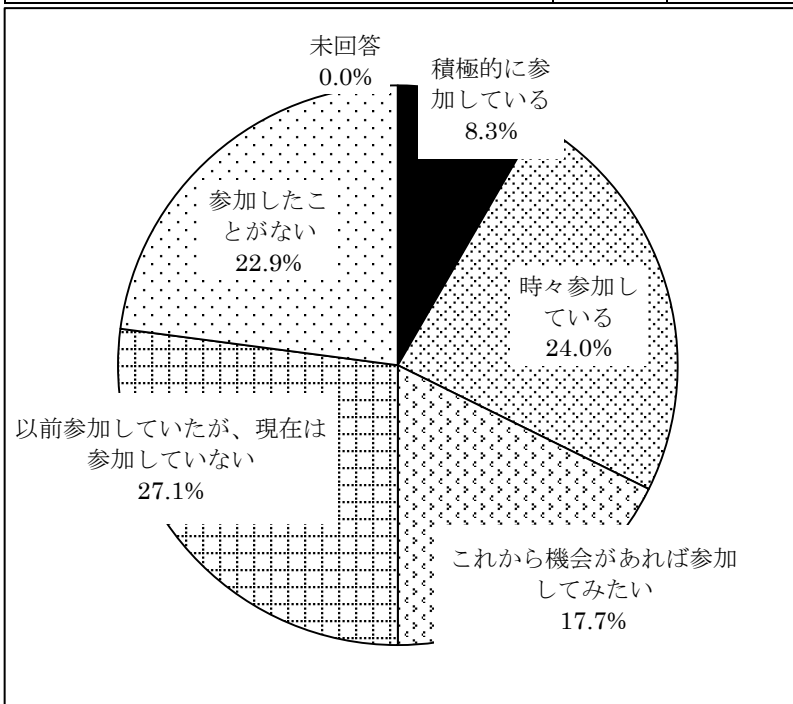


■あなたのボランティアや地域活動についてお尋ねします。

【問9】 あなたはボランティアや地域活動に参加したことがありますか？《一つだけ〇》

「積極的に参加している」、「時々参加している」、「これから機会があれば参加してみたいの合計は50.0%になっています。

	人 数	パーセント
積極的に参加している	8	8.3%
時々参加している	23	24.0%
これから機会があれば参加してみたい	17	17.7%
以前参加していたが、現在は参加していない	26	27.1%
参加したことがない	22	22.9%
未回答	0	0.0%
合 計	96	100.0%

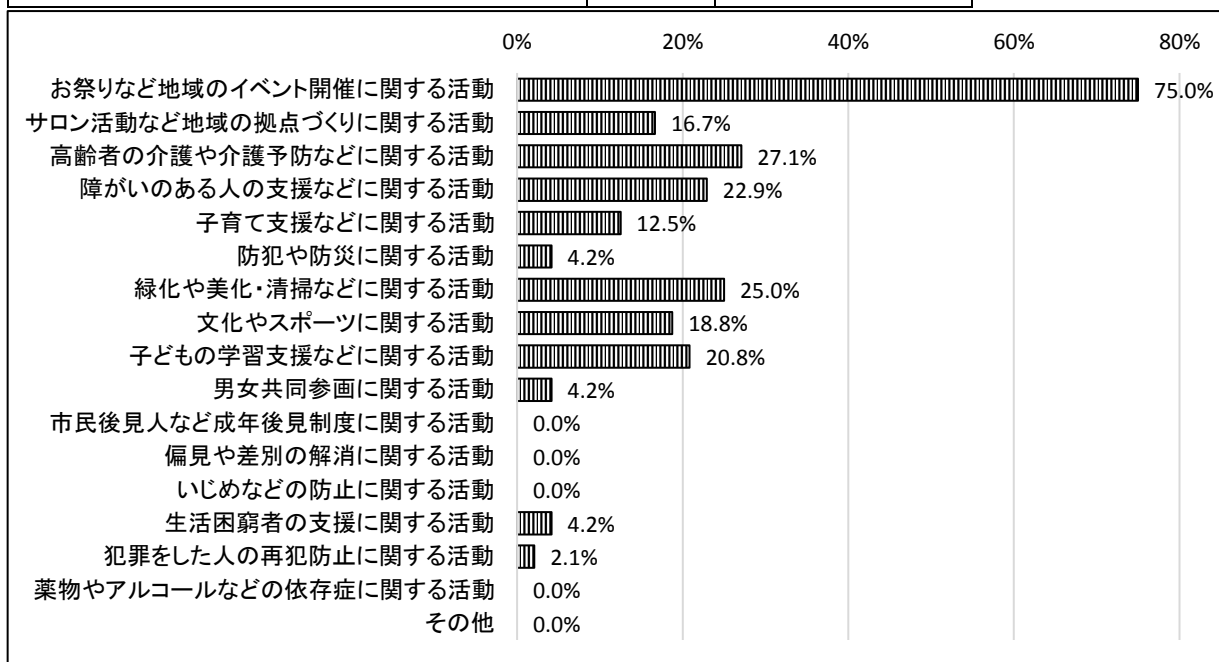


【問9で「積極的、時々参加している」・「機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きします。】

【問9-1】 それほどのような活動ですか？〈あてはまる番号すべてに○〉

「お祭りなど地域のイベント開催に関する活動」が75.0%となっており、問7の「人が集まれるような催しが少ない」の回答との関連性が見られます。

	人数	パーセント(n=48)
お祭りなど地域のイベント開催に関する活動	36	75.0%
サロン活動など地域の拠点づくりに関する活動	8	16.7%
高齢者の介護や介護予防などに関する活動	13	27.1%
障がいのある人の支援などに関する活動	11	22.9%
子育て支援などに関する活動	6	12.5%
防犯や防災に関する活動	2	4.2%
緑化や美化・清掃などに関する活動	12	25.0%
文化やスポーツに関する活動	9	18.8%
子どもの学習支援などに関する活動	10	20.8%
男女共同参画に関する活動	2	4.2%
市民後見人など成年後見制度に関する活動	0	0.0%
偏見や差別の解消に関する活動	0	0.0%
いじめなどの防止に関する活動	0	0.0%
生活困窮者の支援に関する活動	2	4.2%
犯罪をした人の再犯防止に関する活動	1	2.1%
薬物やアルコールなどの依存症に関する活動	0	0.0%
その他	0	0.0%

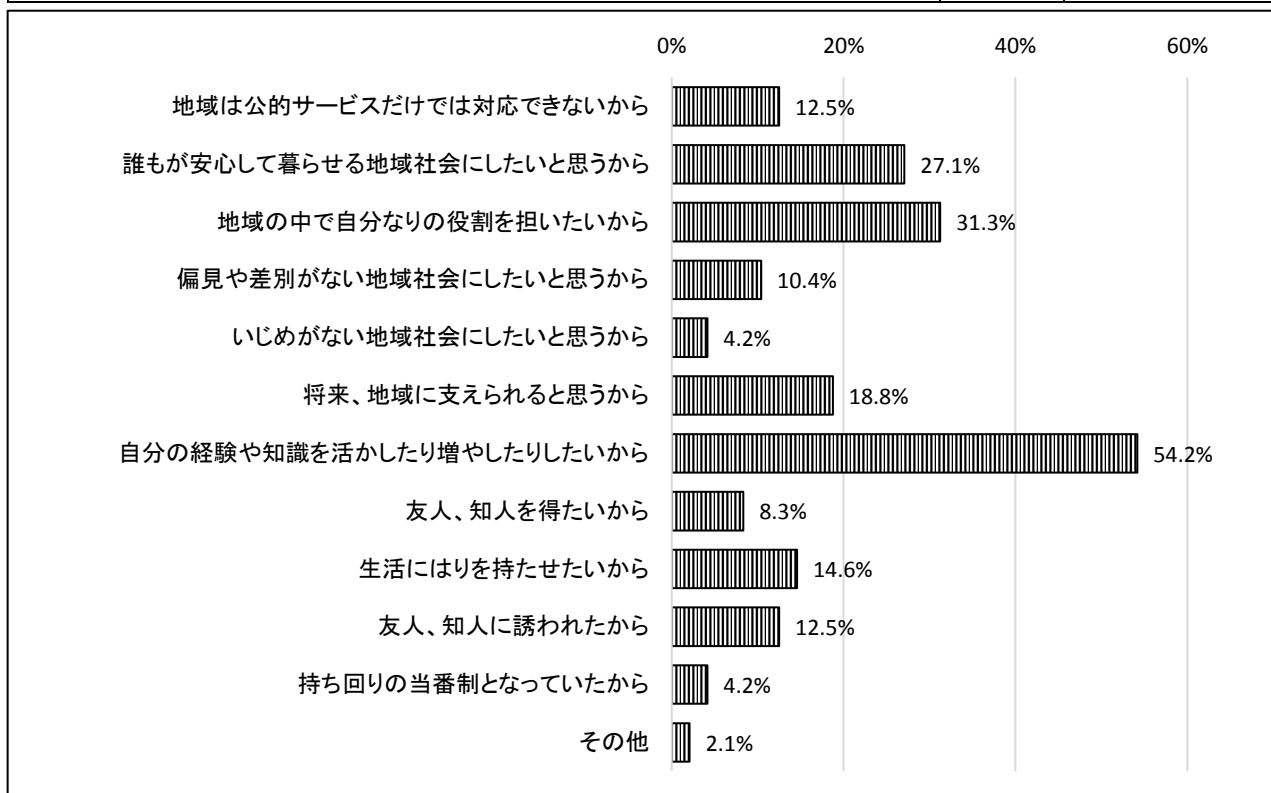


【問9で「積極的、時々参加している」・「機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きします。】

【問9-2】 それほどの理由からですか？《あてはまる番号すべてに○》

最も多いのは「自分の経験や知識を活かしたり増やしたりしたいから」となっており、一般とは異なる傾向となっています。

	人数	パーセント(n=48)
地域の課題は公的サービスだけでは対応できないと思うから	6	12.5%
誰もが安心して暮らせる地域社会にしたいと思うから	13	27.1%
地域の中で自分なりの役割を担いたいから	15	31.3%
偏見や差別がない地域社会にしたいと思うから	5	10.4%
いじめがない地域社会にしたいと思うから	2	4.2%
将来、自分や家族だけで解決できない課題が増え地域に支えられると思うから	9	18.8%
自分の経験や知識を活かしたり増やしたりしたいから	26	54.2%
友人、知人を得たいから	4	8.3%
生活にはりを持たせたいから	7	14.6%
友人、知人に誘われたから	6	12.5%
持ち回りの当番制となっていたから	2	4.2%
その他	1	2.1%



その他の回答

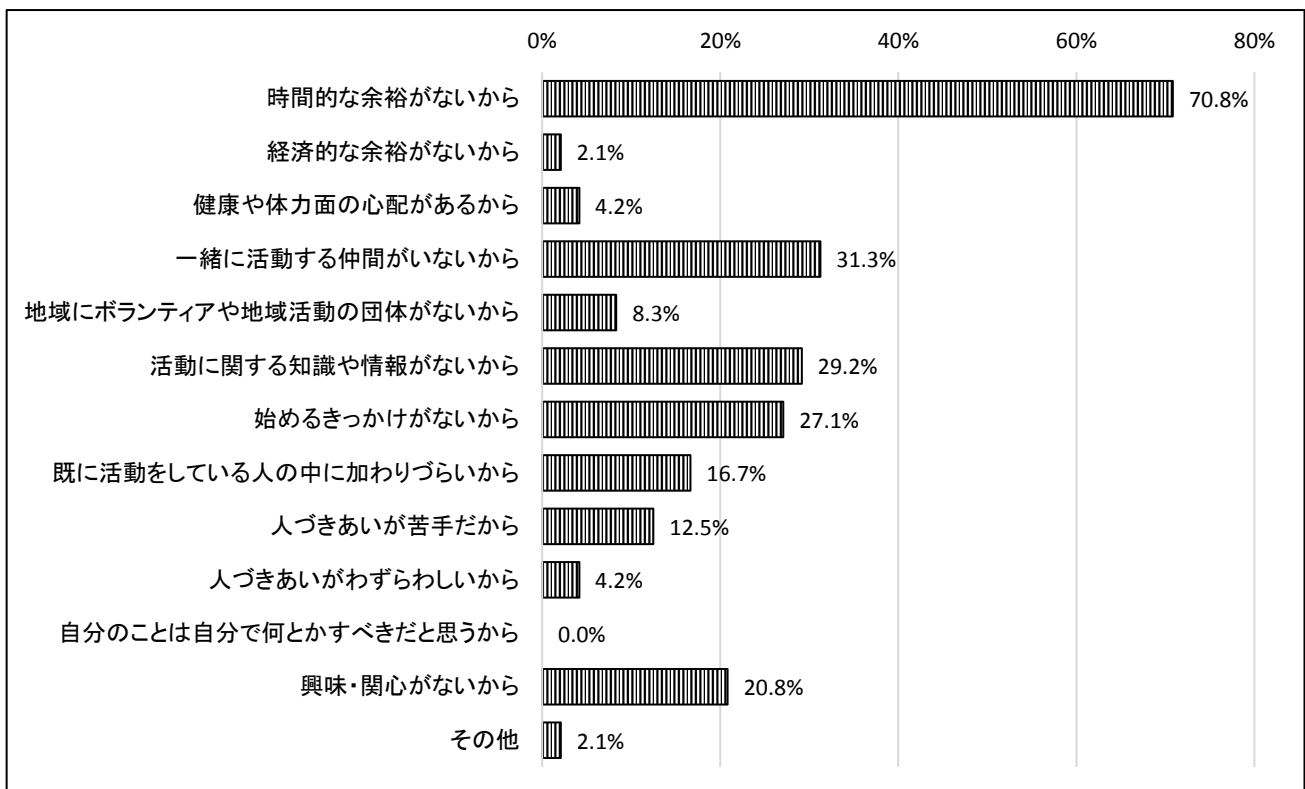
小さな子どもと関わりたい	1件
--------------	----

【問9で「現在参加していない」・「参加したことがない」と答えた方にお聞きします。】

【問9-3】 それほどの理由からですか？〈あてはまる番号すべてに○〉

一般と同様に「時間的余裕がないから」が圧倒的に多く70.8%となっています。次いで「一緒に活動する仲間がないから」「活動に関する知識や情報がないから」となっています。

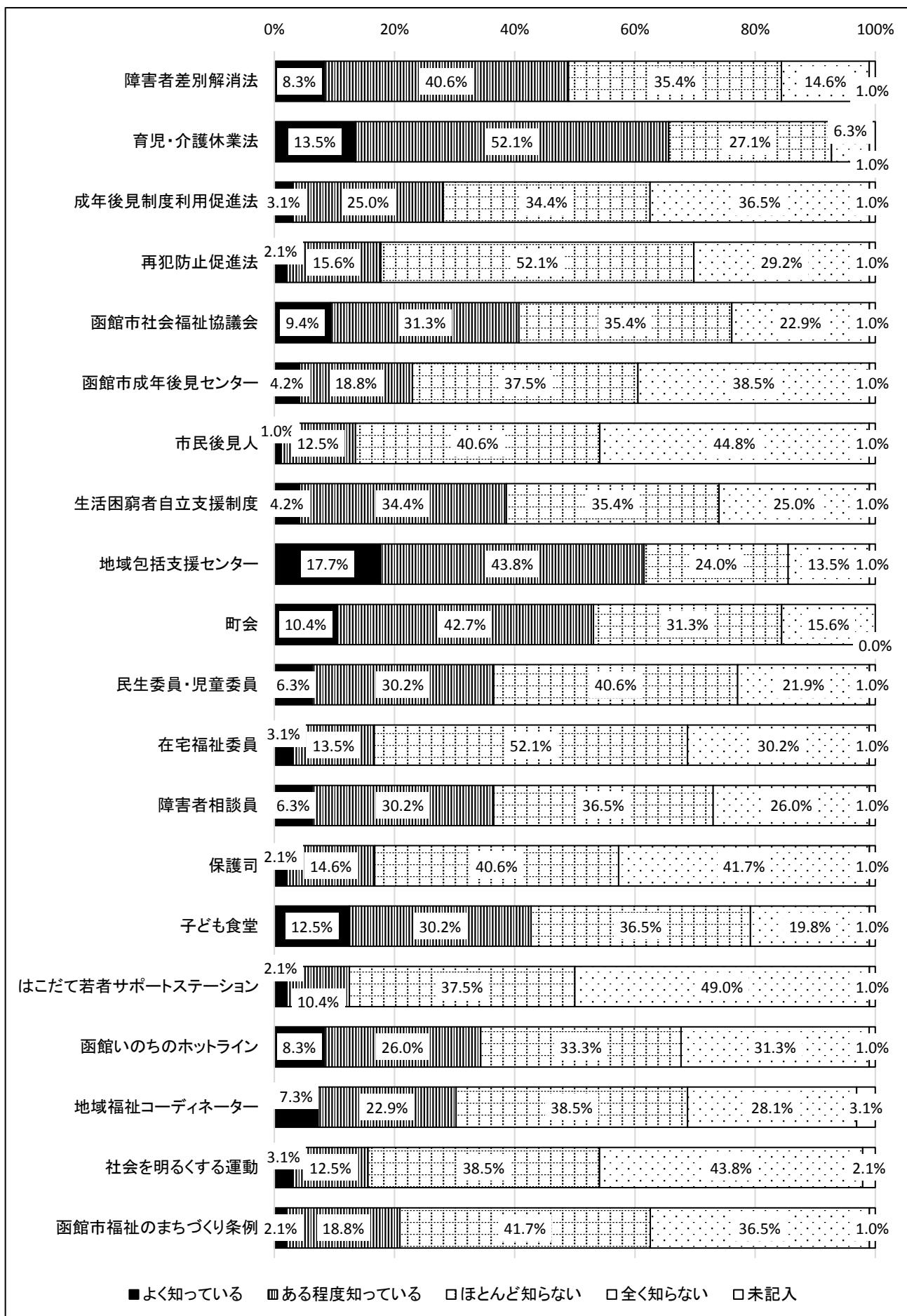
	人数	パーセント (n=48)
時間的な余裕がないから	34	70.8%
経済的な余裕がないから	1	2.1%
健康や体力面の心配があるから	2	4.2%
一緒に活動する仲間がないから	15	31.3%
地域にボランティアや地域活動の団体がないから	4	8.3%
活動に関する知識や情報がないから	14	29.2%
始めるきっかけがないから	13	27.1%
既に活動をしている人の中に加わりづらいから	8	16.7%
人づきあいが苦手だから	6	12.5%
人づきあいがわずらわしいから	2	4.2%
自分のことは自分で何とかすべきだと思うから	0	0.0%
興味・関心がないから	10	20.8%
その他	1	2.1%



【問10】 次の法律・制度・条例や活動内容について知っていますか？ 《あてはまる番号に○》

一番知られているのは「育児・介護休業法」で「よく知っている」「ある程度知っている」合わせて65.6%となっています。

	よく知っている	ある程度知っている	ほとんど知らない	全く知らない	未記入
障害者差別解消法	8 8.3%	39 40.6%	34 35.4%	14 14.6%	1 1.0%
育児・介護休業法	13 13.5%	50 52.1%	26 27.1%	6 6.3%	1 1.0%
成年後見制度利用促進法	3 3.1%	24 25.0%	33 34.4%	35 36.5%	1 1.0%
再犯防止促進法	2 2.1%	15 15.6%	50 52.1%	28 29.2%	1 1.0%
函館市社会福祉協議会	9 9.4%	30 31.3%	34 35.4%	22 22.9%	1 1.0%
函館市成年後見センター	4 4.2%	18 18.8%	36 37.5%	37 38.5%	1 1.0%
市民後見人	1 1.0%	12 12.5%	39 40.6%	43 44.8%	1 1.0%
生活困窮者自立支援制度	4 4.2%	33 34.4%	34 35.4%	24 25.0%	1 1.0%
地域包括支援センター	17 17.7%	42 43.8%	23 24.0%	13 13.5%	1 1.0%
町会	10 10.4%	41 42.7%	30 31.3%	15 15.6%	0 0.0%
民生委員・児童委員	6 6.3%	29 30.2%	39 40.6%	21 21.9%	1 1.0%
在宅福祉委員	3 3.1%	13 13.5%	50 52.1%	29 30.2%	1 1.0%
障害者相談員	6 6.3%	29 30.2%	35 36.5%	25 26.0%	1 1.0%
保護司	2 2.1%	14 14.6%	39 40.6%	40 41.7%	1 1.0%
子ども食堂	12 12.5%	29 30.2%	35 36.5%	19 19.8%	1 1.0%
はこだて若者サポートステーション	2 2.1%	10 10.4%	36 37.5%	47 49.0%	1 1.0%
函館いのちのホットライン	8 8.3%	25 26.0%	32 33.3%	30 31.3%	1 1.0%
地域福祉コーディネーター	7 7.3%	22 22.9%	37 38.5%	27 28.1%	3 3.1%
社会を明るくする運動	3 3.1%	12 12.5%	37 38.5%	42 43.8%	2 2.1%
函館市福祉のまちづくり条例	2 2.1%	18 18.8%	40 41.7%	35 36.5%	1 1.0%



2 自由記述全件

No.	問11 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】
1	周りの人が気配りできる地域にする。
2	冬の道路の整備をしてほしい。雪が多くて登校が困難だったため。
3	若者が多く集まる交流会があればいいと思う。
4	回覧板などがなくなって、何をやっているかわからない。
5	近所のおじいちゃんとおばあちゃんが長生きしますように。おだやかに幸せに暮らせますように。
6	現在は、少子高齢化が増えていることが、近所を見てもよくわかります。比較的私 の家の近所は付き合いがしっかりとしていて、母も隣人のおばあちゃんに声を掛けたり しています。それでも、お年寄りが多くなると、家にこもってしまいがちです。な ので、各地域の若者達が積極的に声掛けをする必要がある。
7	バリアフリーを増やす。
8	地域福祉にできる貢献
9	高齢社会には公道（公共交通機関）などのバリアフリーが出来ていない。道幅が せまい。歩行者道路のせまさ。
10	住民同士の関係がもっと強くなればいいなと思います。
11	函館には人が集まる催しがあるかどうかもわからない。情報が入ってこない。
12	地域全体かつ世代間で交流するのが望ましいと思いました。
13	高齢者が増える中で、若者が高齢者を助けやすくなればいいと思います。
14	人が集まるような施設をもっと増やしてほしい。
15	夜に安全に外出できる環境を作って欲しいです。
16	ボランティアに参加していきたい。
17	誰もが住みやすい地域づくりをしてほしい。高齢者が多い函館で、すべきことがもっ とあるのではないかと思う。

V 地域福祉に関する意識調査結果【企業分】

1 回答集計

■基本的なことをお尋ねします。

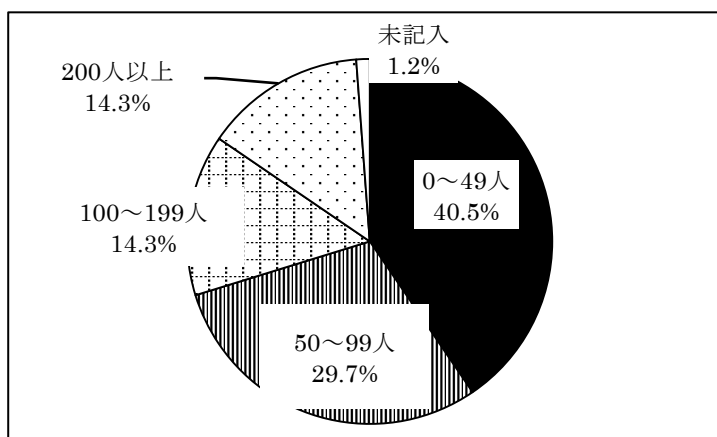
【問1】 貴社の業種を教えてください。《主たる業種の番号一つだけに○》

	企業数	パーセント
農業	1	1.2%
漁業	0	0.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%
建設業	13	15.4%
製造業	12	14.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	2	2.4%
情報通信業	2	2.4%
運輸業、郵便業	6	7.1%
卸売業、小売業	17	20.2%
金融業、保険業	6	7.1%
不動産業、物品賃貸業	3	3.6%
学術研究、専門・技術サービス業	0	0.0%
宿泊業、飲食サービス業	5	6.0%
生活関連サービス業、娯楽業	1	1.2%
教育、学習支援業	2	2.4%
医療・福祉	6	7.1%
複合サービス業	0	0.0%
サービス業（他に分類されないもの）	5	6.0%
公務	0	0.0%
その他	2	2.4%
未記入	1	1.2%
合 計	84	100.0%

【問2】 貴社の従業員数を教えてください。（当市内での従事者数でお答えください。）

《一つだけ〇》

	企業数	パーセント
0～49人	34	40.5%
50～99人	25	29.7%
100～199人	12	14.3%
200人以上	12	14.3%
未記入	1	1.2%
合計	84	100.0%



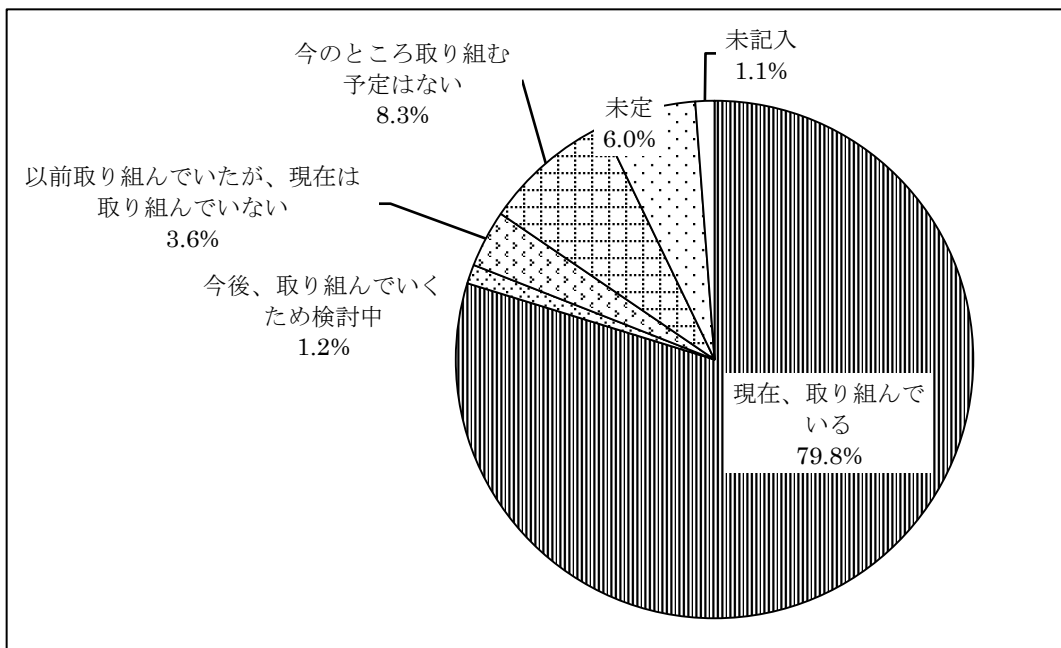
■貴社の地域貢献活動についてお尋ねします。

【問3】 貴社は、地域貢献活動に取り組まれていますか？《一つだけ〇》

(付近の清掃や植栽等の美化活動など、地域での身近な活動も含みます。)

多数の企業で地域貢献活動に取り組んでおり、従業員数で取り組みに対する差は見られなかった。

	人 数	パーセント
現在、取り組んでいる	67	79.8%
今後、取り組んでいくため検討中	1	1.2%
以前取り組んでいたが、現在は取り組んでいない	3	3.6%
今のところ取り組む予定はない	7	8.3%
未定	5	6.0%
未記入	1	1.1%
合 計	84	100.0%



問3で「取り組んでいる・取り組みを検討中」と答えた企業にお聞きします】

【問3-1】 それほどのような取り組みですか？〈あてはまる番号すべてに○〉

「地域イベントの開催や支援」「地域の美化や清掃活動」など地域に密着した活動が多く挙げられています。

		企業数	パーセント (n=84)
地域文化の継承等に関わる活動	地域イベントの開催や支援	48	57.1%
	地域文化やスポーツの支援	31	36.9%
	その他	1	1.2%
地域の環境保護等に関わる活動	地域の美化や清掃活動	43	51.2%
	地域の緑化活動	12	14.3%
	公共交通機関の利用促進	4	4.8%
	その他	1	1.2%
地域の防災・防犯等に関わる活動	防犯活動	12	14.3%
	交通安全活動	28	33.3%
	防火・防災活動	15	17.9%
	その他	3	3.6%
その他の取り組み	建物やサービスでの高齢者・障がい者・子育て支援への配慮 (※1)	18	21.4%
	地域の活動団体への支援 (※2)	26	31.0%
	従業員の個人的なボランティアに対する支援 (※3)	5	6.0%
	その他	2	2.4%

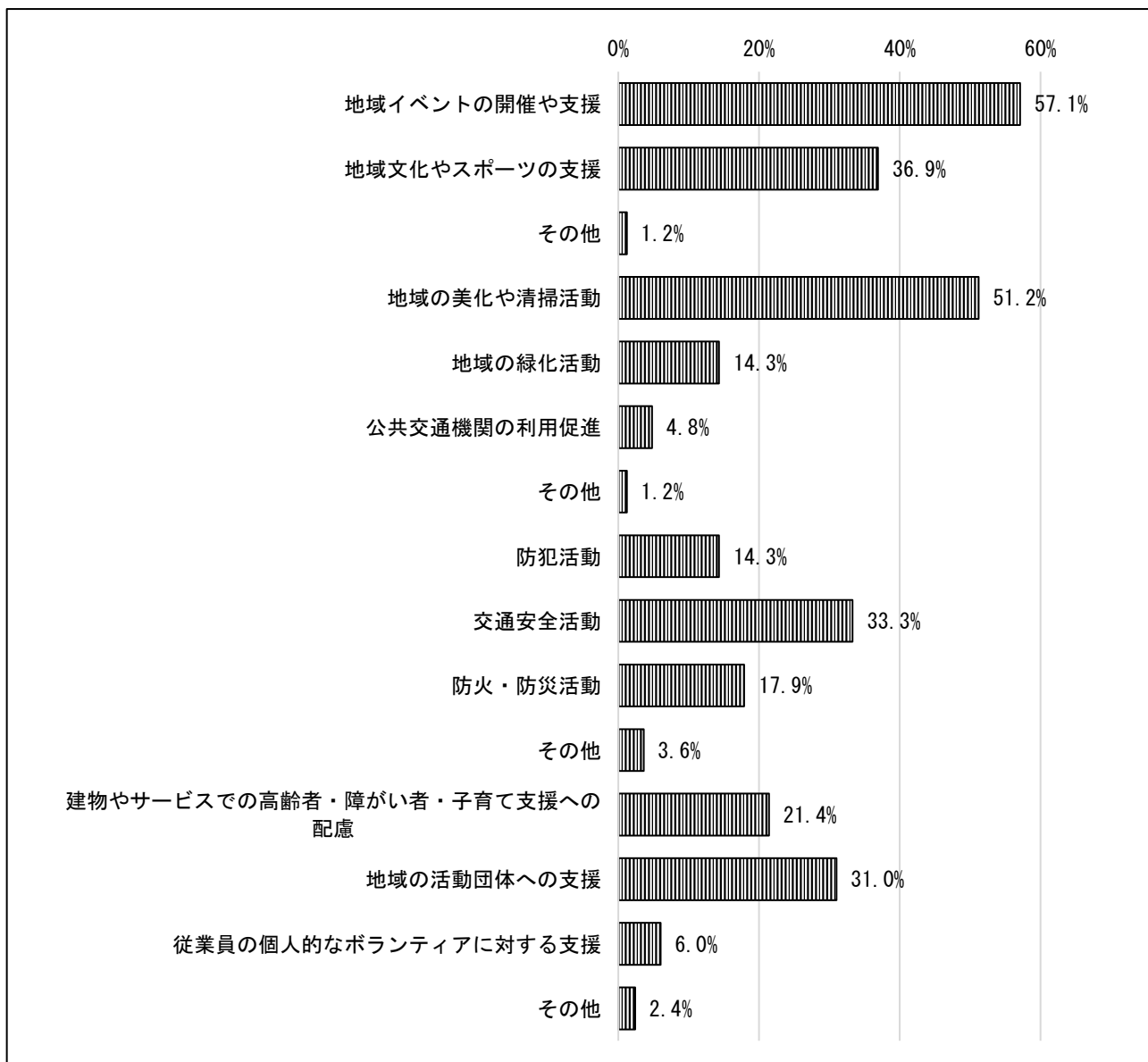
(※1) 例 多目的トイレやスロープ、手すりの設置、段差の解消、出入口の自動ドア化、カウンター等に老眼鏡を備付、従業員のサポートなど

(※2) 例 団体への資金的な援助、従業員の参加、活動場所の提供など

(※3) 例 ボランティア休暇の導入など

その他の回答例

地域の環境保護等に関わる活動	小中学校等のグラウンド整備	1件
地域の防災・防犯等に関わる活動	高齢者の安否確認	2件
その他の取り組み	工場見学受け入れ	2件



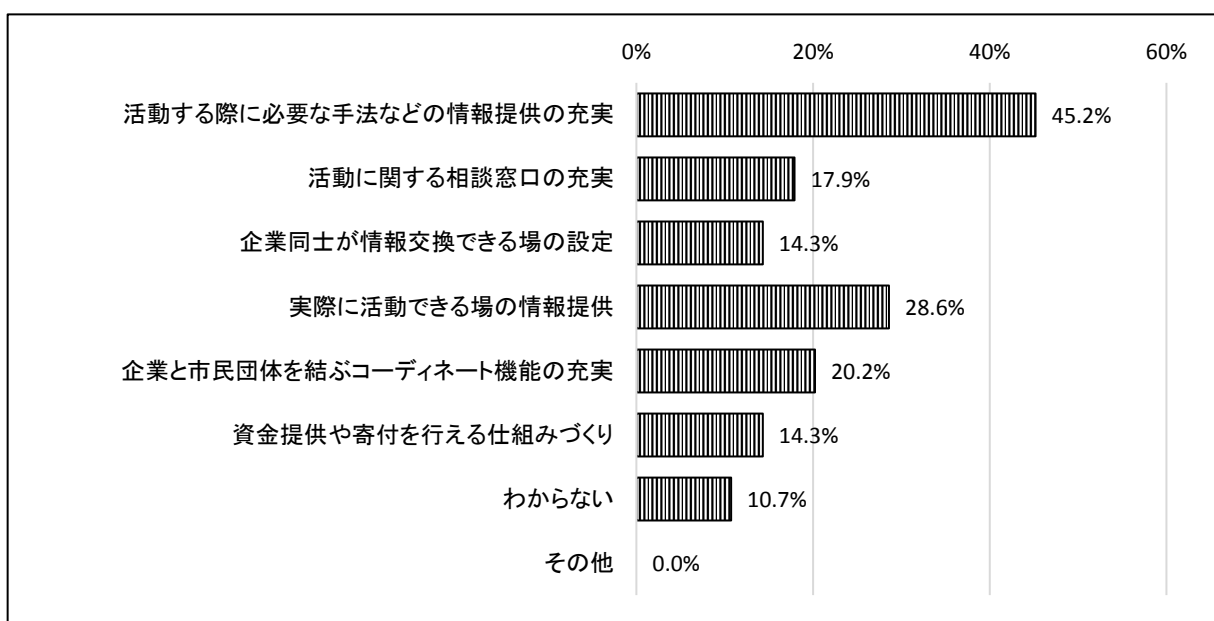
その他の取り組みの具体的な例

建物やサービスでの高齢者・障がい者・子育て世帯への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗のバリアフリー化 ・授乳室の設置、お湯等の提供 ・車イス、ベビーカーの貸し出し ・多目的トイレ設置 ・案内カウンターでの筆談ボード ・老眼鏡、携帯保障期の設置
地域の活動団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・函館マラソン、環境フェスティバル協賛金 ・函館野外劇、五稜郭の夢、箱館五稜郭祭り、港まつりのボランティア ・広告協賛 ・町内会活動への参加 ・交通遺児への応援 ・地域活動団体に場所を提供
従業員の個人的なボランティアに対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献活動参加による特別休暇制度 ・ボランティア休暇

【問4】 貴社において、地域貢献活動に対し活発に取り組むためにはどのような方策が必要だと思いますか？《あてはまる番号すべてに○》

「活動する際に必要な手法などの情報提供の充実」が最も多く、次いで「実際に活動できる場の情報提供」となっており、情報提供が求めています。

	企業数	パーセント (n=84)
活動する際に必要な手法などの情報提供の充実	38	45.2%
活動に関する相談窓口の充実	15	17.9%
企業同士が情報交換できる場の設定	12	14.3%
実際に活動できる場の情報提供	24	28.6%
企業と市民団体を結ぶコーディネート機能の充実	17	20.2%
資金提供や寄付を行える仕組みづくり	12	14.3%
わからない	9	10.7%
その他	0	0.0%

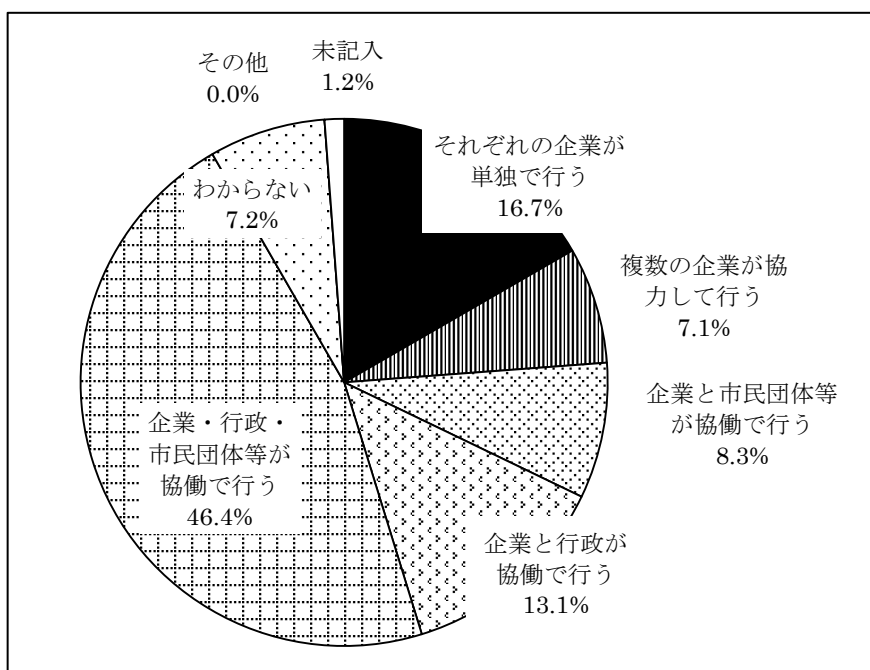


【問5】 貴社が地域貢献活動に取り組む場合、どのような形態が良いと思いますか？

《一つだけ〇》

多数の企業が「企業・行政・市民団体等が協働で行う」形態が良いと回答しています。

	企業数	パーセント
それぞれの企業が単独で行う	14	16.7%
複数の企業が協力して行う	6	7.1%
企業と市民団体等が協働で行う	7	8.3%
企業と行政が協働で行う	11	13.1%
企業・行政・市民団体等が協働で行う	39	46.4%
わからない	6	7.2%
その他	0	0.0%
未記入	1	1.2%
合 計	84	100.0%

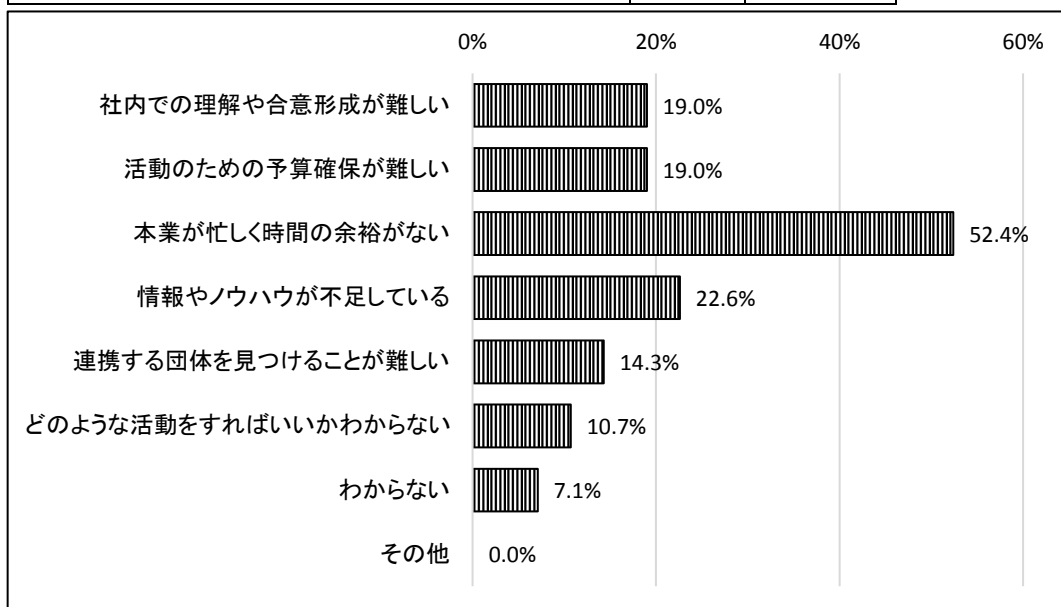


【問6】 貴社が地域貢献活動に取り組むうえでの問題点は、どのようなことだと思いますか？

《あてはまる番号すべてに○》

半数以上の企業が「本業が忙しく時間の余裕がない」と回答しており、個人と同じ結果となっています。

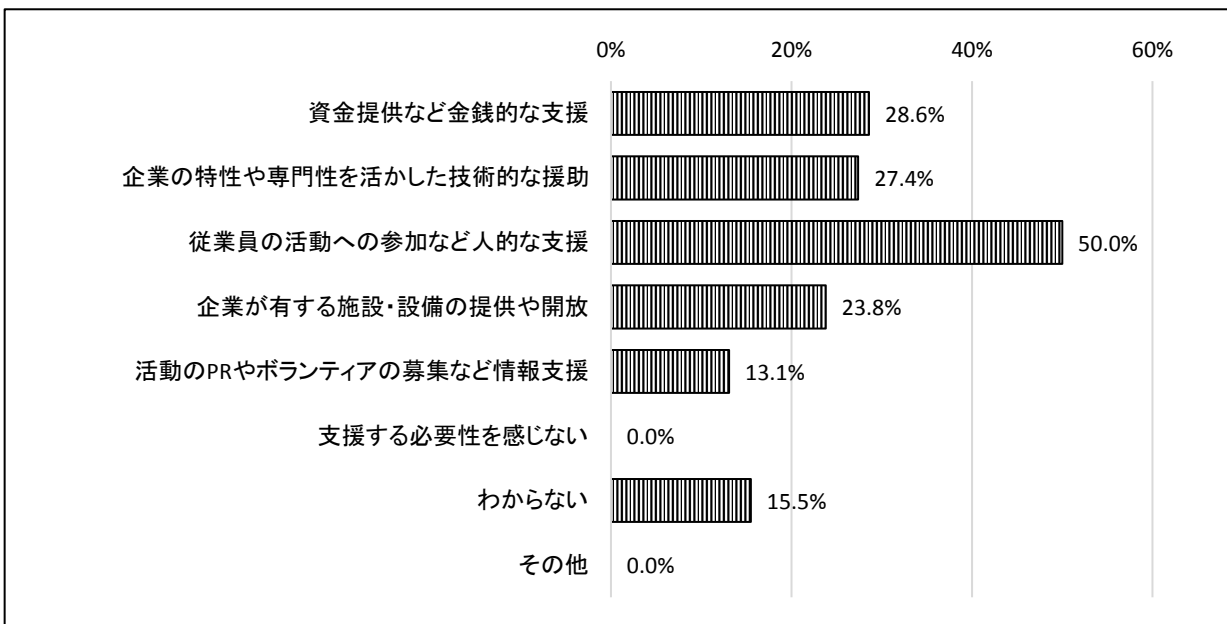
	企業数	パーセント (n=84)
社内での理解や合意形成が難しい	16	19.0%
活動のための予算確保が難しい	16	19.0%
本業が忙しく時間の余裕がない	44	52.4%
情報やノウハウが不足している	19	22.6%
連携する団体を見つけることが難しい	12	14.3%
どのような活動をすればいいかわからない	9	10.7%
わからない	6	7.1%
その他	0	0.0%



【問7】 貴社が市民の主体的なボランティアや地域活動などを支援する場合、可能な支援はどのようなことだと思いますか？《あてはまる番号すべてに○》

最も多いのは「従業員の活動への参加など人的な支援」で、半数の企業が回答しています。

	企業数	パーセント (n=84)
資金提供など金銭的な支援	24	28.6%
企業の特性や専門性を活かした技術的な援助	23	27.4%
従業員の活動への参加など人的な支援	42	50.0%
企業が有する施設・設備の提供や開放	20	23.8%
一般市民に対する活動のPRやボランティアの募集など情報支援	11	13.1%
支援する必要性を感じない	0	0.0%
わからない	13	15.5%
その他	0	0.0%



2 自由記述全件

No.	問8 地域福祉の推進に関する意見や要望【自由記述】
1	地域福祉の取組は、企業・団体内での人材確保がどのくらい出来ているかで取組具合が変わると感じる。人材不足中でも地域福祉への取組を前向きに捉えることが出来る動機付けや手法を行政で強く発信する必要があるのではないのでしょうか。
2	関心の問題だと思うが、何が課題でどのような対策が必要か等、その地域の特徴が分析されると良いのではないか。
3	色々な活動団体や個人の方々を見ているが、市役所の職員が参加しているところを見たことがない。
4	自助，共助，公助
5	施設（ハード）の充実はかなりされてきているので，そこで働く人や福祉に必要な（ソフト）の充実をこれから産・管・学連携でおこなっていく必要性を感じます。
6	低所得者への援助事業をおこないたいが，プライバシーの問題もあり，情報提供がどこまで可能なのかわからない。具体的なケース等を行政に示してもらいたい。（他市の取り組み等）
7	本アンケートの地域福祉の地域とは函館市を，市民とは函館市民を意味するものと推察するが，自治体間の協力連携，実行がどのように行われているのかを知りたいと思う。

VI アンケート調査票

1 個人向け

地域福祉計画策定に関わる意識調査票

■あなたの年齢、世帯構成など、基本的なことをお尋ねします。

【問1】 あなたの性別・年齢についてお答えください。

《一つだけ〇》

(性別)

- 1 男
- 2 女

(年齢)

[] 歳

【問2】 あなたを含めて現在同居している家族構成についてお答えください。

《一つだけ〇》

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦のみ
- 3 親との二世帯家族
- 4 子との二世帯家族
- 5 親・子・孫の三世帯家族
- 6 その他 ()

【問3】 あなたがお住まいの町名をお答えください。

[] 町

【問4】 日頃交流のある人との交流方法はどのような方法が多いですか？多い順番に番号をつけてください。

《多い順から1～3の番号》

[順番]

- | | |
|-----|-------------|
| [] | 実際に会う |
| [] | 電話 |
| [] | SNS・電子メールなど |

【問8】 あなたは、隣近所にどのような人が住んでいるか知っていますか？

《一つだけ○》

- 1 よく知っている
- 2 ある程度知っている
- 3 ほとんど知らない
- 4 まったく知らない

【問9】 あなたは、隣近所との付き合いでどのような関係が一番良いと思いますか？

《一つだけ○》

- | | |
|----------------------|---------|
| 1 普段から何でも話したり協力できる関係 | → 問10へ |
| 2 何かあった時だけ協力し合える関係 | → 問10へ |
| 3 挨拶程度の軽い付き合い | → 問10へ |
| 4 交流は特に必要ない | → 問9-1へ |
| 5 その他 () | |

【問9で「交流は特に必要ない」と答えた方にお聞きします。】

【問9-1】 必要ないと思う理由を教えてください。

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 人づきあいが苦手だから
- 2 人づきあいがわずらわしいから
- 3 仕事などで日中家に誰もいないから
- 4 何か困ったことがあっても自分で解決できるから
- 5 その他 ()

■あなたの居住している地域（町内）のことについてお尋ねします。

【問10】 あなたは、地域の中で自分とは違う世代の人と交流はありますか？

《一つだけ○》

- 1 頻繁にある
- 2 ときどきある
- 3 ほとんどない
- 4 まったくない

【問 1 1】 あなたが居住している地域では、どのような生活課題があると思いますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 あいさつなど隣近所との付き合いが少ない
- 2 子どもや若者が少ない
- 3 人が集まれるような催しが少ない
- 4 地域の情報が入ってこない
- 5 空き家が増えた
- 6 人が集まれるような拠点がない
- 7 何か困ったことがあった場合の相談先が少ない
- 8 高齢者、子ども、若者など世代間での交流が少ない
- 9 見守りや雪かきなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた
- 10 暗い夜道など危険な場所が増えた
- 11 外出の際の交通機関が少ない
- 12 近所に買い物できる場所が少ない
- 13 働く場所が少ない
- 14 わからない
- 15 その他 ()

【問 1 2】 あなたは、地域の生活課題について相談される場合、どのような人に相談しますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 家族・親族
- 2 隣近所の住民
- 3 職場の同僚
- 4 友人・知人
- 5 町会・自治会の役員や班長（区長）
- 6 民生委員・児童委員
- 7 在宅福祉委員
- 8 行政窓口
- 9 地域包括支援センター
- 10 社会福祉協議会
- 11 民間のサービス事業者（ケアマネジャー等）
- 12 ボランティア・NPO
- 13 誰にも相談しない
- 14 その他 ()

■あなたの生活状況についてお尋ねします。

【問13】 あなたは、現在、子育てやご家族の介護・介助をしていますか？

《**あてはまる番号すべてに○**》

- | | | | |
|---|---------------|---|--------|
| 1 | 子育てをしている | → | 問13-1へ |
| 2 | 家族の介護・介助をしている | → | 問13-1へ |
| 3 | していない | → | 問14へ |

【問13で「子育て」や「家族の介護・介助」をしていると答えた方にお聞きします。】

【問13-1】 お子さんや介護・介助が必要な方と外出したときに困ったり、不便を感じることはありますか？

《**一つだけ○**》

- | | | | |
|---|--------|---|--------|
| 1 | 良くある | → | 問13-2へ |
| 2 | ときどきある | → | 問13-2へ |
| 3 | 特にない | → | 問14へ |

【問13で「良くある」や「ときどきある」と答えた方にお聞きします。】

【問13-2】 外出時に困ったり、不便を感じるのはどのようなことですか？

《**自由記述**》

【問15で「積極的、時々参加している」・「機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きします。】

【問15-1】 それほどのような活動ですか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 お祭りなど地域のイベント開催に関する活動
- 2 サロン活動など地域の拠点づくりに関する活動
- 3 高齢者の介護や介護予防などに関する活動
- 4 障がいのある人の支援などに関する活動
- 5 子育て支援などに関する活動
- 6 防犯や防災に関する活動
- 7 緑化や美化・清掃などに関する活動
- 8 文化やスポーツに関する活動
- 9 子どもの学習支援などに関する活動
- 10 男女共同参画に関する活動
- 11 市民後見人など成年後見制度に関する活動
- 12 偏見や差別の解消に関する活動
- 13 いじめなどの防止に関する活動
- 14 生活困窮者の支援に関する活動
- 15 犯罪をした人の再犯防止に関する活動
- 16 薬物やアルコールなどの依存症に関する活動
- 17 その他 ()

【問15で「積極的、時々参加している」・「機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きします。】

【問15-2】 それほどの理由からですか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 地域の課題は公的サービスだけでは対応できないと思うから
- 2 誰もが安心して暮らせる地域社会にしたいと思うから
- 3 地域の中で自分なりの役割を担いたいから
- 4 偏見や差別がない地域社会にしたいと思うから
- 5 いじめがない地域社会にしたいと思うから
- 6 将来、自分や家族だけで解決できない課題が増え地域に支えられると思うから
- 7 自分の経験や知識を活かしたり増やしたりしたいから
- 8 友人、知人を得たいから
- 9 生活にはりを持たせたいから
- 10 友人、知人に誘われたから
- 11 持ち回りの当番制となっていたから
- 12 その他 ()

【問15で「現在参加していない」・「参加したことがない」と答えた方にお聞きします。】

【問15-3】 それほどの理由からですか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 時間的な余裕がないから
- 2 経済的な余裕がないから
- 3 健康や体力面の心配があるから
- 4 一緒に活動する仲間がないから
- 5 地域にボランティアや地域活動の団体がないから
- 6 活動に関する知識や情報がないから
- 7 始めるきっかけがないから
- 8 既に活動をしている人の中に加わりづらいから
- 9 人づきあいが苦手だから
- 10 人づきあいがわずらわしいから
- 11 自分のことは自分で何とかすべきだと思うから
- 12 興味・関心がないから
- 13 その他 ()

【問16】 次の法律・制度・条例や活動内容について知っていますか？

《あてはまる番号に○》

	よく知っている	ある程度知っている	ほとんど知らない	全く知らない
1 障害者差別解消法	1	2	3	4
2 育児・介護休業法	1	2	3	4
3 成年後見制度利用促進法	1	2	3	4
4 再犯防止推進法	1	2	3	4
5 函館市社会福祉協議会	1	2	3	4
6 函館市成年後見センター	1	2	3	4
7 市民後見人	1	2	3	4
8 生活困窮者自立支援制度	1	2	3	4
9 地域包括支援センター	1	2	3	4
10 町会	1	2	3	4
11 民生委員・児童委員	1	2	3	4
12 在宅福祉委員	1	2	3	4
13 障害者相談員	1	2	3	4
14 保護司	1	2	3	4
15 子ども食堂	1	2	3	4
16 はこだて若者サポートステーション	1	2	3	4
17 函館いのちのホットライン	1	2	3	4
18 地域福祉コーディネーター	1	2	3	4
19 社会を明るくする運動	1	2	3	4
20 函館市福祉のまちづくり条例	1	2	3	4

【問 17】 最後に地域福祉の推進に関してのご意見, ご要望など自由にお書きください。

《自由記述》



☆質問は以上です。ご回答いただきありがとうございました。

2 学生向け

地域福祉計画策定に関わる意識調査

■あなたの年齢、世帯構成など、基本的なことをお尋ねします。

【問1】 あなたの性別・年齢についてお答えください。

《一つだけ〇》

(性別)

- 1 男
- 2 女

(年齢)

[_____] 歳

【問2】 あなたを含めて現在同居している家族構成についてお答えください。

《一つだけ〇》

- 1 ひとり暮らし
- 2 親との二世帯家族
- 3 子との二世帯家族
- 4 親・子・孫の三世帯家族
- 5 その他 (_____)

【問3】 日頃交流のある人との交流方法はどのような方法が多いですか？多い順番に番号をつけてください。

《多い順から1～3の番号》

[順番]

- [] 実際に会う
[] 電話
[] SNS・電子メールなど

■あなたの隣近所との付き合いについてお尋ねします。

【問4】 あなたは、隣近所の人に挨拶などの声かけをしていますか？

《一つだけ〇》

- 1 いつもしている
- 2 時々している
- 3 ほとんどしていない
- 4 まったくしていない

【問5】 あなたは、隣近所にどのような人が住んでいるか知っていますか？

《一つだけ〇》

- 1 よく知っている
- 2 ある程度知っている
- 3 ほとんど知らない
- 4 まったく知らない

■あなたの居住している地域（町内）のことについてお尋ねします。

【問6】 あなたは、地域の中で自分とは違う世代の人と交流はありますか？

《一つだけ〇》

- 1 頻繁にある
- 2 ときどきある
- 3 ほとんどない
- 4 まったくない

【問7】 あなたが居住している地域では、どのような生活課題があると思いますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 あいさつなど隣近所との付き合いが少ない
- 2 子どもや若者が少ない
- 3 人が集まれるような催しが少ない
- 4 地域の情報が入ってこない
- 5 空き家が増えた
- 6 人が集まれるような拠点がない
- 7 何か困ったことがあった場合の相談先が少ない
- 8 高齢者、子ども、若者など世代間での交流が少ない
- 9 見守りや雪かきなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた
- 10 暗い夜道など危険な場所が増えた
- 11 外出の際の交通機関が少ない
- 12 近所に買い物できる場所が少ない
- 13 働く場所が少ない
- 14 わからない
- 15 その他 ()

■あなたの生活状況についてお尋ねします。

【問8】 あなたは、日常生活の中で次のような不安を感じることがありますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 自分や家族の健康のこと
- 2 自分や家族の将来の生活のこと
- 3 収入や生活費などお金に関すること
- 4 災害に関すること
- 5 防犯に関すること
- 6 自分や家族の介護・介助に関すること
- 7 卒業後の進路に関すること
- 8 勉強に関すること
- 9 人間関係に関すること（家族、友人、近隣、学校など）
- 10 偏見や差別に関すること
- 11 いじめに関すること
- 12 住まいに関すること
- 13 相談できる相手がいないこと
- 14 特に不安はない
- 15 その他 ()

■あなたのボランティアや地域活動についてお尋ねします。

【問9】 あなたはボランティアや地域活動に参加したことがありますか？

《一つだけ○》

- | | |
|------------------------|------------|
| 1 積極的に参加している | → 問9-1, 2へ |
| 2 時々参加している | → 問9-1, 2へ |
| 3 これから機会があれば参加してみたい | → 問9-1, 2へ |
| 4 以前参加していたが、現在は参加していない | → 問9-3へ |
| 5 参加したことがない | → 問9-3へ |

【問9で「積極的に、時々参加している」・「機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きします。】

【問9-1】 それはどのような活動ですか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 お祭りなど地域のイベント開催に関する活動
- 2 サロン活動など地域の拠点づくりに関する活動
- 3 高齢者の介護や介護予防などに関する活動
- 4 障がいのある人の支援などに関する活動
- 5 子育て支援などに関する活動
- 6 防犯や防災に関する活動
- 7 緑化や美化・清掃などに関する活動
- 8 文化やスポーツに関する活動
- 9 子どもの学習支援などに関する活動
- 10 男女共同参画に関する活動
- 11 市民後見人など成年後見制度に関する活動
- 12 偏見や差別の解消に関する活動
- 13 いじめなどの防止に関する活動
- 14 生活困窮者の支援に関する活動
- 15 犯罪をした人の再犯防止に関する活動
- 16 薬物やアルコールなどの依存症に関する活動
- 17 その他 ()

【問9で「積極的、時々参加している」・「機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きします。】

【問9-2】 それほどの理由からですか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 地域の課題は公的サービスだけでは対応できないと思うから
- 2 誰もが安心して暮らせる地域社会にしたいと思うから
- 3 地域の中で自分なりの役割を担いたいから
- 4 偏見や差別がない地域社会にしたいと思うから
- 5 いじめがない地域社会にしたいと思うから
- 6 将来、自分や家族だけで解決できない課題が増え地域に支えられると思うから
- 7 自分の経験や知識を活かしたり増やしたりしたいから
- 8 友人、知人を得たいから
- 9 生活にはりを持たせたいから
- 10 友人、知人に誘われたから
- 11 持ち回りの当番制となっていたから
- 12 その他 ()

【問9で「現在参加していない」・「参加したことがない」と答えた方にお聞きします。】

【問9-3】 それほどの理由からですか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 時間的な余裕がないから
- 2 経済的な余裕がないから
- 3 健康や体力面の心配があるから
- 4 一緒に活動する仲間がないから
- 5 地域にボランティアや地域活動の団体がないから
- 6 活動に関する知識や情報がないから
- 7 始めるきっかけがないから
- 8 既に活動をしている人の中に加わりづらいから
- 9 人づきあいが苦手だから
- 10 人づきあいがわずらわしいから
- 11 自分のことは自分で何とかすべきだと思うから
- 12 興味・関心がないから
- 13 その他 ()

【問10】 次の法律・制度・条例や活動内容について知っていますか？

《あてはまる番号に○》

	よく知っている	ある程度知っている	ほとんど知らない	全く知らない
1 障害者差別解消法	1	2	3	4
2 育児・介護休業法	1	2	3	4
3 成年後見制度利用促進法	1	2	3	4
4 再犯防止推進法	1	2	3	4
5 社会福祉協議会	1	2	3	4
6 函館市成年後見センター	1	2	3	4
7 市民後見人	1	2	3	4
8 生活困窮者自立支援制度	1	2	3	4
9 地域包括支援センター	1	2	3	4
10 町会	1	2	3	4
11 民生委員・児童委員	1	2	3	4
12 在宅福祉委員	1	2	3	4
13 障害者相談員	1	2	3	4
14 保護司	1	2	3	4
15 子ども食堂	1	2	3	4
16 はこだて若者サポートステーション	1	2	3	4
17 函館いのちのホットライン	1	2	3	4
18 地域福祉コーディネーター	1	2	3	4
19 社会を明るくする運動	1	2	3	4
20 函館市福祉のまちづくり条例	1	2	3	4

【問 1 1】 最後に地域福祉の推進に関してのご意見, ご要望など自由にお書きください。

《自由記述》



☆質問は以上です。ご回答いただきありがとうございました。

3 企業等向け

地域福祉計画策定に関わる意識調査

■基本的なことをお尋ねします。

【問1】 貴社の業種を教えてください。

《主たる業種の番号一つだけに○》

- 1 農業，林業
- 2 漁業
- 3 鉱業，採石業，砂利採取業
- 4 建設業
- 5 製造業
- 6 電気・ガス・熱供給・水道業
- 7 情報通信業
- 8 運輸業，郵便業
- 9 卸売業，小売業
- 10 金融業，保険業
- 11 不動産業，物品賃貸業
- 12 学術研究，専門・技術サービス業
- 13 宿泊業，飲食サービス業
- 14 生活関連サービス業，娯楽業
- 15 教育，学習支援業
- 16 医療・福祉
- 17 複合サービス業
- 18 サービス業（他に分類されないもの）
- 19 公務
- 20 その他

【問2】 貴社の従業員数を教えてください。（当市内での従事者数でお答えください。）

《一つだけ○》

- 1 0 ～ 49人
- 2 50 ～ 99人
- 3 100～199人
- 4 200人以上

■貴社の地域貢献活動についてお尋ねします。

【問3】 貴社は、地域貢献活動に取り組まれていますか？

《一つだけ○》

(付近の清掃や植栽等の美化活動など、地域での身近な活動も含まれます。)

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1 現在、取り組んでいる | → 問3-1へ |
| 2 今後、取り組んでいくため検討中 | → 問3-1へ |
| 3 以前取り組んでいたが、現在は取り組んでいない | → 問4へ |
| 4 今のところ取り組む予定はない | → 問4へ |
| 5 未定 | → 問4へ |

【問3で「取り組んでいる・取り組みを検討中」と答えた企業にお聞きします】

【問3-1】 それほどのような取り組みですか？

《あてはまる番号すべてに○》

①地域文化の継承等に関わる活動

- 1 地域イベントの開催や支援
- 2 地域文化やスポーツの支援
- 3 その他 ()

②地域の環境保護等に関わる活動

- 1 地域の美化や清掃活動
- 2 地域の緑化活動
- 3 公共交通機関の利用促進
- 4 その他 ()

③地域の防災・防犯等に関わる活動

- 1 防犯活動
- 2 交通安全活動
- 3 防火・防災活動
- 4 その他 ()

④その他の取り組み

- 1 貴社の建物やサービスでの高齢者・障がい者・子育て世帯への配慮
(例 多目的トイレやスロープ, 手すりの設置, 段差の解消, 出入口の自動ドア化, カウンター等に老眼鏡を備付, 従業員のサポートなど)
- 2 地域の活動団体への支援
(例 団体への資金的な援助, 従業員の参加, 活動場所の提供など)
- 3 従業員の個人的なボランティアに対する支援
(例 ボランティア休暇の導入など)
- 4 その他

《④に対する回答1～4について, 具体的な取り組み内容を記載してください。》



【問4】 貴社において, 地域貢献活動に対し活発に取り組むためにはどのような方策が必要だと思いますか?

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 活動する際に必要な手法などの情報提供の充実
- 2 活動に関する相談窓口の充実
- 3 企業同士が情報交換できる場の設定
- 4 実際に活動できる場の情報提供
- 5 企業と市民団体を結ぶコーディネート機能の充実
- 6 資金提供や寄付を行える仕組みづくり
- 7 わからない
- 8 その他 ()

【問5】 貴社が地域貢献活動に取り組む場合、どのような形態が良いと思いますか？

《一つだけ○》

- 1 それぞれの企業が単独で行う
- 2 複数の企業が協力して行う
- 3 企業と市民団体等が協働で行う
- 4 企業と行政が協働で行う
- 5 企業・行政・市民団体等が協働で行う
- 6 わからない
- 7 その他 ()

【問6】 貴社が地域貢献活動に取り組むうえでの問題点は、どのようなことだと思えますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 社内での理解や合意形成が難しい
- 2 活動のための予算確保が難しい
- 3 本業が忙しく時間の余裕がない
- 4 情報やノウハウが不足している
- 5 連携する団体を見つけることが難しい
- 6 どのような活動をすればいいかわからない
- 7 わからない
- 8 その他 ()

【問7】 貴社が市民の主体的なボランティアや地域活動などを支援する場合、可能な支援はどのようなことだと思えますか？

《あてはまる番号すべてに○》

- 1 資金提供など金銭的な援助
- 2 企業の特性や専門性を活かした技術的な援助
- 3 従業員の活動への参加など人的な支援
- 4 企業が有する施設・設備の提供や開放
- 5 一般市民に対する活動のPRやボランティアの募集など情報支援
- 6 支援する必要性を感じない
- 7 わからない
- 8 その他 ()

【問8】 最後に地域福祉の推進に関してのご意見，ご要望など自由にお書きください。

《自由記述》

Two large, empty, hand-drawn style brackets are positioned on the page, one on the left and one on the right, intended for the respondent to write their free text.

☆質問は以上です。ご回答いただきありがとうございました。